

令和5年度

むつ市教育委員会の事務の 点検及び評価に関する報告書

－ 令和4年度の実績 －



むつ市教育委員会

まえがき

むつ市教育委員会では、令和4年9月に第2期「むつ市教育大綱」を策定し、【学校教育の充実】、【社会教育の充実】の2つの柱を機軸に据えて、未来を担う子供達が高い自己肯定感を持ち、他者を尊重し、「生きる力」を育むことを教育方針に掲げ、むつ市の子供たちの未来のために各種教育施策の充実に努めております。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされております。

むつ市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的に、外部の学識経験者などから意見を伺いながら、実施事業の内容を充実させ、着実にむつ市の教育を向上させることができるよう事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

むつ市教育委員会では、この点検・評価の結果を今後の事務事業に活かし、むつ市の教育施策の推進に努めてまいります。

令和5年8月

むつ市教育委員会

目 次

◇点検・評価に当たって	1
◇むつ市教育大綱の概要	3
◇令和4年度 むつ市教育大綱事業実施計画の概要	5
◇むつ市教育大綱における各施策項目ごとの評価	7
◇具体的な取組の点検・評価	
1 総務課	
(1) 安全・安心で夢を育む教育環境の整備	9
(2) 教職員の適正・適切な配置	15
(3) 通学区域制度の適切な運用及び再編	16
(4) 学校規模の適正化に係る研究・検討	16
(5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助	17
(6) コミュニティ・スクール制度の推進	19
(7) 奨学金制度の充実	19
(8) 学校保健の充実	21
(9) 学校給食の充実	25
2 生涯学習課	
(1) 生涯学習の推進	28
(2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進	30
(3) 社会教育施設の機能充実	31
(4) 芸術・文化活動の奨励と振興	33
(5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用	34
3 学校教育課	
(1) 学力向上対策の充実	42
(2) 教育研修センター講座等の充実	45
(3) 小中一貫教育の充実	46
(4) 質の高い教育課程の創造	47
(5) 健康教育・安全教育の充実	49
(6) キャリア教育の充実	51
(7) 特別支援教育体制の充実	53
(8) 国際化に対応する教育と郷土に対する 愛着と誇りを涵養する教育の推進	55
(9) 弘前大学との連携強化	57
(10) 教育相談活動の充実	58
(11) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化	60

4 公民館(中央、川内、大畑、脇野沢)

- (1) 公民館の適正管理と運営の充実 6 2
- (2) 公民館事業の推進 6 4
- (3) 社会教育関係団体等の育成支援 6 8
- (4) 生涯学習関連施設等との連携促進 7 0

5 図書館

- (1) 図書館の適正管理 7 2
- (2) 資料の収集・保存と活用 7 3
- (3) 図書館サービス活動の充実 7 5
- (4) 子供の読書活動の推進 7 9
- (5) 人と本をつなげるまちづくり事業の推進 8 1

6 地域文化・スポーツクラブ設立準備室

- (1) 地域文化・スポーツクラブの創設準備 8 4

- ◇点検・評価対象事務事業一覧 8 5

◇ 点検・評価に当たって

1 経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

この法律改正を受け、むつ市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

2 点検・評価の方法

(1) むつ市教育施策の方針

むつ市教育委員会では、「むつ市教育大綱事業実施計画」を定めるとともに、毎年度、各課（館）における重点項目を定め、具体的な取組（事業）を実施しています。

(2) 点検・評価の対象

令和5年度の点検・評価に当たっては、各重点項目を推進するために令和4年度に実施した具体的な取組を点検対象として、その点検結果を踏まえ、事業ごとに評価を行います。

(3) 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため「点検・評価アドバイザー会議」を開催し、学識経験者等からなる「点検・評価アドバイザー」に参集いただいた上で、その実施方法や内容について助言・指導をいただきました。

3 報告書の構成

(1) 教育大綱の基本方針ごとの評価は、各事業の成果や評価を踏まえて評価をしています。

(2) 全体構成

報告書は〔1 総務課〕、〔2 生涯学習課〕、〔3 学校教育課〕、〔4 公民館〕、〔5 図書館〕、〔地域文化・スポーツクラブ設立準備室〕の施策ごとに構成しています。

(3) 重点項目の点検（令和4年度の具体的な取組状況）

重点項目を推進するための具体的な取組状況について、個々の事業が適切に実施されているかどうか、その概要・計画・実績を点検しています。

(4) 具体的な取り組み（事業）の評価（点検結果を踏まえた評価）

具体的な取組状況の点検結果を踏まえ、評価・課題等を確認しています。

4 点検・評価アドバイザー会議の概要

(1) 令和5年度点検・評価アドバイザー（50音順、敬称略）

氏名	団体・役職
岩 淵 崇	むつ市連合PTA会長
金 澤 寿々子	元むつ市教育部長
祐 川 秀 永	元苫生小学校長

(2) 点検・評価アドバイザー会議の開催状況

- ・ 第1回点検・評価アドバイザー会議（令和5年7月28日）
＜内容＞
 - ・ 教育委員会の事務の点検及び評価の概要について
 - ・ 点検及び評価の実施方法に関する意見について
 - ・ 説明担当課：総務課、生涯学習課、地域クラブ企画推進課、学校教育課、公民館、図書館

(3) アドバイザーからの主な意見

＜点検・評価の実施、報告書の作成に反映させた主な意見＞

- ・ 文頭の1字下げがされていない。
- ・ 評価において、実施できたと評価するよりも数字的なものを入れて評価する方が分かりやすい事業がある。

＜次年度以降、引き続き検討することとした主な意見＞

- ・ 「こども」の表記が「子ども」「子供」等混在しているので、統一してほしい。
- ・ 評価、課題及び今後の方針のつながりは重要ではないか。もう一度検討していただきたい。
- ・ 多くの事業が実施されているが、同じような目的でやっている複数の事業が見受けられた。連携すれば内容も濃くなるし、予算も減るのでは。
- ・ 医師確保は大きな課題で、ますます力を入れていかなければならないこと。学校教育のキャリア教育に組み入れていくことも必要ではないか。
- ・ この事業がいつから始まっているのか分かれば良い。

参考

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

◇むつ市教育大綱の概要

1. 学校教育の充実

(1) 学力の向上

①明確な目標設定

「むつ市教育プラン」に具体的な数値目標を定め、授業改善とICTの活用を推進し、全国トップクラスの学力の育成に努めます。

②教員の資質向上

新たな課題にも適切に対応できる多様な専門性を持った教職員の育成に資するよう、キャリアステージに応じた学校内外での研修の充実に努めます。

③主体的な学習の推進

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け多様な学習活動に取り組みます。

④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進

新入学児童への相談体制の充実やスタートカリキュラムの導入、小中一貫教育の推進、志高く高等教育機関への進学を希望する生徒を支援します。

(2) 体育・健康教育の充実

①健康な体を育む学校づくり

健康についての正しい知識を身に付けさせ、自ら健康な生活を実践する能力や態度を育てます。

②安全・防災教育の推進

起こりうる危険を予測し、子供たちが自ら安全に関する情報をもとに正しく判断して、いかなる状況においても、身を守る行動ができるような資質・能力を育てます。

(3) 夢を育む教育

①キャリア教育の充実

自分の生き方について自覚を深め、急速な社会の変化に適切に対応するため、キャリア教育のさらなる充実に努めます。

②特別支援教育の充実

個々の能力や適性に応じたきめ細かい指導・支援を更に充実させるとともに、就学前における早期の相談を実施するなど教育相談体制の充実に努めます。

③豊かな心の育成

他者への思いやりなど豊かな心の育成に努めるとともに、一人ひとりの状況に合わせた支援ができるよう、教育相談体制と生徒指導の充実に努めます。

④高等教育機関との連携

高等教育機関と連携し、市内における教育機会の充実に努め、地域の将来を担う人材育成を図ります。

(4) 地域とともにある学校

①ふるさとむつ市への愛着と誇りを育む教育

文化財や伝統芸能、ジオパークなどの地域資源について学び、知識を得ることができるよう学習機会の提供を推進します。

②コミュニティ・スクールの推進

コミュニティ・スクール機能を生かした特色ある学校づくり、地域づくりを図ります。

2. 社会教育の充実

(1) 社会教育・文化の充実と文化財の保存活用

①スポーツ活動の推進

むつ市版総合型スポーツクラブを創設し、スポーツ活動の推進、中学校部活動の地域移行を図ります。

【主な事業と目標】

ア 中学校運動部活動の地域移行を図るため、総合型地域文化・スポーツクラブの創設に向けて、関係機関との協議や意見交換を進めます。

②生涯を通じた学びの推進

人生100年時代を見据えた「いつでも、どこでも、何度でも、誰でも」学べる環境整備と学習機会の提供を図ります。

【主な事業と目標】

ア 青少年教育、成人教育等、各年齢に応じた事業を、参加者の満足度が80%以上となるよう、テーマや開催方法を工夫して実施できるよう努めます。

イ 図書館の貸し出し点数が増加していくよう、周知等のイベントやPRに努めます。

③学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進と人材育成

むつ市地域学校協働本部を設置し、地域住民が学校と協働して協働活動や放課後等の学習活動を行う

④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実

文化財を活用した郷土愛の醸成や、文化・芸術に触れる機会の創出と活動へ支援及び中学校部活動の地域移行を図ります。

(2) 変化に対応できる人材の育成

①持続的発展のための人材の育成

高等教育機関との連携し、講習受講履歴の適正な評価及び指導者・リーダーの育成のあり方を研究やリモート学習やICTを活用など、社会の変化に対応した学び方を推進します。

②社会人の学び直しの推進

社会が大きく変わる中で、求められる能力を身につけるため、リカレント教育等を受けられるよう企業や高等教育機関と協議して、持続可能な社会の創り手を育成するための研究を行います。

◇令和4年度 むつ市教育大綱事業実施計画の概要

この「むつ市教育大綱事業実施計画」は、「むつ市教育大綱」に示した理念を実現するために、大綱の趣旨に沿って教育委員会で実施する事業の具体的な実施計画となります。また、子供たちを育む家庭、学校、地域社会に期待される役割を明らかにし、事業を計画・実施するための基本的な指針としていきます。

計画には、各所属において毎年度の予算に基づき実施する事業を明記し、当該年度において着実に実施するとともに、実施した事業について毎年度検証及び評価を行い、子供たちにとってよりよい施策となるよう努めるものとします。

【各所属における重点項目】

1. 総務課

子供が豊かな心をもち、自ら学び、自ら考える力など「生きる力」を育成するための教育環境の整備を推進する。また、活力ある学校教育を推進するため、教職員の適切な配置を図るとともに、その他教育環境の整備と保健衛生及び学校給食の充実を図る。

- (1) 安全・安心で夢を育む教育環境の整備
- (2) 教職員の適正・適切な配置
- (3) 通学区域制度の適切な運用及び再編
- (4) 学校規模の適正化に係る研究・検討
- (5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助
- (6) コミュニティ・スクール制度の推進
- (7) 奨学金制度の充実
- (8) 学校保健の充実
- (9) 学校給食の充実

2. 生涯学習課

社会教育では、設置しているむつ市地域学校協働本部において、学校と地域との活動を強化し、様々な活動を通して子どもたちが活動できる環境づくりを促進します。

文化財については、既存の施設や学校等を利用しながら保存を行い、収蔵品を活用し、市民の皆様公開することにより文化財に親しむ機会の充実に努めます。

中学校文化部活動については、スポーツ部活動と方向性を合わせ、「むつ市版総合型地域文化クラブ」創設を目指し、子どもから大人までが一層文化活動に親しめる環境を整備します。

- (1) 生涯学習の推進
- (2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進
- (3) 社会教育施設の機能充実
- (4) 文化芸術活動の奨励と振興
- (5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用

3. 学校教育課

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童生徒を育成するために、校長の強力なリーダー

ーシップのもと、「教育は人づくり」という視点に立ち、全教職員が協働して特色ある学校運営を図り、「郷土に根ざし、生きる力と夢をはぐくむ」学校教育の推進に努める。

- (1) 学力向上対策の充実
- (2) 教育研修センター講座等の充実
- (3) 小中一貫教育の充実
- (4) 質の高い教育課程の創造
- (5) 健康教育・安全教育の充実
- (6) キャリア教育の充実
- (7) 特別支援教育体制の充実
- (8) 国際化に対応する教育と郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- (9) 弘前大学との連携強化
- (10) 教育相談活動の充実
- (11) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化

4. 公民館（中央、川内、大畑、脇野沢）

市民の最も身近な生涯学習施設として、学習活動の支援や豊かな地域づくり・人づくりのため、公民館活動の充実に努める。

- (1) 公民館の適正管理と運営の充実
- (2) 公民館事業の推進
- (3) 社会教育関係団体等の育成支援
- (4) 生涯学習関連機関等との連携促進

5. 図書館

市内全域の読書環境の保全に努めるとともに、多種多様な資料や情報等の積極的な収集・整備による読書活動の拠点として図書館機能の充実に図り、地域の教育・文化の向上発展に寄与する。

- (1) 図書館の適正管理
- (2) 資料の収集・保存と活用
- (3) 図書館サービス活動の充実
- (4) 子供の読書活動の推進
- (5) 人と本をつなげるまちづくり事業の推進

6. 地域文化・スポーツクラブ設立準備室

中学生の文化・スポーツ活動の選択肢を拡充し、生徒一人ひとりの充実した放課後活動を確保するため、中学校部活動の段階的な地域移行を図る。

最終的には、子供から大人までが、いつでも、だれでも、いつまでも文化・スポーツ活動を楽しむことができる社会の実現を目指し、総合型地域文化・スポーツクラブを設置する。

- (1) 地域文化・スポーツクラブの創設準備

◇むつ市教育大綱における各施策項目ごとの評価

重点項目 1. 学校教育の充実

施策項目(1) 学力の向上

学力の向上のため、数値目標を設定して各種施策に取り組んだが、青森県学習状況調査、全国学力量学習状況調査のいずれにおいても小・中学校とも目標値を下回り、特に小学校においては、むしろ学力の低下が顕著となっている。学校教育課では、これらの学力検査結果の分析をもとに、各校に対して、デジタル教材等を活用して定着が不十分な問題の補充を行うこと、授業改善に資する資料を作成・配布し、授業づくりに役立ててもらふことなどに取り組んできた。今後も、学校訪問を通して授業改善についての指導助言に努めるとともに、学力調査結果にもとづいた指導の充実、ICTを活用した学習指導の充実が図られるよう取り組むこととしている。

また、切れ目のない学力の向上を図るうえで重要である幼稚園・保育園と小学校との連携については、すべての小学校で幼・保との情報交換を行っており、新入学児童が小学校生活に円滑に適応できるよう引き続き取り組む。

子供達の高い志と夢の実現を支援するため、まさかり高校医学部進学・特進コース事業として、大手予備校講師による講習会の実施、下北Project事業として東京大学ラクロス部との交流で勉強方法等の教授を受けるなど、地域の子供達達の学習意欲向上に努めた。

施策項目(2) 体育・健康教育の充実

各校においては、新体力テストの結果を踏まえ、教科体育や業間活動等を利用した運動能力の向上や運動習慣の形成、学校給食を利用した食に関する指導等に取り組んでいるが、本市の大きな課題である肥満傾向児童生徒の出現率については、依然として国や県を上回る傾向が続いている。

弘前大学大学院医学研究科の協力のもと実施している「健康の未来」を変えるプロジェクト授業の実施が今年度は1校だけであったが、来年度は3校での実施を予定している。今後は、各校において、望ましい食習慣や運動習慣の形成、家庭や地域との連携による健康教育の充実に資する取組が推進されるよう学校訪問や養護教員対象の研修講座等を通して啓発を図る。

安全・防災に対する取組として、学校危機管理マニュアルの見直し、津波の浸水区域に位置する正津川小学校の統合の道筋をつけることができた。

施策項目(3) 夢を育む教育

令和4年度の全国学力量学習状況調査の質問紙調査結果から、本市の小6児童、中3生徒ともに約8割が将来の夢や目標を持ち、約9割が自分で決めたことはやり遂げようとしていると答えており、夢や目標に向かって努力しようとする意欲が高いことが伺われる。今後も、キャリア教育講演会を始めとするキャリア教育の充実、特別な配慮を要する児童生徒の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図る。また、全教育活動を通して豊かな心をはぐくむとともに、夢や志を持って自らの将来を切り拓いていこうとする児童生徒の育成に努める。

施策項目(4) 地域とともにある学校

各学校においては、学校運営協議会を適切に開催し、地域の意見も踏まえながら学校運営に取り組むことができた。

また、ジオパーク体験活動推進事業や地域人材を活用し、ジオパークを始めとする地域学習や体験活動を行っているほか、地域に伝わる伝統芸能について学んでいる学校がある。また、SDGsの視点から地域の活性化について考えたり、地元の環境保全に努めたりする活動に取り組んでいる学校もあり、地域への愛着や誇りを育てる教育が進められている。

重点項目2. 社会教育の充実

施策項目(1) 社会教育・文化の充実と文化財の保存活用

スポーツ庁、文化庁からの中学校部活動の地域移行に係る提言を受け、部活動の地域移行を推進するための部署を設立し、受け皿となる「むつ☆かつ」を立ち上げ、令和5年度から地域クラブで行う体制を整えた。

社会教育事業においては、子供達への体験や経験を行う青少年事業を実施し、多くの子供達が忘れられない体験ができた。成人については市民大学をはじめ、教養型の事業の実施、自らの知見を生かしたボランティア活動を支援した。

文化活動においては、下北プロジェクトの一環として音楽によるまちづくり事業を実施し、プロから直接学ぶ機会とプロと一緒に演奏を披露するなど貴重な体験をする機会を提供できた。

文化財の保護、保存及び活用事業を行い、発掘調査、重要文化財の修理、大湊水源地水道施設を活用し、その周辺を案内するボランティアガイド養成を行った。

公民館の利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために公民館の閉鎖措置は取らず、利用制限のみ行い、令和3年度よりは3割程度上回り、新型コロナウイルス感染症が流行する前と比べ7割程度の利用となった。

主催事業については、ほとんどの事業を実施することができ、コロナ禍の中において、市民が望む学びの場を提供することができた。

今後も感染予防対策を念頭に置きながら市民の学習ニーズに応え、可能な範囲で学習の場の確保に努めていく。

図書館においては、感染対策をしっかりと行いながらほとんどの事業を実施することができた。図書館ICT化事業では貸出方法を変えることにより、お待たせしない利用しやすい図書館を実現し、同時に読書の楽しさや、新しい本との出会いを容易にする読書推進機能を追加し、利用者の満足感を高めた。

施策項目(2) 変化に対応できる人材の育成

高等教育機関との連携として、青森大学むつキャンパスや放送大学が開催した公開講座、及びむつ市総合教育会議での教育講演会等、高等教育機関と連携した学習機会の提供を行った。参加者には講座内容に関する関係者の出席が見られるなど、専門的知識を学ぶ方への良い機会となった。

このような高等教育機関での講演や公開講座は高い知見をもった教授クラスの講師となり、専門分野を学ぶ機会となることから、開催の周知等を積極的に行い、学ぶ機会を市民に提供していきたい。

◇具体的な取組の点検・評価

1 総務課

■ 重点項目の点検（令和4年度の具体的な取組状況）■

（1）安全・安心で夢を育む教育環境の整備

事業名	スクールバス運行管理事業																										
大綱施策	なし																										
概要	学校統合により徒歩での通学が困難な児童生徒の安全な輸送を行うため、スクールバスの運行を行う。																										
計画	<p>○下記地区から通学する児童生徒の安全な輸送を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関根地区（烏沢） ・奥内地区（大室平・金谷沢・中野沢） ・大湊地区（角違・城ヶ沢） ・川内地区（戸沢・蛸崎・湯野川） ・大畑地区（小目名・釣屋浜） ・脇野沢地区（源藤城・九艘泊・小沢） <p>※計画人数：190人</p>	実績・成果	<p>○運行時の事故もなく、安全に輸送を行うことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関根地区：27人 ・奥内地区：16人 ・大湊地区：21人 ・川内地区：53人 ・大畑地区：40人 ・脇野沢地区：8人 <p>合計：165人</p>																								
予算	<p>予算総額 94,504,382 円</p> <p>（内訳）バス委託料</p> <table border="1"> <tr><td>関根地区</td><td>8,527,200 円</td></tr> <tr><td>奥内地区</td><td>16,192,000 円</td></tr> <tr><td>大湊地区</td><td>11,785,158 円</td></tr> <tr><td>川内地区</td><td>26,736,212 円</td></tr> <tr><td>大畑地区</td><td>16,135,680 円</td></tr> <tr><td>脇野沢地区</td><td>15,128,132 円</td></tr> </table>	関根地区	8,527,200 円	奥内地区	16,192,000 円	大湊地区	11,785,158 円	川内地区	26,736,212 円	大畑地区	16,135,680 円	脇野沢地区	15,128,132 円	決算	<p>決算総額 91,989,436 円</p> <p>（内訳）バス委託料</p> <table border="1"> <tr><td>関根地区</td><td>7,917,624 円</td></tr> <tr><td>奥内地区</td><td>16,005,000 円</td></tr> <tr><td>大湊地区</td><td>11,530,068 円</td></tr> <tr><td>川内地区</td><td>26,400,000 円</td></tr> <tr><td>大畑地区</td><td>15,231,744 円</td></tr> <tr><td>脇野沢地区</td><td>14,905,000 円</td></tr> </table>	関根地区	7,917,624 円	奥内地区	16,005,000 円	大湊地区	11,530,068 円	川内地区	26,400,000 円	大畑地区	15,231,744 円	脇野沢地区	14,905,000 円
関根地区	8,527,200 円																										
奥内地区	16,192,000 円																										
大湊地区	11,785,158 円																										
川内地区	26,736,212 円																										
大畑地区	16,135,680 円																										
脇野沢地区	15,128,132 円																										
関根地区	7,917,624 円																										
奥内地区	16,005,000 円																										
大湊地区	11,530,068 円																										
川内地区	26,400,000 円																										
大畑地区	15,231,744 円																										
脇野沢地区	14,905,000 円																										
評価	対象地区に居住している児童生徒のフォローに対しては確実に対応出来ている。しかしながら、対象区域外の児童生徒（例大湊小学校路線における桜木町住民）等の要望には応えられていない状態にある。																										
課題	<p>バス車内への児童生徒の置き去り事案防止に係る各事業者への対応依頼を徹底する。</p> <p>また、バスの安全装置に設置に向け、補助金の活用及び財源の確保について検討する必要がある。</p>	今後の方針	<p>児童生徒の減少に伴うバス停留所の適正配置について検討する。</p> <p>令和6年度末に正津川小学校が閉校し、大畑小学校への統合を予定していることから、大畑地区における路線拡張に向けて、適正な路線の計画を検討する。</p>																								

※参考：スクールバス運行経路

地区	運行区間	地区	運行区間
関根地区	烏沢～川代～関根小	大畑地区	小目名～関根橋～正津川～大畑小～大畑中
奥内地区	大室平～金谷沢～奥内小～近川中 中野沢～近川中～奥内小		釣屋浜～孫次郎間～大畑中
大湊地区	大川目～角違～大湊中～大湊小	脇野沢地区	源藤城～滝山～脇野沢小・中
川内地区	戸沢～田野沢～川内小・中 蛸崎～宿野部～川内小・中 湯野川～安部城～川内小・中		九艘泊～寄浪～脇野沢小・中 小沢～稲平～脇野沢小・中

事業名	まさかり高校医学部進学・特進コース事業		
大綱施策	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進		
概要	むつ下北地域の学力向上と医師不足解消を目的として、むつ下北活性化応援プロジェクトである「まさかり高校」の中に医学部進学・特進コースを開設し、医師や国立大学等選抜制の高い大学への進学を希望する高校生を対象に、大手予備校講師を招聘し、難関大学合格に向けた、レベルの高い学習の場を提供する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○予備校講師派遣プログラム（3回） 夏期：60人 冬期：60人 春期：40人 ○2次対策講習会 ○代ゼミ本母校講習会 ○東京大学見学ツアー：20人 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○予備校講師派遣プログラム（3回） 夏期：35人（リモート形式） 冬期：30人（リモート形式） 春期：33人 ○東京大学見学ツアー：中止 ○弘前大学理工学部ほか国公立大学へ21名合格（講習会等参加経験者・令和4年度卒業生実績）
予算	<p>予算総額 5,281,000 円</p> <p>(内訳) 報 償 費 0 円 旅 費 71,000 円 需 用 費 0 円 委 託 料 5,210,000 円</p>	決算	<p>決算総額 1,700,249 円</p> <p>(内訳) 報 償 費 0 円 旅 費 0 円 需 用 費 0 円 委 託 料 1,700,249 円</p>
評価	リモート形式による開催が続いていたが、春期講習会では一部で対面授業が実現した。受講者全員が実力養成に効果的であった、また、約88%が次回の講習会を受講したいとの回答があるなど高い評価を受けている（夏期・冬期アンケート結果より）。また、当該事業に受講実績のある令和4年度卒業生の進学実績等を踏まえれば、一定の受講生の支援につながっているものと考えている。		
課題	感染症の状況を見極めながら、対面授業にいかに戻していけるかが、より高い教育的効果を得るための今後の課題である。	今後の方針	これまでの継続した取組等により、高等学校の理解と協力を得られていることから、感染症を取り巻く状況を踏まえながら、受験生の学力向上と受験対策に関する意識改革が図られるよう、さらなる事業内容の充実を目指す。



まさかり高校医学部進学・特進コース事業の様子

事業名	下北Project (学びのイノベーション) 事業		
大綱施策	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進		
概要	<p>東京大学との連携を主軸とし、「学力の向上」「スポーツの振興」「音楽によるまちづくり」等の実現という下北の狙いと「研究成果の社会実装」という東京大学の狙いの双方を掛け合わせた「学びのイノベーション」を起こす。</p>		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○「学力の向上」 東京大学運動部による合宿を誘致し、市内高校運動部員への実技指導のほか、市内中学生に対する学習方法の指導や交流を図る機会の設定 ○「スポーツの振興」 サッカー、野球、フェンシング等の各教室及び指導者や保護者講習会の実施 ○「音楽によるまちづくり事業」 プロのオーケストラメンバーを講師とした、下北ジュニアウインドオーケストラへの指導の実施 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○「学力の向上」 ・東大ラグロスの合宿を誘致し、高校生向け勉強相談会やラグロス体験会の実施 ・東大生大道麻優子氏を招いた同氏作成による小中学生向けクイズ大会の実施 ○「スポーツの振興」 ・サッカー教室(木村浩吉氏)、野球教室(小田幸平氏・伊藤博一氏)、バレーボール教室(迫田さおり氏)、プロバスケットボールチームによる教室等の実施 ○「音楽によるまちづくり事業」 ・東京佼成ウインドオーケストラメンバーによるレッスン及びコンサートの実施
予算	<p>予算総額 4,998,680 円</p> <p>(内訳) 旅 費 132,520 円 需用 費 100,000 円 委 託 料 4,100,000 円 備品購入費 666,160 円</p>	決算	<p>決算総額 4,274,387 円</p> <p>(内訳) 旅 費 82,320 円 需用 費 97,544 円 委 託 料 4,094,523 円 備品購入費 0 円</p>
評価	<p>各種スポーツ教室の実施をはじめとし、東京大学の運動部活動の合宿誘致やモーションキャプチャーカメラの設置など、東京大学との連携事業についても取り組むことができた。</p> <p>『音楽によるまちづくり』では、対面指導、合同演奏会参加者59名(小学生から一般まで)が参加、合同演奏会には約700名が来場し、芸術に対する市民の関心の高さがうかがえた。</p> <p>参加者からは「楽しかった」「上達した」、来場者からは「楽器をやってみたい」「今度は自分が参加したい」といった声があり、音楽水準の向上、教育の充実、地域活性化という目的を果たすことができた。</p>		
課題	<p>東京大学との共同研究の一環として、マエダアリーナのサブアリーナに設置したモーションキャプチャーカメラの具体的な活用方法について、検討を進めていく。</p>	今後の方針	<p>東京大学と市内の子ども達との人的交流をさらに活発化させるため、東京大学運動部の合宿誘致と組み合わせる形で、市内の児童生徒を対象とした勉強会や部活動指導の場を検討していく。</p>



サッカー教室



音楽によるまちづくり

事業名	G I G Aスクール端末等購入事業		
大綱施策	1-(1)-③主体的な学習の推進		
概要	文部科学省のG I G Aスクール構想における児童生徒1人1台端末を整備する。		
計画	○令和2年度 小学4年生～中学3年生分 計3,066台購入 ○令和3年度 小学3年生分 計471台購入 ○令和4年度 小学2年生分 計468台購入 小学1年生にパソコン教室 の端末配布	実績・成果	○令和2年度 小学4年生～中学3年生分 計3,066台購入 ○令和3年度 小学3年生分 計461台購入 ○令和4年度 小学2年生分 計409台購入 小学1年生にパソコン教室 の端末配布
予算	予算総額 25,648,000 円 (内訳) 消耗品費 232,000 円 修繕費 0 円 委託料 0 円 備品購入費 25,416,000 円	決算	決算総額 25,699,344 円 (内訳) 消耗品費 69,300 円 修繕費 1,055,054 円 委託料 955,240 円 備品購入費 23,619,750 円
評価	市内小中学校の児童生徒1人1台端末の整備が完了した。		
課題	膨大な端末を管理運用するための体制。端末の経年劣化等による更新に係る費用。	今後の方針	端末の管理運用及び経年劣化等による更新に努める。

事業名	G I G Aスクールネットワーク体育館追加整備事業		
大綱施策	1-(1)-③主体的な学習の推進		
概要	文部科学省のG I G Aスクール構想における高速大容量の校内通信ネットワークを体育館に追加整備する。		
計画	令和2年度に市内小学校の普通教室、特別支援教室、職員室に整備したG I G Aスクールネットワークに追加する形で、体育館に無線LAN環境を構築する。	実績・成果	拠点整備 20ヶ所 令和4年7月9日 業務委託完了 令和4年11月30日 完成
予算	予算総額 30,784,000 円 (内訳) 委託料 30,784,000 円	決算	決算総額 29,304,000 円 (内訳) 委託料 29,304,000 円
評価	市内小中学校の体育館にネットワークを整備でき、授業や行事に活用できるようになった。		
課題	障害発生時にどのように対応するか。	今後の方針	ネットワーク整備業者と保守契約を結び、ネットワークが安定的に利用できるよう努める。

事業名	校務用パソコン等購入事業		
大綱施策	1-(1)-③主体的な学習の推進		
概要	経年劣化した校務用パソコン及び財務情報システム用パソコンを更新する。		
計画	○平成29年度、平成30年度に購入した校務用パソコンの更新。 ○事務員が利用している財務情報システム用パソコンの更新。	実績・成果	○更新（1回目） 178台 ○更新（2回目） 84台
予算	予算総額 27,924,000 円 (内訳) 備品購入費 27,924,000 円	決算	決算総額 24,094,796 円 (内訳) 備品購入費 24,094,796 円
評価	校務用パソコンは、当初計画を超える台数を更新できた。 財務情報システム用パソコンは、当初計画通り全台更新できた。		
課題	未更新の校務用パソコンの更新。 故障発生時の対応。	今後の方針	引き続き校務用パソコンの更新を行う。

事業名	学校情報通信環境管理運営事業		
大綱施策	1-(1)-③主体的な学習の推進		
概要	市内小中学校のネットワークや端末等のICT環境の維持管理や、ICT環境の変化により業務負担が増加する教員の支援などを行う。		
計画	○学校の通信回線の維持管理、モバイルルーターの購入及び維持管理。 ○学校のICT環境の維持管理。 ○教員の支援	実績・成果	○18校分の通信回線の維持管理。 モバイルルーター6台の購入・維持管理。 ○ICT環境保守業務委託、進級に伴うICT環境変更業務委託の契約締結。 ○ICT支援業務委託の契約締結。 端末等操作研修を実施。(40名参加)
予算	予算総額 47,646,000 円 (内訳) 消耗品費 100,000 円 役務費 4,154,000 円 委託料 41,278,000 円 使用料 0 円 備品購入費 2,114,000 円	決算	決算総額 36,395,205 円 (内訳) 消耗品費 92,597 円 役務費 3,878,040 円 委託料 28,155,600 円 使用料 129,360 円 備品購入費 4,139,608 円
評価	計画のとおりICT環境の維持管理及び教員の支援を行うことができた。		
課題	学校のデジタル化の進展に伴い、教員の支援の必要性が増している。	今後の方針	引き続き、ICT環境の維持管理を行う。 また、教員の支援の拡充を検討する。

事業名	中学校大規模改修事業（市立田名部中学校外部建具改修工事）		
大綱施策	なし		
概要	建具の経年劣化が進み漏水が発生していることから改修を実施し、安心・安全な学校運営に努める。		
計画	○各階トイレ及び水飲み場周辺のガラスブロックを撤去 ○撤去部分へFIX窓を設置	実績・成果	○令和4年7月25日 実施設計業務委託完了 ○令和5年2月24日 工事完成
予算	予算総額 13,688,000 円 (内訳) 委託料 1,500,000 円 工事請負費 12,188,000 円	決算	決算総額 13,233,000 円 (内訳) 委託料 1,045,000 円 工事請負費 12,188,000 円
評価	当該工事により漏水が解消され生徒の学習・生活環境の向上を図ることができた。		
課題	経年劣化への対応を含め、学校のニーズに合わせた設備改修を、財源の確保を図りながら計画的に実施していく必要がある。	今後の方針	安心・安全な学校運営に資するため、必要な設備改修を計画的に行っていく。

事業名	中学校大規模改修事業（市立大畑中学校屋上防水改修工事）		
大綱施策	なし		
概要	校舎屋上の経年劣化により防水機能の低下が見られ、雨漏りが生じていることから、改修を実施し、安心・安全な学校運営に努める。		
計画	○既存屋上防水の更新 ○既存ルーフドレンの撤去、更新 ○漏水により破損していた箇所の改修	実績・成果	※実施設計は令和3年度に完了 ○令和4年4月22日 単価入替業務委託完了 ○令和4年11月24日 工事完成 ○令和4年11月30日 工事監理業務委託完了
予算	予算総額 56,221,000 円 (内訳) 委託料 1,815,000 円 工事請負費 54,406,000 円	決算	決算総額 50,732,000 円 (内訳) 委託料 1,562,000 円 工事請負費 49,170,000 円
評価	当該工事により漏水が解消され生徒の学習・生活環境の向上を図ることができた。		
課題	経年劣化への対応を含め、学校のニーズに合わせた設備改修を、財源の確保を図りながら実施していく必要がある。	今後の方針	安心・安全な学校運営に資するため、必要な設備改修を計画的に行っていく。

事業名	中学校大規模改修事業（市立川内小中学校消火栓給水管・ポンプ改修工事）		
大綱施策	なし		
概要	経年劣化により消火栓給水管から漏水が発生していることから、これを改修するとともに、老朽化が進む消火栓ポンプを更新し、安心・安全な学校運営に努める。		
計画	○消火栓給水管及びポンプの更新 ○関連して必要となる電気設備の改修	実績・成果	○令和4年6月30日 実施設計業務委託完了 ○令和4年9月5日 工事入札不調 ○令和4年10月5日 工事入札不調 ○令和5年1月31日 工事契約締結（令和5年12月15日完成予定・明許繰越）
予算	予算総額 20,765,000 円 (内訳) 委託料 3,000,000 円 工事請負費 17,765,000 円	決算	決算総額 1,265,000 円 (内訳) 委託料 1,265,000 円 工事請負費 0 円 ※繰越額9,000千円、工事契約額7,700千円
評価	情勢不安等に伴う資材納期の長期化等のため、年度内の完了が見込めず、明許繰越を設定して次年度までの工期となった。着実に工事を進め、児童生徒の学習・生活環境の向上を図る。		
課題	経年劣化への対応を含め、学校のニーズに合わせた設備改修を、財源の確保を図りながら実施していく必要がある。	今後の方針	安心・安全な学校運営に資するため、必要な設備改修を計画的に行っていく。

(2) 教職員の適正・適切な配置

事業名	県費負担職員の任免、服務、その他の人事管理		
大綱施策	なし		
概要	より良い環境をつくるため、適正な人事配置を行うとともに、休暇・休職等の服務管理を行う。		
計画	○県の人事異動方針に基づき、適正な人員配置を行う。 ○代替教員の配置を適正に行う。	実績・成果	○人事異動については、概ね適正な配置が行われた。 ○代替教員の配置については、人材が確保できず配置できない学校もあった。
予算	0 円	決算	0 円
評価	県の指導及び助言等に基づき、概ね適正な配置、管理等がなされているものと考えているが、代替人材の不足等により、一部において定数人員を確保できず、学校に負担が生じている状況にある。		
課題	通常学級において、個別の支援を要する児童生徒に対する、学校からの教員の増員要望に必ずしも応えられていない状況にある。	今後の方針	引き続き、市のスクールサポーターによる対応の強化に努めていくほか、教科指導のできる教員の増員について、県教委へ要望していく。

(3) 通学区域制度の適切な運用及び再編

事業名	むつ市通学区域審議会の設置		
大綱施策	なし		
概要	小学校又は中学校に就学する児童生徒の通学区域の適正化を図るため、通学区域の新設又は改廃に関する事項を調査審議し、その結果を答申する。		
計画	○必要に応じて行う	・実績 成果	○なし
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
概要	小学校又は中学校に就学する児童生徒の通学区域の適正化を図るため、通学区域の新設又は改廃に関する事項を調査審議し、その結果を答申する。		
評価	現状において審議対象事案がないことから評価できない。		
課題	なし	今後の 方針	現在、審議対象がなく、設置されていないが、審議対象が生じた場合設置する。

(4) 学校規模の適正化に係る研究・検討

事業名	学校規模適正化のための地域説明会等の開催		
大綱施策	1-(2)-②安全・防災教育の推進		
概要	よりよい教育環境を実現するために、小規模校の統廃合についてPTAや地域住民の理解・協力を得られるよう話し合いの場を設ける。特に大畑地区については、津波等の災害について検討する必要があることから、学校施設の場所やあり方について地域の理解を得られるよう説明会等を開催する。		
計画	○大畑地区の正津川小学校について説明会を開催する。	実績 成果	○保護者・住民説明会 3回 ○保護者へのアンケート 1回
予算	予算額 (内訳) 0 円 円	決算	決算額 (内訳) 0 円 円
評価	正津川小学校について、保護者説明会及び保護者へのアンケートをそれぞれ1回、住民説明会を2回実施し、令和7年4月1日の大畑小学校への統合について了承を得ることができた。		
課題	正津川小学校の統合先の大畑小学校についても、一次避難先はあるものの、津波の浸水区域内となっている。	今後の 方針	大畑小学校地区についても移転の可能性等について、保護者や住民説明会を開催して方針について検討していく。

(5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助

事業名	要保護児童生徒援助事業		
大綱施策	なし		
概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対して修学旅行費を給付し就学の援助を図る。(生活保護受給世帯)		
計画	○対象者：16人 ○支給額：1,146,000円	実績・成果	○対象者：14人 ○支給額：995,822円
予算	予算総額 1,146,000 円 (内訳) 小学生(7名) 336,000 円 中学生(9名) 810,000 円	決算	決算総額 995,822 円 (内訳) 小学生(7名) 355,822 円 中学生(7名) 640,000 円
評価	要保護の世帯には修学旅行費を援助しており、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響も弱まり、修学旅行が例年どおり実施出来ていることから、支出額に関しても、概ね見込みどおり推移している。		
課題	年度途中で要保護対象者となる場合があるため、生活福祉課との連携が必要となる。月例の異動報告は月末に一括しての報告となるため、生活保護認定のタイミングによっては就学支援制度認定のタイミングまで時間差が生じる。	今後の方針	引き続き生活福祉課との連携をしっかりと行う。月例の異動報告だけではなく、随時の異動報告についても検討を実施する。

事業名	準要保護児童生徒援助事業		
大綱施策	なし		
概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対して、学用品費等を給付し就学の援助を図る。		
計画	○対象者：450人 ○支給額：50,282,576円	実績・成果	○対象者：400人 ○支給額：42,487,670円
予算	予算総額 50,282,576 円 (内訳) 学用品費 8,220,000 円 新入学学用品費 5,890,000 円 修学旅行費 8,094,000 円 校外活動費 401,520 円 給食費 27,677,056 円	決算	決算総額 42,487,670 円 (内訳) 学用品費 7,469,804 円 新入学学用品費 4,062,000 円 修学旅行費 6,477,962 円 校外活動費 114,470 円 給食費 24,363,434 円
評価	修学旅行、宿泊行事等が新型コロナウイルス感染症感染の影響を受けることなく、概ね予定どおり実施出来ていることから、昨年度までのような執行残は生じていない。申請方法が学校経由となっていることから、学校の事務職員の負担が増加している部分があるが、昨年度までの申請状況や、諸費の納入状況を把握している事務職員の助けは必要不可欠である。		
課題	認定基準の拡大や支給費目の拡大に対する要望が市民及び市民団体より寄せられていることから、経済的な支援が必要な児童生徒に援助するために財務部と協議の上、検討していく必要がある。	今後の方針	支給費目の拡大及び認定基準の緩和などを検討していく。自宅等でのリモートワークに係る費用について検討する。

事業名	医療的ケア児童生徒就学支援事業		
大綱施策	1-(3)-②特別支援教育の充実		
概要	医療的ケアを必要とする児童生徒の健康の維持・増進及び安全な学習環境の整備を図るため、訪問看護師の派遣による専門的な処置を行う。		
計画	○対象者：1名 ○事業額：1,229,250円 ・週3日まで@5,550×120日=666,000円 ・週4日以降@6,550×80日=524,000円 ・延長料金（1日6時間） @5,200×5回=26,000円 ・緊急訪問看護加算 @2,650×5日=13,250円	実績・成果	○対象者：1名（第三田名部小学校1年） ○内容：血糖値測定及びインスリン注射 ○事業額：1,059,550円 ・週3日まで@5,550×126日=699,300円 ・週4日以降@6,550×55日=360,250円 ※対象児童は令和4年4月から医師の指示書のもと血糖値測定とインスリン注射を行った。
予算	予算総額 1,230,000 円 (内訳) 訪問看護委託料 1,230,000 円	決算	決算総額 1,059,550 円 (内訳) 訪問看護委託料 1,059,550 円 ※決算総額のうち353,000円は国補助額
評価	対象児童の登校日に加え、遠足等の校外活動を行う日にも訪問看護を実施することで、安心して児童を参加させることができたことと保護者から感謝の声をいただいた。保護者・主治医・実施校・実施事業所に参加いただく打合せの場を設けることで、保護者の要望を直接聞き取り、実施方針を関係者全員で確認し共有する体制を構築できた。		
課題	事例の蓄積がまだ少なく、宿泊を伴う校外活動等への対応の可否など、未検討の課題も多い。時間的・人力的な制約により、保護者や学校の要望に対応しきれないケースが出てくること懸念される。	今後の方針	児童生徒が安心して通える環境の整備を万全にするため、主治医・保護者・学校・訪問看護事業所・子育て支援課（学校休業日の学童保育における医療的ケア実施担当課）等関係者との連携を密にしながら実施していく。

事業名	特別支援教育就学奨励事業		
大綱施策	1-(3)-②特別支援教育の充実		
概要	小中学校の特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及、奨励を図ることを目的として奨励費を支給する。		
計画	○対象者：140人 ○支給額：7,669,583円	実績・成果	○対象者：117人 ○支給額：5,925,803円
予算	予算総額 7,669,583 円 (内訳) 学用品費 1,047,900 円 新入学学用品費 881,100 円 修学旅行費 1,186,368 円 校外活動費 268,030 円 通学費 0 円 給食費 4,286,185 円	決算	決算総額 5,981,047 円 (内訳) 学用品費 839,185 円 新入学学用品費 717,465 円 修学旅行費 898,028 円 校外活動費 80,424 円 通学費 0 円 給食費 3,445,945 円
評価	特別支援学級在籍児童生徒の大半が支給対象（一部辞退者、所得による対象外あり）となっており、保護者の経済的な負担軽減に寄与している。		
課題	生活保護基準の見直しにより、対象者数が大きく変わる場合がある。年度途中で入級する児童生徒の申請について、学校と連携して対応する必要がある。	今後の方針	今後も対象者に対し適正に支給を行う。令和5年度は、中学校新入学学用品費の国庫補助対象限度額が引き上げられる見込となっている。

(6) コミュニティ・スクール制度の推進

事業名	学校運営協議会の設置		
大綱施策	1-(4)-②コミュニティ・スクールの推進		
概要	学校の教育目標、教育方針、教育活動の実施、地域の連携、学校運営に地域の意見を反映させ、開かれた学校づくりを推進するために配置している学校評議員から、法律改正に伴い設置する学校運営協議会への移行を実施するものである。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会実施校 市内全校 ※合同で実施する地区も有り ○実施回数 各校（地区）3回程度を目安とする 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会実施校 <ul style="list-style-type: none"> ・単一校実施 11校 ・地区実施 10地区（10校） ○実施回数 各校（地区） 合計50回実施
予算	予算総額 2,330,400 円 (内訳) 報酬 570,000 円 費用弁償 1,550,400 円 需用費 210,000 円	決算	決算総額 965,461 円 (内訳) 報酬 211,000 円 費用弁償 560,713 円 需用費 193,748 円
評価	学校運営協議会での意見を取り入れ、学校運営や学区内の安全についてなど、改善されている学校が多くなっている。		
課題	学校及び地域関係者において「学校運営協議会」そのもののあり方、考え方に差があるため、制度の意義等に関し、更なる周知徹底を図る。	今後の方針	令和2年度からの導入に伴い各学校に対する制度の周知及び活用について進め、併せて先進地区の優良事例等があれば共有し、対応することとする。

(7) 奨学金制度の充実

事業名	奨学金貸付事業		
大綱施策	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進		
概要	当市に住所を有する者の子弟で高等学校又はそれと同等以上の学校に修学している者に対して、修学上必要な学費の一部を貸与し、人材の育成を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○貸与 <ul style="list-style-type: none"> ・高校生：2,520,000円 (継続4人、新規10人 計14人) ・大学生等：39,600,000円 (継続70人、新規40人 計110人) ○返還 <ul style="list-style-type: none"> ・現年度分：38,535,000円 ・滞納分：19,130,500円 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○貸与 <ul style="list-style-type: none"> ・高校生：1,080,000円 (継続4人、新規2人 計6人) ・大学生等：37,680,000円 (継続70人、新規36人 計106人) ○返還 <ul style="list-style-type: none"> ・現年度分：37,117,500円 ・繰上返還分：1,215,000円 ・滞納分：1,735,000円
予算	予算総額 84,985,000 円 (内訳) 委員報酬 59,000 円 費用弁償 104,000 円 需用費 12,000 円 役務費 33,000 円 委託料 184,000 円 貸付金 42,120,000 円 積立金 42,473,000 円	決算	決算総額 79,645,295 円 (内訳) 委員報酬 45,500 円 費用弁償 37,295 円 需用費 0 円 役務費 0 円 委託料 0 円 貸付金 38,760,000 円 積立金 40,802,500 円

評価	令和4年度は新規38名を含む124名への貸与を行った。本奨学金はあくまで貸与型であり、貸与額も高校生で月額1万5千円、大学生等で月額3万円とやや少額であるが、無利子で返還しやすいこともあり、修学に係る経済的負担を軽減する制度の一つとして求められている。		
課題	<p>他の制度と併用している方が多いため、国や県、他自治体の動向を注視し、給付型奨学金の創設を含め奨学金制度の見直しについて調査研究していく必要がある。</p> <p>経済的理由により進学を断念することがないように、市内の中学校及び高等学校の生徒や保護者、学校関係者に対して十分に制度を周知していく必要がある。</p>	今後の方針	<p>給付型奨学金の実施には新たな財源が必要となるため現状では難しい。他の制度と併せて検討し利用してもらえるよう、引き続き周知・運用していく。</p> <p>加えて、国や県、他自治体等の多様な取組を参考に、進学を望む生徒たちのよりよい将来を考え、制度設計や運用について柔軟に検討していく。</p>

○貸与金

(単位:人、円)

区分	貸与者数	貸与額	
高校生	継続貸与者	4	720,000
	新規貸与者	2	360,000
大学生等	継続貸与者	70	24,870,000
	新規貸与者	36	12,810,000
合計	112	38,760,000	

○育英基金の状況

歳入	前年度末残高	174,940,649
	奨学金貸付金元金収入	40,067,500
	緊急支援金貸付金元金収入	735,000
	寄附金	0
	預金利息・運用利息	3,465
	今年度歳入合計	215,746,614
	今年度奨学金貸与貸付金	38,760,000
今年度末基金残高		176,986,614

事業名	むつ市大学医学部修学助成金交付事業（未来人材育成奨学金プロジェクト）		
大綱施策	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進		
概要	市内の高等学校から大学に進学し、医学を履修する課程を修学する者に対し、修学上必要な学費の一部を助成し、将来医師となる人材を育成するとともに、市の医師不足の解消、明確な目的を持った学習による市内の高等学校の学力の向上を図る。		
計画	<p>○募集人数：5人 （継続4人、新規1人）</p> <p>○助成金額：2,500,000円 （1人当たり500,000円）</p>	実績・成果	<p>○応募人数：5人 （継続4人、新規1人）</p> <p>○助成金額：2,500,000円 （1人当たり500,000円）</p>
予算	<p>予算総額 2,500,000円</p> <p>（内訳）助成金 2,500,000円</p>	決算	<p>決算総額 2,500,000円</p> <p>（内訳）助成金 2,500,000円</p>
概要	市内の高等学校から大学に進学し、医学を履修する課程を修学する者に対し、修学上必要な学費の一部を助成し、将来医師となる人材を育成するとともに、市の医師不足の解消、明確な目的を持った学習による市内の高等学校の学力の向上を図る。		
評価	継続申請が4件のほか、令和4年度は新たに1件の申請があり、助成を実施した。まだ実際に医師になった対象者がいないため、評価が難しい面もあるが、医学部修学に係る経済的負担を軽減することで、将来医師となる人材の育成に寄与していると考えられる。		
課題	<p>当市の医師不足の解消につなげることが本事業の趣旨の一つであるが、それが「しぼり」のように感じられ、学生の負担となるという市民からの指摘もあった。</p> <p>また、毎年度目標値を掲げてはいるが、新規の申請者数の増減を予測しづらい面もある。</p>	今後の方針	<p>市長からの助成金贈呈式の際に当市の医療の現状について説明し、問題意識を持ってもらう取組をしている。</p> <p>制度のあり方について、今後の議論も注視しつつ、継続して実施していきたい。</p>

(8) 学校保健の充実

事業名	健康診断委託事業		
大綱施策	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり		
概要	学校保健安全法の規定により、当該児童生徒並びに教職員（県費）の健康管理及び健康維持のために健康診断を毎年定期に実施する。		
計画	○対象児童生徒数：3,639人 ○対象教職員数：406人	実績・成果	○受診児童生徒数：3,593人 ○受診教職員数：251人 ※未受診者は、個別に人間ドック等を受診
予算	予算総額 7,840,719 円 (内訳) 委託料内訳 尿検査 727,800 円 心電図検査 1,761,000 円 貧血検査 507,716 円 教職員健診 4,638,395 円 教職員ストレスチェック 205,808 円	決算	決算総額 6,758,578 円 (内訳) 委託料内訳 尿検査 718,600 円 心電図検査 1,720,500 円 貧血検査 479,402 円 教職員健診 3,634,565 円 教職員ストレスチェック 205,511 円
評価	教職員健康診断は毎年全4日間（内1日は脇野沢診療所）で実施しているが、令和元年度から1日のみ夏期休業中に実施し、大変好評をいただいている。今年度は発熱等で受診できなかった人のために当初予定よりも1日追加し、希望者が受診できるようにした。県費負担教職員391人の内、教職員健康診断受診者数は255人、受診率は65.2%（ドック、ヤングヘルス等受診者を除く）。		
課題	教職員健康診断について、平日の早朝に実施後、通常勤務のため、体力的に厳しいという声が上がっている。そのため、夏休み等の実施を検討する必要がある。	今後の方針	教職員健康診断について、実施時期を青森県総合健診センターと相談の上、見直していく。



事業名	学校医委託事業																						
大綱施策	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり																						
概要	学校における児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るよう各種健康診断や健康相談業務を行うため、学校保健安全法の規定に基づき、産業医、学校医及び学校歯科医並びに学校薬剤師を委嘱する。																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○学校医 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒400人以下 @226,000円×16人 ・児童生徒401人以上700人以下 @293,800円×10人 ○学校歯科医 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒数500人以下 @224,000円×18人 ・児童生徒数501人以上 @291,200円×1人 ○学校薬剤師 @157,000円×21人 ○産業医 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員数50人以上 @360,000円×1人 ○眼科耳鼻科医 (川内・大畑・脇野沢検診) <ul style="list-style-type: none"> ・眼科医 (大畑) @200,000円×1人 ・眼科医 (川内・脇野沢) @100,000円×2人 ・耳鼻科医 (大畑) @200,000円×1人 ・耳鼻科医 (川内・脇野沢) @100,000円×2人 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○学校医 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒400人以下 @226,000円×16人 ・児童生徒401人以上700人以下 @293,800円×10人 ○学校歯科医 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒数500人以下 @224,000円×18人 ・児童生徒数501人以上 @291,200円×1人 ○学校薬剤師 @157,000円×21人 ○産業医 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員数50人以上 @360,000円×1人 ○眼科耳鼻科医 (川内・大畑・脇野沢検診) <ul style="list-style-type: none"> ・眼科医 (大畑) @200,000円×1人 ・眼科医 (川内・脇野沢) @100,000円×2人 ・耳鼻科医 (大畑) @200,000円×1人 ・耳鼻科医 (川内・脇野沢) @100,000円×2人 																				
予算	<p>予算総額 15,334,000 円</p> <p>(内訳) 委託料内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">学 校 医</td> <td style="text-align: right;">6,554,000 円</td> </tr> <tr> <td>学校歯科医</td> <td style="text-align: right;">4,323,200 円</td> </tr> <tr> <td>学校薬剤師</td> <td style="text-align: right;">3,297,000 円</td> </tr> <tr> <td>産 業 医</td> <td style="text-align: right;">360,000 円</td> </tr> <tr> <td>眼科耳鼻科医</td> <td style="text-align: right;">800,000 円</td> </tr> </table>	学 校 医	6,554,000 円	学校歯科医	4,323,200 円	学校薬剤師	3,297,000 円	産 業 医	360,000 円	眼科耳鼻科医	800,000 円	決算	<p>決算総額 15,334,200 円</p> <p>(内訳) 委託料内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">学 校 医</td> <td style="text-align: right;">6,554,000 円</td> </tr> <tr> <td>学校歯科医</td> <td style="text-align: right;">4,323,200 円</td> </tr> <tr> <td>学校薬剤師</td> <td style="text-align: right;">3,297,000 円</td> </tr> <tr> <td>産 業 医</td> <td style="text-align: right;">360,000 円</td> </tr> <tr> <td>眼科耳鼻科医</td> <td style="text-align: right;">800,000 円</td> </tr> </table>	学 校 医	6,554,000 円	学校歯科医	4,323,200 円	学校薬剤師	3,297,000 円	産 業 医	360,000 円	眼科耳鼻科医	800,000 円
学 校 医	6,554,000 円																						
学校歯科医	4,323,200 円																						
学校薬剤師	3,297,000 円																						
産 業 医	360,000 円																						
眼科耳鼻科医	800,000 円																						
学 校 医	6,554,000 円																						
学校歯科医	4,323,200 円																						
学校薬剤師	3,297,000 円																						
産 業 医	360,000 円																						
眼科耳鼻科医	800,000 円																						
評価	委嘱等も滞りなく通知でき、医師会等としっかりと連携がとれた。																						
課題	学校医の委嘱が遅れないよう、医師会との連携をしっかりと行う必要がある。	今後の方針	健康診断の日程調整前に医師会に確認を行う。																				

事業名	学校災害共済給付事業		
大綱施策	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり		
概要	保護者の同意を得て文部科学省が所管する日本スポーツ振興センターとの間に災害共済給付契約を締結し、学校管理下の災害に対して児童生徒に当該医療費を給付する。		
計画	○日本スポーツ振興センター 災害共済掛金（1人当たり） ・一般： 935円 ・要保護： 55円	実績・成果	○日本スポーツ振興センター 災害共済掛金（加入者数：3,644人） ・一般：935円（市負担：475円） ・準要保護：935円（全額市負担） ・要保護：55円（全額市負担） ※令和2年度からは準要保護は計上しない。 ○日本スポーツ振興センター災害共済 ・災害発生件数： 246件 ・医療費給付額： 2,271,430円
予算	予算総額 3,363,240 円 （内訳） 負担金内訳 一般 2,939,640 円 準要保護 397,750 円 要保護 2,475 円 転入者分 23,375 円	決算	決算総額 3,327,435 円 （内訳） 負担金内訳 一般 3,324,355 円 準要保護 0 円 要保護 2,145 円 転入者分 935 円
評価	学校管理下の災害に対して、日本スポーツ振興センターの災害共済に加入していることで、医療費を給付するものである。小中学校に在籍する全世帯に加入してもらっており、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、課外活動・部活動の頻度も減少していることから災害件数は令和元年度に比べて約100件ほど少なくなっている。		
課題	給付の請求漏れがないよう、保護者の制度への認知、理解度を深めることが必要となる。	今後の	給付制度について、保護者の理解、認知度を高めるため、学校を通じ制度の周知を図る。

事業名	学校保健会補助事業		
大綱施策	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり		
概要	学校保健安全教育を推進し、地域社会の協力を得て心身ともに健全な児童、生徒の育成に寄与することを目的としたむつ市学校保健会及びむつ下北学校保健会に協賛する。		
計画	○負担金 ・むつ市学校保健会 20,000円 ・むつ下北学校保健会 132,780円	実績・成果	○負担金 ・むつ市学校保健会 20,000円 ・むつ下北学校保健会 109,761円
予算	予算総額 152,780 円 （内訳） 負担金 152,780 円	決算	決算総額 129,761 円 （内訳） 負担金 129,761 円
評価	学校保健会の補助申請に対して、遅滞なく負担金を支出した。		
課題	負担金の大半が、むつ下北学校保健会への支出であるため、圧縮が難しい。	今後の	むつ下北学校保健会の決算状況を精査していく。

【参考】肥満傾向児数及び肥満傾向児出現率

1. 令和3年度

性別	市町村	単位	小学校							中学校				
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	
			受検者数											
男子	むつ市	人	191	216	207	210	250	192	1,266	234	207	219	660	
			軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)	13	10	16	18	20	18	95	23	14	13	50
			中等度肥満(肥満度30%以上50%未満)	14	19	21	20	31	15	120	13	13	15	41
			高度肥満 (肥満度50%以上)	3	4	11	6	4	6	34	11	5	5	21
			肥満計	30	33	48	44	55	39	249	47	32	33	112
		肥満傾向児出現率	15.71	15.28	23.19	20.95	22.00	20.31	19.67	20.09	15.46	15.07	16.97	
		%	青森県肥満傾向児出現率							全国肥満傾向児出現率				
			8.67	13.78	16.89	15.69	16.83	14.94	16.19	12.74	13.24			
			5.25	7.61	9.75	12.03	12.58	12.48	12.58	10.99	10.25			
女子	むつ市	人	受検者数											
			158 183 206 180 212 196 1,135 207 207 229 643											
			軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)											
			9 13 18 9 16 11 76 18 15 16 49											
			中等度肥満(肥満度30%以上50%未満)											
		9 9 15 11 10 9 63 9 3 9 21												
		高度肥満 (肥満度50%以上)												
		1 1 5 2 7 6 22 3 2 4 9												
		肥満計												
		19 23 38 22 33 26 161 30 20 29 79												
		肥満傾向児出現率												
		12.03 12.57 18.45 12.22 15.57 13.27 14.19 14.49 9.66 12.66 12.29												
		%	青森県肥満傾向児出現率							全国肥満傾向児出現率				
			5.74	10.25	11.62	11.59	12.83	11.50	12.51	14.47	12.68			
			5.15	6.87	8.34	8.24	9.26	9.42	9.15	8.35	7.80			

※出典：令和3年度学校保健統計調査、むつ市学校保健会報第45号

2. 令和4年度

性別	市町村	単位	小学校							中学校				
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	
			受検者数											
男子	むつ市	人	176	197	216	211	207	251	1,258	191	229	203	623	
			軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)	12	13	20	20	19	24	108	21	21	17	59
			中等度肥満(肥満度30%以上50%未満)	6	16	17	19	21	30	109	14	13	13	40
			高度肥満 (肥満度50%以上)	5	4	13	14	8	10	54	7	10	10	27
			肥満計	23	33	50	53	48	64	271	42	44	40	126
		肥満傾向児出現率	13.07	16.75	23.15	25.12	23.19	25.50	21.54	21.99	19.21	19.70	20.22	
		%	青森県肥満傾向児出現率							全国肥満傾向児出現率				
女子	むつ市	人	受検者数											
			199 158 180 208 184 210 1,139 194 206 206 606											
			軽肥満 (肥満度20%以上30%未満)											
			12 12 15 20 17 12 88 17 9 11 37											
			中等度肥満(肥満度30%以上50%未満)											
		9 12 11 15 8 12 67 7 14 7 28												
		高度肥満 (肥満度50%以上)												
		2 1 2 6 3 9 23 5 3 0 8												
		肥満計												
		23 25 28 41 28 33 178 29 26 18 73												
		肥満傾向児出現率												
		11.56 15.82 15.56 19.71 15.22 15.71 15.63 14.95 12.62 8.74 12.05												
		%	青森県肥満傾向児出現率							全国肥満傾向児出現率				

※むつ市内小中学校データより抜粋

青森県及び全国肥満傾向児出現率は、令和4年度に限り令和5年11月頃公表予定

(注) 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100 (\%)$$

事業名	学校災害入院補償事業		
大綱施策	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり		
概要	児童生徒が学校管理下において発生した事故で負傷し入院した場合に、当該児童生徒へ入院補償保険金（見舞金）を支払う。		
計画	○入院日数別の補償金額及び想定件数 ・15日以下 : 10,000円×10件 ・16日以上30日以下 : 20,000円×5件	実績・成果	○補償金の支給件数 ・15日以下 : 10,000円×4件 ・16日以上30日以下 : 20,000円×0件
予算	予算総額 200,000 円 (内訳) 補償補填 200,000 円	決算	決算総額 40,000 円 (内訳) 補償補填 40,000 円
評価	学校と連携して、適切に処理できた。		
課題	給付の請求漏れがないよう保護者の制度への認知、理解度を深めることが必要となる。	今後の方針	給付制度について、保護者の理解、認知度を高めるため、学校を通じ制度の周知を図る。

(9) 学校給食の充実

事業名	学校給食管理事業		
大綱施策	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり		
概要	共同調理場3施設、単独調理場9施設において「安全・安心」な給食を提供するため、学校給食運営及び給食施設の維持管理を行う。		
計画	市直営の共同調理場2施設、単独調理場9施設の維持管理及び指定管理を行っている共同調理場1施設の調理・運搬業務委託を行い、市内小中学校21校に「安全・安心」な給食を提供する。	実績・成果	市直営の共同調理場2施設、単独調理場9施設の維持管理及び指定管理を行っている共同調理場1施設の調理・運搬業務委託を行い、市内小中学校21校に「安全・安心」な給食を提供した。
予算	予算総額 176,487,000 円 (内訳) 給料 62,642,000 円 職員手当 10,013,000 円 需用費 24,890,000 円 役務費 3,155,000 円 委託料 75,732,000 円 使用料及び賃借料 0 円 負担金 40,000 円 公課費 15,000 円	決算	決算総額 167,951,887 円 (内訳) 給料 58,761,320 円 職員手当 8,613,402 円 需用費 22,705,384 円 役務費 2,490,042 円 委託料 75,308,869 円 使用料及び賃借料 18,370 円 負担金 39,500 円 公課費 15,000 円
評価	「安全・安心」な給食を提供することができ、また、学校給食運営及び給食施設の維持管理を安全に行うことができた。		

課題	食中毒防止のため、調理場及び学校内での衛生管理に努めているが、老朽化した調理施設が多く、衛生環境の維持が困難になってきている状況である。近年、食物アレルギーを有する児童生徒が増加傾向にあり、独立した調理スペースを確保できず、十分な対応とはいえない状況である。	今後の方針	現在の調理施設の機能維持に必要な修繕等を実施しつつ、衛生管理基準に適合、また、アレルギー対応が可能な（仮称）防災食育センターの建設に向け、準備を進めていく。
----	---	-------	--

事業名		学校給食設備整備事業	
大綱施策		1-(2)-①健康な体を育む学校づくり	
概要	「安全・安心」な学校給食を提供するため、老朽化や耐用年数の超過した調理機器・用具の修繕又は購入をとおして調理環境の整備を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○現有機器の修繕及び点検・調整等 ○老朽機器の更新 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○現有機器の修繕及び点検・調整等・修繕（ガス回転釜部品交換等） 18件 1,216,649円 ○老朽機器の更新（牛乳保冷库購入等） 9件 2,464,803円
予算	予算総額 3,648,000 円 （内訳） 需用費 1,292,000 円 役務費 88,000 円 備品購入費 2,268,000 円	決算	決算総額 3,818,094 円 （内訳） 需用費 1,216,649 円 役務費 136,642 円 備品購入費 2,464,803 円
評価	「安全・安心」な学校給食を提供するため、調理機器・用具の修繕等を行い、調理環境の整備を図ることができた。		
課題	耐用年数が過ぎた機器が多いため故障が多く、修繕費が嵩む傾向にある。	今後の方針	老朽化した調理機器等の計画的な更新を実施しつつ、衛生管理基準に適合できる（仮称）防災食育センター建設準備を進めていく。

事業名		（仮称）防災食育センター建設事業	
大綱施策		1-(2)-①健康な体を育む学校づくり	
概要	通常時は小中学校に給食を提供する施設として使用し、災害発生時には防災機能を果たす施設として、総合的な推進を図るために必要な施設として整備する。		
計画	令和5年度からの工事に向け、実施設計や各種調査を行うほか、補助金申請にあたり東北防衛局との調整を行う。	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年10月26日 地質調査業務委託完了 ○令和5年3月24日 実施設計業務委託完了 ○東北防衛局ヒアリング 2回（於 仙台市）
予算	予算総額 70,286,000 円 （内訳） 旅費 1,060,000 円 役務費 715,000 円 委託料 68,511,000 円	決算	決算総額 19,651,560 円 （内訳） 旅費 152,560 円 役務費 727,500 円 委託料 18,771,500 円
評価	令和4年度中に完了が必須であった業務は予定通りに完了し、ハード面については概ね計画通りに進捗している。		

課題	令和7年4月の操業に向け、建設工事をはじめとしたハード面、運用方法の決定をはじめとしたソフト面ともに、限られた期間内に漏れなく進めていく必要がある。	今後の方針	工事については資材納期の長期化を念頭に、随時進捗状況を把握しながら進めていく。運営面では運営方法（直営・委託）を早期に決定し、操業に必要な検討を行う。
----	--	-------	---

■ 総務課の重点項目の総括評価 ■

一部コロナ禍の影響を受けた事業もあるが、概ね問題なく事業の実施が出来た。特にGIGAスクール関連事業においては市内小中学校の児童生徒1人1台端末の整備、授業や行事で活用できるよう体育館へのネットワーク環境の整備を完了させ、学校ICT環境の充実を図ることが出来た。今後もICT環境の更なる充実に努め、ICTを活用した学習の推進、業務の効率化、改善に努めていく必要がある。



(仮称)むつ市防災食育センターイメージ図

2 生涯学習課

■ 重点項目の点検（令和4年度の具体的な取組状況）■

（1）生涯学習の推進

事業名	社会教育委員の設置																						
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進																						
概要	社会教育法第15条1項の規定に基づき、社会教育に関する諮問に対して意見を述べ、諸計画の立案を行うため必要な研究調査を行い、教育委員会に助言することができる社会教育委員を配置し、生涯学習活動の充実を図る。																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○委員定数 13人以内 ○任命期間 2年間 ○会議 <ul style="list-style-type: none"> ・むつ市社会教育委員会議 ・下北地区社会教育委員連絡協議会 ・青森県社会教育委員連絡協議会 ○団体構成 <ul style="list-style-type: none"> ・青森県社会教育委員連絡協議会及び下北地区社会教育委員連絡協議会の構成団体として活動する。 ○研修 <ul style="list-style-type: none"> ・資質向上のため各種研修会へ参加する。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○委員定数 13人 ○任命期間 令和3年10月1日～令和5年9月30日（2年間） ○会議開催 <ul style="list-style-type: none"> ・むつ市社会教育委員会議 2回 ・下北地区社会教育委員連絡協議会 3回 (書面開催含む) ・青森県社会教育委員連絡協議会 3回 ○研修参加 <ul style="list-style-type: none"> ・青森県社会教育研究大会 1回 ・下北地区社会教育研究会 大間大会 1回 																				
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>予算総額</td> <td style="text-align: right;">750,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td style="text-align: right;">468,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">251,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td style="text-align: right;">20,000 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td style="text-align: right;">11,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	750,000 円	(内訳) 報酬	468,000 円	費用弁償	251,000 円	消耗品	20,000 円	負担金	11,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>決算総額</td> <td style="text-align: right;">538,023 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td style="text-align: right;">325,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">195,423 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td style="text-align: right;">6,600 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td style="text-align: right;">11,000 円</td> </tr> </table>	決算総額	538,023 円	(内訳) 報酬	325,000 円	費用弁償	195,423 円	消耗品	6,600 円	負担金	11,000 円
予算総額	750,000 円																						
(内訳) 報酬	468,000 円																						
費用弁償	251,000 円																						
消耗品	20,000 円																						
負担金	11,000 円																						
決算総額	538,023 円																						
(内訳) 報酬	325,000 円																						
費用弁償	195,423 円																						
消耗品	6,600 円																						
負担金	11,000 円																						
評価	社会教育委員から教育委員会で実施している事業における実績及び計画に関する意見、要望をいただき、今後の事業への参考となった。また、事業実施についてもご協力いただき、生涯学習活動の充実を図ることができた。																						
課題	社会教育委員の会議のあり方や委員の役割を再確認し、さらに社会教育を推進していくこと。	今後の方針	会議や研究大会などに積極的に参加して、委員の役割や活動について研鑽する機会を提供する。																				

事業名	社会教育指導員による学習支援		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	社会教育指導員を配置し、社会教育活動の充実を図る。		
計画	○社会教育指導員を1人配置する。	実績・成果	○社会教育指導員の配置：1人 ・任期：令和4年4月1日～令和5年3月31日 ・社会教育団体に関する情報収集 ・自然観察会の企画、実施 ・地域学校協働活動の企画、実施 ・学習相談への対応 ・「むつ市の社会教育行政」の作成
予算	予算総額 1,998,000 円 (内訳) 報酬 1,635,000 円 職員手当等 185,000 円 費用弁償 178,000 円	決算	決算総額 1,996,330 円 (内訳) 報酬 1,634,040 円 職員手当等 184,690 円 費用弁償 177,600 円
評価	主催事業参加者からの聞き取りやアンケートをもとに、市民のニーズを把握し、事業内容の精査、及び変化を加え、企画立案、実行を行うことができていたため、社会教育活動の充実を図ることができた。		
課題	教員免許取得者や当業務に精通した経験者等、専門性が求められるため、人選が難しい。	今後の方針	多様化している学習課題や学習ニーズに対応するため、相談活動を周知していく。

事業名	二十歳の集いの開催		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	二十歳を迎える若者を祝福し、将来を担う市民としての自覚を促す。		
計画	○対象者（見込） 590人 ※平成14年4月2日から平成15年4月1日生まれの市内在住及び市外在住の参加希望者	実績・成果	○式典開催日 令和5年1月8日（日） 下北文化会館 参加者334人
予算	予算総額 778,000 円 (内訳) 報償費 100,000 円 費用弁償 20,000 円 消耗品 402,000 円 印刷製本費 137,000 円 食料費 30,000 円 役務費 47,000 円 委託料 42,000 円 使用料 0 円	決算	決算総額 900,334 円 (内訳) 報償費 240,500 円 費用弁償 300 円 消耗品 332,884 円 印刷製本費 194,040 円 食料費 29,160 円 役務費 53,950 円 委託料 49,500 円 使用料 0 円
評価	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら開催した。企画に参加いただいた団体から、来年も参加したいという返答をいただき、祝福する環境も高まりつつある。二十歳を迎える若者も誇らしそうに式典に臨んでいたことからむつ市民としての自覚を促せた。		
課題	一部の企画について、これからは財源の確保を含め、実施の検討が必要である。	今後の方針	経費を抑えつつ、参加者の満足度を高める企画を検討する。

事業名	自然観察会の開催		
大綱施策	2-(1)-③学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進と人材育成		
概要	市民の心豊かな暮らしを実現するため、地域の自然に触れながら季節の移ろいを感じていただく自然観察会を開催する。		
計画	○季節ごとの観察会を開催する。 募集人数 春：15名 夏：15名 冬：20名	実績・成果	○春：大湊水源池公園 令和4年4月23日 参加者19人 ○夏：かわうち・まりん・びーち 令和4年8月19日 参加者16人 ○冬：川内川周辺 令和5年1月15日 参加者8人
予算	予算総額 43,440 円 (内訳) 報償費 37,500 円 費用弁償 5,940 円	決算	決算総額 40,100 円 (内訳) 報償費 37,500 円 費用弁償 2,600 円
評価	募集人数を超える応募があるなど、参加者からは好評をいただいていることから、市民からの要望に応えられた。		
課題	コロナ禍のため参加人数を減らしている。募集人数について検討が必要である。	今後の方針	市民の学習ニーズを把握し、内容などを検討していく。

(2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進

事業名	放課後子ども教室推進事業		
大綱施策	2-(1)-③学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進と人材育成		
概要	地域と学校が連携・協働し、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指すため、事業を行い地域との連携を図っていく。		
計画	○年に2回、事業計画の策定やなかよし会との情報交換の場として、「むつ市地域学校協働本部運営委員会」を開催する。 ○各教室ごとにコーディネーターと教育活動サポーターを配置し、事業を実施する。 ○費用負担：(国1/3、県1/3、市1/3)	実績・成果	○運営委員会：委員12人 会議開催3回 ○子ども教室数：3教室 ○コーディネーターの配置：2人 ○教育活動サポーターの登録：9人 任期：令和4年4月1日～令和5年3月31日 ○内容：スポーツ、畑づくり、読み聞かせ、工作、学習補助
予算	予算総額 3,582,000 円 (内訳) 報償費 2,893,000 円 費用弁償 348,000 円 需用費 185,000 円 役務費 46,000 円 備品購入費 110,000 円	決算	決算総額 2,396,638 円 (内訳) 報償費 1,982,892 円 費用弁償 230,447 円 需用費 168,599 円 役務費 14,700 円 備品購入費 0 円
評価	子ども教室に参加している児童の保護者からは今後も参加させたいという回答が9割程度となっている。子ども教室以外でも地域の人々も参加できる事業を行い、参加者の満足度は総じて高いことから、目的は達成された。		

課題	地域全体で子供たちの学びや成長を支えることについて実践に移せるよう働きかける必要がある。	今後の方針	子ども教室の在り方を再考しつつ、引き続き地域との連携に重点を置き活動を展開していく。 地域人材の掘り起こしなど、活用可能な地域資源の活用を図る。
----	--	-------	---

(3) 社会教育施設の機能充実

事業名	むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	<p>恵まれた自然環境の中で、市民の生涯学習や子ども達の体験学習の場として活用しながら、地域の情報発信に寄与することを目的に施設を運営する。</p> <p>指定管理者制度を導入し、質の高い事業内容と利用者の増加を図り、安定した施設運営を目指す。</p>		
計画	<p>【指定事業】</p> <p>○常設展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貝殻の常設、企画展示及び貝殻を使ったワークショップ ・海の生物展示及びワークショップ <p>【自主事業】</p> <p>○むつ・小川原地域産業振興プロジェクト支援成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川内町の資源活用カヤック体験 ・川内町の資源活用モニターツアー <p>○海と日本PROJECT助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むつホタテフェスティバル <p>○地域の思いをつなぐ若者育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先輩にインタビュー！Inむつ川内町 <p>○かわうち・まりん・びーち清掃事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かわうち・まりん・びーちクリーンアップDay2022 	実績・成果	<p>【指定管理者】</p> <p>NPO法人シェルフォレスト川内</p> <p>【指定管理期間】</p> <p>令和3年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>【年度中の施設利用者（人数）】</p> <p>5,482人</p> <p>【事業実施状況】</p> <p>○常設展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山口和雄コレクション世界の貝」（世界の貝殻約100種） ・海の生きもの生態展示 ・「下北の自然 むつ湾の生きもの」「陸奥湾のイルカとジオパーク」 <p>【自主事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川内町の資源活用カヤック体験 ・川内町の資源活用モニターツアー（むつ・小川原地域産業振興プロジェクト支援成事業） ・企画展「ホタテをめぐる世界」 ・むつホタテフェスティバル（海と日本PROJECT助成事業） ・先輩にインタビュー！Inむつ川内町（地域の思いをつなぐ若者育成事業） ・かわうち・まりん・びーちクリーンアップDay2022（かわうち・まりん・びーち清掃事業）
予算	<p>予算総額 6,025,000 円</p> <p>(内訳) 委託料 6,025,000 円</p> <p>使用料 0 円</p>	決算	<p>決算総額 6,025,000 円</p> <p>(内訳) 委託料 6,025,000 円</p> <p>使用料 0 円</p>
評価	事業の開催がコロナ禍以前より多く実施され、それに伴い利用者の増加が見られたことから目的は達成された。		
課題	建物の維持管理に影響を及ぼす設備の故障が散見される。	今後の方針	質の高い事業を開催し、利用者の増加を図る。 施設の修繕について、川内庁舎と連携して対応していく。

事業名	むつ市下北自然の家の管理・運営		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	<p>本施設は、豊かな自然環境を活かし、集団宿泊、野外活動、自然体験等を通じて健全で心身ともに調和のとれた青少年を育成するための場を提供すること、また市民が生涯学習の場として利用し、結果として地域振興に寄与することを目的に設置された。</p> <p>指定管理制度を活用することで、質の高い住民サービスの提供、利用者数の増加、安定した施設運営をめざす。</p>		
計画	○主催事業の実施 ○自主事業の実施 ○受入事業の実施	実績・成果	【指定管理者】 一般財団法人むつ市教育福祉振興会 【指定管理期間】 令和2年4月1日～令和5年3月31日 【施設の利用状況（総数）】 ・利用団体数 262団体 ・利用者実人数 4,690人 ・利用者延人数 6,156人 ・宿泊者人数 1,343人 【事業の実施状況】 別表のとおり
予算	予算総額 100,242,000 円 (内訳) 需用費 0 円 委託料 89,127,000 円 使用料 80,000 円 工事請負費 11,035,000 円	決算	決算総額 96,556,165 円 (内訳) 需用費 389,925 円 委託料 88,534,000 円 使用料 75,240 円 工事請負費 7,557,000 円
評価	主催事業、自主事業ともに新型コロナウイルス感染症拡大防止をしながら事業を実施していた。コロナの影響により多少のキャンセルも発生した。なお、利用者からの評価は高く、リピーターもいることから目的は達成された。		
課題	建物の老朽化で修繕等が必要な箇所が多々ある。また、備品についても古くなっており更新が必要である。	今後の方針	出前講座を増やすなどの対策により、新規利用層の獲得を目指す。 建物の老朽化対策と備品の更新について計画的に行っていく。

○事業の実施状況

事業区分	事業数	利用者実人数	主な事業名
主催事業	34	560	黒森山登山 ツリーイング
自主事業	14	234	そば打ち体験 べこもち作り
受入事業	164	4,987	(主な受入・出張先の団体名)
出張講座	10		・MASAKARI陸上クラブ ・大瀬剣道育成会 ・NPO法人ニホンザルフィールド

(4) 芸術・文化活動の奨励と振興

事業名	むつ市文化賞・文化奨励賞受賞者作品展示																		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実																		
概要	むつ市表彰条例に基づき、むつ市において主に文化芸術分野で著しい功績をあげた方を文化賞・文化奨励賞の対象者として選定、推薦し、審査会に諮る。 また、受賞者の功績を広く市民に紹介するため受賞者紹介展を開催する。																		
計画	むつ市の文化賞・文化奨励賞対象者を抽出選定し、推薦する。 また、受賞者が出た場合は受賞者紹介展を開催する。	実績・成果	○文化奨励賞対象者 1 名推薦 (山本隆悦氏) ○文化賞・文化奨励賞受賞者紹介展 ・期間：令和 4 年 11 月 3 日～11 月 13 日 ・会場：北の防人大湊 式番館 ・来場者：132 人																
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>78,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>45,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>26,000 円</td> </tr> <tr> <td>役員費</td> <td>7,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	78,000 円	(内訳) 報償費	45,000 円	消耗品費	26,000 円	役員費	7,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>40,078 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>30,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>10,078 円</td> </tr> <tr> <td>役員費</td> <td>0 円</td> </tr> </table>	決算総額	40,078 円	(内訳) 報償費	30,000 円	消耗品費	10,078 円	役員費	0 円
予算総額	78,000 円																		
(内訳) 報償費	45,000 円																		
消耗品費	26,000 円																		
役員費	7,000 円																		
決算総額	40,078 円																		
(内訳) 報償費	30,000 円																		
消耗品費	10,078 円																		
役員費	0 円																		
評価	文化奨励賞の対象となる顕著な活動をした個人を選出・推薦し、受賞に繋げることができ、市民へ受賞者の活動を広く紹介できた。																		
課題	文化芸術の分野において、地域に根差した活動をしている候補者選定が年々難しくなっている。	今後の方針	社会教育団体等から情報収集するなど、幅広く候補者の洗い出しを図る。																

事業名	東京藝術大学出身演奏家による芸術鑑賞教室																		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実																		
概要	東京藝術大学（アドバイザー：佐野教授）の御協力のもと、新進気鋭の若手演奏家を派遣いただき、小中学生の情操教育に寄与する。																		
計画	○東京藝術大学出身の若手演奏家を市内小中学校に招聘し鑑賞教室を開催。 音楽をとおして児童生徒と交流する。	実績・成果	○佐野教授、演奏家 4 名（山口香菜子、蒙和雅、沓名大地、安藤巴） ○令和 4 年 7 月 12 日 ・関根小・中学校 ・奥内小・近川中学校 ○令和 4 年 7 月 13 日 ・太平小学校																
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>579,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>210,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>358,000 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>11,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	579,000 円	(内訳) 報償費	210,000 円	旅費	358,000 円	需用費	11,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>532,236 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>196,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>326,640 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>9,596 円</td> </tr> </table>	決算総額	532,236 円	(内訳) 報償費	196,000 円	旅費	326,640 円	需用費	9,596 円
予算総額	579,000 円																		
(内訳) 報償費	210,000 円																		
旅費	358,000 円																		
需用費	11,000 円																		
決算総額	532,236 円																		
(内訳) 報償費	196,000 円																		
旅費	326,640 円																		
需用費	9,596 円																		
評価	開催した学校からは、楽器に興味を持った子や実際に学校にある楽器で演奏し始めた子がいるという意見をいただいた。次回以降も参加したいという希望調査の結果から小中学生の情操教育に寄与できた。																		
課題	コロナ禍により大人数が集合して開催することができなかった。	今後の方針	今後はより多く参加できるよう学校と協議して開催する。 ハイレベルの演奏を間近で聞くことができ、児童生徒にとって貴重な経験であるこの事業を継続していく。																

(5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用

事業名	むつ市文化団体、民俗芸能の保存と伝承活動等支援事業		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実		
概要	市内の芸術文化団体（32団体）で組織され、相互の交流と芸術文化活動の振興を目的に市民文化祭を開催している「むつ市文化団体協議会」に補助金を交付するとともに、民俗芸能の伝承団体等に対し、保存、伝承活動に関する助成金等の情報を提供し、活動を支援する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○「市民文化祭」などの事業に対して活動費等の補助を行う。 ○民俗芸能の伝承団体に対し、保存、伝承活動に関わる補助及び助成金に関する情報を提供し、活動を支援する。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○むつ市文化団体協議会の事業への補助 74,000円 ・第52回むつ市民文化祭 入場者2,920人 ○文化芸術活動に対する共催・後援 ・共催承認 2件 ・後援承認 11件 ○財団等助成金情報の提供 7件
予算	予算総額 74,000 円 (内訳) 補助金 74,000 円	決算	決算総額 74,000 円 (内訳) 補助金 74,000 円
評価	3年ぶりに市民文化祭を開催できた。また、民俗芸能の伝承団体へも財団等助成金情報の提供をし、3件で助成金を活用することができたことから、目的は達成された。		
課題	新型コロナウイルス感染症拡大対策の影響を受けた文化芸能、民俗芸能などの活動について継続的な支援を行っていく必要がある。	今後の方針	各団体に補助金の活用について情報提供し、文化芸能や民俗芸能などの活動の活性化を図る。

事業名	文化財保護審議会の設置		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実		
概要	文化財保護法第190条第1項、及びむつ市文化財保護条例第4条の規定に基づき、むつ市文化財保護審議会を設置し、当市における文化財の保存及び活用に資する。また、下北地方文化財審議委員連絡協議会会員として、下北管内全域の文化財保護に資する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○委員について ・定数:15人以内(現在13人) ・任期:2年(令和3年12月1日～令和5年11月30日) ○会議の開催:年2回 ○下北地方文化財審議委員連絡協議会(下文審)の活動 ・審議委員は会員となっている ・生涯学習課が下文審事務局 ・年1回の総会、年2回の研修会を開催 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財保護審議会会議:1回開催 ○下文審総会、前期研修会(むつ市) むつ市中央公民館講堂にて実施。7人参加 ○下文審後期研修会(大間町) 大間町総合開発センターにて実施。8人参加(うち、2人発表)
予算	予算総額 711,000 円 (内訳) 報酬 384,000 円 費用弁償 297,000 円 需用費 13,000 円 負担金 17,000 円	決算	決算総額 351,816 円 (内訳) 報酬 175,500 円 費用弁償 151,316 円 需用費 8,000 円 負担金 17,000 円
評価	会議は、審議案件がなかったため1回の開催となったが、会議時間を決め、集中的な協議ができた。下文審研修会では講師や委員からの発表について意見交換等ができたことで、有意義な研修会となり、各々の研究等に活かされることと思われる。		

課題	来期の委員委嘱に向けて、候補者の抽出、選定することが必要となってくると思われる。	今後の方針	高等教育機関をはじめとする関係機関専門家との折衝を進めていきたい。
----	--	-------	-----------------------------------

事業名	文化財収蔵庫の管理・運営		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実		
概要	市内2ヶ所の文化財収蔵庫について、施設の管理と、収蔵品の適正な管理（収蔵品のデータ化作業、所在確認と清掃等）に務める。 むつ地区においては重要文化財指定品を収蔵しているため、施設管理人を配置する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○施設管理人を1人配置する。 <ul style="list-style-type: none"> ・データ化作業（計測、写真撮影）、収集、管理 ○整理人夫による所在確認、清掃作業の実施 ○収蔵品の公開と活用 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○施設管理人：1人（会計年度任用職員） <ul style="list-style-type: none"> ・資料寄贈受理 1件 ・資料貸出 3件 ・写真提供 10件 ○整理人夫作業（3人） ○見学受入：10人（1団体） ○出前授業：1件（苫生小学校1年） ○収蔵品の活用展示を式番館で実施
予算	<p>予算総額 5,257,000 円</p> <p>(内訳) 給料 2,087,000 円 消耗品費 140,000 円 燃料費 2,000 円 電気料 1,873,000 円 上下水道料 167,000 円 役務費 340,000 円 委託料 648,000 円</p>	決算	<p>決算総額 5,204,184 円</p> <p>(内訳) 給料 2,085,896 円 消耗品費 226,231 円 燃料費 1,397 円 電気料 1,826,819 円 上下水道料 127,102 円 役務費 289,939 円 委託料 646,800 円</p>
評価	コロナ禍ではあったが、見学受入や出前授業の周知を行い、実施することができた。受け入れた学校の子どもたちや先生からは、実際に見ること、触れることができ、貴重な体験をすることができた、今後も利用したいとの声があり、式番館での展示も含め、収蔵品の活用を図ることができた。		
課題	資料受入等による収蔵スペースの不足が現れてきている。また、既存の資料のデータ化も並行して実施しているため、管理人1人では膨大な量になってくる。	今後の方針	データ化作業を進めていくため、また、資料受入等もあるため、管理人を追加するなどの検討を進めていく必要がある。作業の効率化を図りつつ、収蔵スペースの確保に努めたい。



収蔵庫見学時の様子



出前授業 むかしのあそび

事業名	北の防人大湊貳番館の活用とガイド活動支援		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実		
概要	<p>自主事業を開催し、北の防人大湊貳番館の活用を図る。 また、歴史や自然に親しんでもらうため、説明案内するガイドを養成するとともに、ガイドの拠点施設として施設を活用し、ガイド活動支援に努める。</p>		
計画	<p>○自主事業の企画、実施 ○ガイド養成講座の開講 ○ガイド活動団体の支援</p>	実績・成果	<p>○自主事業の実施：3回 ・GW企画 写真展 芦崎の記録 ・企画事業1 歴史パネル展 ・企画事業2 収蔵品展 食とくらし ○ガイド養成講座…実施 (新規登録1人) ○ガイド活動団体の支援 (活動保険16人分、活動必需品購入等) ○総合的な学習の時間に伴うジュニアガイドの養成講座と、その活動としてツアーの実施 ・実施校：大湊小学校 ・ツアー参加者：40人 ・あわせて県重点事業「小学生による地域の文化財体験事業」実施校</p>
予算	<p>予算総額 512,000 円 (内訳) 報償費 30,000 円 旅費 15,000 円 消耗品費 95,000 円 印刷製本費 346,000 円 役務費 26,000 円 円</p>	決算	<p>決算総額 484,234 円 (内訳) 報償費 25,000 円 旅費 0 円 消耗品費 227,204 円 印刷製本費 219,230 円 役務費 12,800 円 円</p>
評価	<p>予定していた自主事業を実施することができ、貳番館の活用を図れた。 ガイドについては、養成講座受講者が1名ガイド登録をし、団体や市内小学校の学習における案内などに対する活動を支援することができた。 ジュニアガイドの取り組みも、地域と学校、自衛隊との連携が図られ、徐々に定着してきていると感じる。以上のことから目的を達成できた。</p>		
課題	<p>コロナ感染が収束し、観光客などのガイド希望が増えたときに支援できるよう、体制作りが必要である。</p>	今後の方針	<p>今後もガイド活動を支援するとともに、自衛隊と協議しながら新しいガイドに取り組んでいきたい。</p>



ジュニアガイドツアー時の様子

事業名	文化財・自然調査事業																						
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実																						
概要	むつ市における貴重な動植物を継続調査することにより、生態系や希少生物の生息を把握する。また、その調査について文化財調査報告にまとめ情報発信する。																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○各種調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・芦崎調査：5回 ・釜臥山周辺調査 ○文化財調査報告第52集の刊行 ○芦崎ミニ図鑑の作成、刊行 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○各種調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・芦崎調査：5回 ・釜臥山周辺調査：6回 ○文化財調査報告第52集 200部刊行 ○芦崎の自然 ミニフィールドガイドの作成、刊行 																				
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">1,116,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">325,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">20,000 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">759,000 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td style="text-align: right;">12,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	1,116,000 円	(内訳) 報償費	325,000 円	消耗品費	20,000 円	印刷製本費	759,000 円	食糧費	12,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">911,853 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">255,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">81,683 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">566,500 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td style="text-align: right;">8,670 円</td> </tr> </table>	決算総額	911,853 円	(内訳) 報償費	255,000 円	消耗品費	81,683 円	印刷製本費	566,500 円	食糧費	8,670 円
予算総額	1,116,000 円																						
(内訳) 報償費	325,000 円																						
消耗品費	20,000 円																						
印刷製本費	759,000 円																						
食糧費	12,000 円																						
決算総額	911,853 円																						
(内訳) 報償費	255,000 円																						
消耗品費	81,683 円																						
印刷製本費	566,500 円																						
食糧費	8,670 円																						
評価	これまでの調査報告書を元に概要版となる図鑑を作成し、散策事業への展開に道筋をたてることができた。また、報告書も例年どおり刊行することができ、各学校や図書館等へ配付し周知を図ることができた。																						
課題	<p>ミニ図鑑の活用方法については回数を重ねながら検討する必要がある。 また、調査については調査員の育成及び確保に努めなければならない。</p>	今後の方針	<p>事業が継続できるよう、関係機関と連携を図りながら実施する。 調査員の確保に向けて、現調査員からの意見、教員等にも調査について発信していく。</p>																				

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業																																														
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実																																														
概要	遺跡(市内184ヶ所)における土木工事に対し、現場の事前確認や試掘などの予備調査を実施する。また、遺跡外であっても、大規模開発の場合には同様に予備調査を実施する。																																														
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○業者等の遺跡照会に対する窓口対応 ○遺跡内で土木工事等が行われる場合及び遺跡外でも大規模開発等が行われる場合の事前協議を実施 ○状況に応じて予備調査(現場確認、踏査、試掘確認調査等)を実施 ○報告書刊行 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○業者等による照会件数：76件 ○試掘確認調査：4件 <ul style="list-style-type: none"> うち1件、酪農(3)遺跡の発掘調査は当初予定外の案件。7月に協議を行い、8月に調査を行った ○工事立会：3件 ○報告書刊行：300部 																																												
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">5,944,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td style="text-align: right;">20,000 円</td> </tr> <tr> <td>給料</td> <td style="text-align: right;">1,815,000 円</td> </tr> <tr> <td>職員手当等</td> <td style="text-align: right;">173,000 円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td style="text-align: right;">14,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">194,000 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">398,000 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">62,000 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">2,960,000 円</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td style="text-align: right;">291,000 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">17,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	5,944,000 円	(内訳) 報酬	20,000 円	給料	1,815,000 円	職員手当等	173,000 円	報償費	14,000 円	旅費	194,000 円	需用費	398,000 円	役務費	62,000 円	委託料	2,960,000 円	賃借料	291,000 円	備品購入費	17,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">4,743,049 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>給料</td> <td style="text-align: right;">820,992 円</td> </tr> <tr> <td>職員手当等</td> <td style="text-align: right;">91,008 円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">25,081 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">290,239 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">64,028 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">3,265,900 円</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td style="text-align: right;">140,151 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">45,650 円</td> </tr> </table>	決算総額	4,743,049 円	(内訳) 報酬	0 円	給料	820,992 円	職員手当等	91,008 円	報償費	0 円	旅費	25,081 円	需用費	290,239 円	役務費	64,028 円	委託料	3,265,900 円	賃借料	140,151 円	備品購入費	45,650 円
予算総額	5,944,000 円																																														
(内訳) 報酬	20,000 円																																														
給料	1,815,000 円																																														
職員手当等	173,000 円																																														
報償費	14,000 円																																														
旅費	194,000 円																																														
需用費	398,000 円																																														
役務費	62,000 円																																														
委託料	2,960,000 円																																														
賃借料	291,000 円																																														
備品購入費	17,000 円																																														
決算総額	4,743,049 円																																														
(内訳) 報酬	0 円																																														
給料	820,992 円																																														
職員手当等	91,008 円																																														
報償費	0 円																																														
旅費	25,081 円																																														
需用費	290,239 円																																														
役務費	64,028 円																																														
委託料	3,265,900 円																																														
賃借料	140,151 円																																														
備品購入費	45,650 円																																														

評価	当初予定していた案件に加え、緊急に対応しなければならない案件も生じたが、野外調査は対応できていることから目的は達成された。 普及活動としては、大畑公民館まつりで遺物を展示、関連して講座も実施した。		
課題	今年度は1件の予備調査で、遺物が大量に出土したが、その整理作業が間に合わず、報告書は刊行するものの、不十分な内容になってしまう。原因は整理作業から報告書刊行までの体制が脆弱であるためである。	今後の方針	担当者が整理作業に携われる時間の確保が必要。なお、未整理の資料については、今後も作業を継続することで、整理を進め再度報告する機会をもつ。

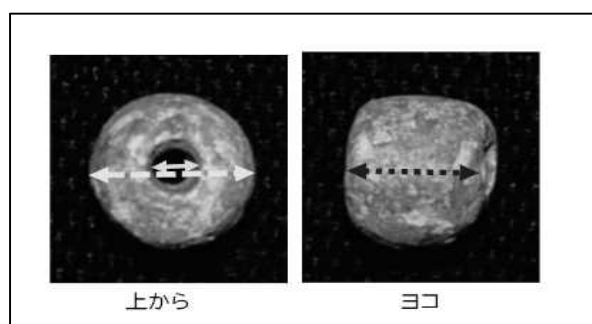
事業名	田名部館遺跡本発掘調査事業																														
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実																														
概要	都市整備部で管轄する代官山公園の整備事業に伴う園路整備工事に先立ち、遺跡の本発掘調査を実施する。当地点は田名部館遺跡の範囲内であり、令和3年に本格的な調査を行い、その後、整理作業を経て、報告書を刊行する。																														
計画	○昨年度の調査で出土した遺物の整理 ○鉄製品の保存処理 ○調査中にサンプリングした試料の分析	実績・成果	○保存処理業務 鉄製品4点 ○火山灰の分析結果の寄稿受領 ○土壌サンプル中の珪藻の分析結果の寄稿受領 ○炭化物試料20点の年代測定																												
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>4,091,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 給料</td> <td>649,000 円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>18,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>121,000 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>148,000 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>3,105,000 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>50,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	4,091,000 円	(内訳) 給料	649,000 円	報償費	18,000 円	旅費	121,000 円	需用費	148,000 円	委託料	3,105,000 円	備品購入費	50,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>1,814,637 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 給料</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>9,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>28,700 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>83,989 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>1,643,118 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>49,830 円</td> </tr> </table>	決算総額	1,814,637 円	(内訳) 給料	0 円	報償費	9,000 円	旅費	28,700 円	需用費	83,989 円	委託料	1,643,118 円	備品購入費	49,830 円
予算総額	4,091,000 円																														
(内訳) 給料	649,000 円																														
報償費	18,000 円																														
旅費	121,000 円																														
需用費	148,000 円																														
委託料	3,105,000 円																														
備品購入費	50,000 円																														
決算総額	1,814,637 円																														
(内訳) 給料	0 円																														
報償費	9,000 円																														
旅費	28,700 円																														
需用費	83,989 円																														
委託料	1,643,118 円																														
備品購入費	49,830 円																														
評価	今年度は調査成果について、計画通り、外部への分析、執筆依頼、遺物の保存処理業務を進めた。一方、内部で進めるべき整理作業については、他事業との兼ね合いもあり、全く進めることができなかったため、目的を達成できたとはいえない。																														
課題	埋蔵文化財発掘調査事業により、今年度遺物が大量に出土したことで、予定していた本事業に係る整理作業に取り掛かれなかった。	今後の方針	新年度、早い時期から整理作業に取り掛かり、報告書刊行を目指す。専門職員の増を関係部署に働きかける。																												

事業名	文化財保護保存管理事業																																		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実																																		
概要	指定文化財及び天然記念物の保護や保存に努めるとともに、管理する施設（旧大湊水源地水道施設、むつ・川内地区文化財収蔵庫、壺番館等）の修繕や環境整備等を行う。																																		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財等施設管理 修繕、除草作業等の実施 ○啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財防火デー（1/26） 文化庁、消防庁が主唱する行事の実施 ○天然記念物関連 <ul style="list-style-type: none"> ・カモシカについては死体処理及び滅失届の提出と、生体の場合は状況に応じて対応 ・ハクチョウについては大湊湾内について対応 <p>※文化財パトロール(県事業)</p>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○施設管理 <ul style="list-style-type: none"> ・壺番館他の除草作業の実施、侵入防止杭の設置、砂利等整備 ・文化財施設として式番館屋根の緊急修復工事の実施 ○啓発活動 文化財防火デーの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・田名部地区 訓練：常楽寺 ほか、査察等 ・大湊地区 火災予防査察：常念寺 ・川内地区 訓練： ほか、査察等 ・脇野沢地区 訓練：船小屋休憩所 ほか、査察 ○天然記念物 <ul style="list-style-type: none"> ・カモシカ 滅失届：15件 ・ハクチョウ 特になし <p>※文化財パトロール 遺跡：59件実施</p>																																
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>予算総額</td> <td style="text-align: right;">398,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">10,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">25,000 円</td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td style="text-align: right;">3,000 円</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td style="text-align: right;">90,000 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">220,000 円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td style="text-align: right;">50,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	398,000 円	(内訳) 報償費	10,000 円	消耗品費	25,000 円	燃料費	3,000 円	修繕料	90,000 円	委託料	220,000 円	工事請負費	0 円	原材料費	50,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>決算総額</td> <td style="text-align: right;">1,004,775 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">41,163 円</td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td style="text-align: right;">4,957 円</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td style="text-align: right;">935,000 円</td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td style="text-align: right;">23,655 円</td> </tr> </table>	決算総額	1,004,775 円	(内訳) 報償費	0 円	消耗品費	41,163 円	燃料費	4,957 円	修繕料	0 円	委託料	0 円	工事請負費	935,000 円	原材料費	23,655 円
予算総額	398,000 円																																		
(内訳) 報償費	10,000 円																																		
消耗品費	25,000 円																																		
燃料費	3,000 円																																		
修繕料	90,000 円																																		
委託料	220,000 円																																		
工事請負費	0 円																																		
原材料費	50,000 円																																		
決算総額	1,004,775 円																																		
(内訳) 報償費	0 円																																		
消耗品費	41,163 円																																		
燃料費	4,957 円																																		
修繕料	0 円																																		
委託料	0 円																																		
工事請負費	935,000 円																																		
原材料費	23,655 円																																		
評価	<p>施設等管理については、定期的に見回りを行い景観保護にも努めることができた。</p> <p>天然記念物関連について、特にカモシカについては、市内全域で対応しなければならず、それに対応する人員が不足しており、通常業務に支障を来すこともあったが、目的は達成できた。</p>																																		
課題	天然記念物の死体処理の場合、滅失届の提出が求められているため業者への委託が難しく、事故や感染症などのリスクを背負いながら対応しなければならないこと。	今後の方針	関係部署や機関と相談し、連携して対応できるよう取り組んでいく。																																

事業名	重要文化財保存修理事業(二枚橋2遺跡出土品)		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実		
概要	平成24年9月に国の重要文化財に指定された「二枚橋2遺跡出土品」1,308点のうち、320点について、今後の保存活用のため令和12年度までかけて修復する。		
計画	<p>○専門業者に委託して修復業務を実施する。業務を進める際は、文化庁の指導監督を受け、当市担当者が立ち会う。修復予定320点のうち今年度は30点を修復する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土製玉30点の修復 ・上記修復資料の一括保存台1点作製 <p>○情報発信</p>	実績・成果	<p>○修復業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉢1点、土製玉30点の修復 ・一括保存台1点作製 ・指導監督3回 (開始前、中間、最終) <p>○情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP上で紹介 ・埋蔵文化財関連イベントにおけるパネル展示
予算	<p>予算総額 3,120,000 円</p> <p>(内訳) 旅 費 360,000 円</p> <p>需用 費 10,000 円</p> <p>委託 料 2,750,000 円</p>	決算	<p>決算総額 3,119,365 円</p> <p>(内訳) 旅 費 132,380 円</p> <p>需用 費 126,985 円</p> <p>委託 料 2,860,000 円</p> <p>※決算総額のうち1,559,000円は国庫補助額</p>
評価	修復業務は入札の執行残により当初計画のものだけでなく、対象資料を追加しており、計画は順調に進んでいる。また、今年度は2日間、指定品の一部を公開、約400名の見学者が訪れ、修理事業や埋蔵文化財の啓発に一定の成果があったことから目的は達成できた。		
課題	修復対象資料の見直しが必要。	今後の方針	修復すべき資料の抽出を進めると共に、情報発信として新年度はリーフレットの作成を行う。



二枚橋2遺跡出土品修理完成品



径 (⇄白い点線) 0.5cm
幅 (⇄黒い点線) 0.5cm
孔径 (⇄実線) 0.2cm

土製玉 (一例)

事業名	重要文化財保存修理事業（旧大湊水源地水道施設）		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実		
概要	重要文化財である旧大湊水源地水道施設の修理事業を実施する。 この修理事業は国庫補助金を活用し、平成28年度から令和6年度までの計画で実施する予定である。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○保存修理事業の実施（国庫補助事業） <ul style="list-style-type: none"> ・第一引入口等実施設計業務委託 ・堰堤設計及び監理業務委託 ・堰堤保存修理工事 ・文化庁調査官による現地指導 ○修理専門委員会の開催 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○保存修理事業の実施（国庫補助事業） <ul style="list-style-type: none"> ・第一引入口等実施設計業務委託 ・堰堤設計及び監理業務委託 ・堰堤保存修理工事 ○修理専門委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・現地視察 ・会議開催 ○工事現場見学会の開催 2回 延べ13名参加
予算	<p>予算総額 79,908,000 円</p> <p>(内訳) 報酬 78,000 円 旅費 509,000 円 消耗品費 10,000 円 委託料 32,776,000 円 工事請負費 46,535,000 円</p>	決算	<p>決算総額 71,318,903 円</p> <p>(内訳) 報酬 58,500 円 旅費 263,315 円 消耗品費 5,188 円 委託料 28,296,900 円 工事請負費 42,695,000 円</p> <p>決算総額のうち、35,502,000円は国庫補助金</p>
評価	<p>工事について看板設置や進捗状況チラシ設置等の情報発信、現場見学会などのソフト事業も実施し、周知することができた。</p> <p>工事は3ヶ年の継続事業を無事終了することができたことから、目的は達成された。</p>		
課題	通常の土木工事と異なるため、計画どおりの進捗管理が難しい状況である。	今後の方針	工事は環境整備等を含め今後3年程度は続くので、担当者、現場設計監理者と綿密な打ち合わせを行い、安全第一に考え、完成を目指す。

■ 生涯学習課重点項目の総括評価 ■

<p>全体的にコロナ禍であったが、各種事業を概ね計画どおりに実施することができた。また、社会教育施設の利用も回復し、市民の皆様に「いつでも、どこでも、何度でも、誰でも」学べる環境と学習機会を提供することができた。</p> <p>むつ市の自然や文化財等の地域資源を活用した事業を展開し、郷土愛の醸成を図ることができた。</p> <p>文化財の保存活用については、重要文化財の修理事業は進んでいるが、公開できる環境が整っていないため、今後の公開・活用を見据え調査・研究に努めていく必要がある。</p>
--

3 学校教育課

■ 重点項目の点検（令和4年度の具体的な取組状況）■

（1）学力向上対策の充実

事業名	総合学力調査・知能検査実施		
大綱施策	1-(1)-①明確な目標設定		
概要	児童生徒対象の学力検査及び知能検査に関する実態把握を通し、学力向上に向けた基礎資料の作成を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○むつ市総合学力調査を小学校4年生から中学校3年生まで実施する。 ○知能検査を小学校2年生、5年生、中学校1年生で実施する。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○4月に小学校2年生、5年生、中学校1年生を対象に知能検査を実施し、市全体の傾向をまとめた課内資料を作成した。 ○4月に小学校4年生から中学校3年生までを対象に学力調査を実施した。市全体における自校の順位がわかる資料、各設問とタブレット教材との関連表を各校に送付した。
予算	予算総額 4,372,000 円 (内訳) 消耗品費 344,000 円 委託料 4,028,000 円	決算	決算総額 4,164,148 円 (内訳) 消耗品費 333,368 円 委託料 3,830,780 円
評価	市全体、学校ごと、個々の児童生徒の学力の様子を経年比較し、実態に応じた指導に役立てることができた。		
課題	総合学力調査については、結果分析の活用が十分とは言えない。また、小学校の外国語科の成果についても把握する必要がある。	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・結果分析に基づく補充学習や個別指導、TT指導等の充実について働きかける。 ・令和5年度より、中学校1年生の実施教科に外国語を加える。

事業名	活用力育成講座開催		
大綱施策	1-(1)-③主体的な学習の推進		
概要	むつ市学校教育の課題である活用力を育成するために、全国学力・学習状況調査等の実態に基づき、各教科における活用力の育成に向けた実践的な研修を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○活用力育成講座を開催する。（「むつ必修講座」として各校1名以上必ず参加） ○前年度のうちに学習指導要領の内容に沿って改定した活用型問題集「ドリームワーク」について、各校へ周知する。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○活用力育成講座 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和4年7月26日 ・参加者：21人 ・講師：県総合学校教育センター 宮古 和行 指導主事 ・講義・演習：「活用力を育成する『総合的な学習の時間』」 ○改定した活用型問題集「ドリームワーク」について、令和4年4月にキャビネット上に掲載した。
予算	予算総額 7,800 円 (内訳) 旅 費 7,800 円	決算	決算総額 7,800 円 (内訳) 旅 費 7,800 円
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は青森県総合学校教育センター義務教育課指導主事宮古和行先生を講師にお招きし、総合的な学習の時間における活用力の育成に関する講義・演習を行っていただいた。受講者アンケートのA評価が76.2%、ポジティブ評価が95.2%であったことから、ねらいは概ね達成できた。 		

課題	今年度は「総合的な学習の時間」の学習指導における活用力の向上について研修講座を開催したが、小学校と中学校とでは、取り組む内容に差があることから、小中学校両方のニーズにあった講座とすることが難しい。	今後の方針	次年度は、学力向上における小中高大の連携強化を視野に入れ、研修講座を「学びの連携推進講座」として開催する。会場は青森大学むつキャンパス、講師はむつキャンパスの今井キャンパス長に依頼し、内諾をいただいている。
----	--	-------	---

事業名		デジタル教科書・デジタル教材購入	
大綱施策		1-(1)-①明確な目標設定	
概要	児童生徒の基礎的・基本的な知識及び技能の確かな習得に向けて、学習者用デジタル教材を購入する。		
計画	○学力の向上を図るため、令和3年度に在籍のなかった学年の指導者用デジタル教科書（小学校算数・理科）を補充する。 ○知識・技能の定着に向け、小学校には国語、社会、算数、理科の4教科を、中学校には国語、社会、数学、理科、英語の5教科のデジタル教材を配備する。	実績・成果	○小学校デジタル教科書購入 ・算数、理科 ○デジタル教材購入 ・小学校：国語、社会、算数、理科 ・中学校：国語、社会、数学、理科、英語
予算	予算総額 4,705,200 円 (内訳) 消耗品費 4,705,200 円	決算	決算総額 3,973,200 円 (内訳) 消耗品費 3,973,200 円
評価	授業中での使用に加え、朝自習や家庭学習などでも使用するなど、活用が図られている。デジタル教材の使用回数について、2月末現在、小学校は目標70回に対し111回、中学校は目標200回に対し185回であることから、小学校において目的は達成できた。		
課題	学校や教科によって使用回数に差が生じている。	今後の方針	具体的な活用場面や活用方法について、再度周知する。また、各種学力調査問題との関連を示すなど、使用回数の向上につなげる。

事業名		新聞を活用した学習への支援	
大綱施策		1-(1)-①明確な目標設定	
概要	むつ市の小・中学生が新聞に親しみ、新聞を読む習慣を身に付けるとともに、授業等で新聞を活用した教育活動を推進するため、市内全ての小学校5、6年生と中学校全学年（特別支援学級を含む）を対象に、希望する新聞を各学級1部配備する。		
計画	○市内小学校5、6年生と中学校全学年を対象に、希望する新聞を配備する。	実績・成果	○新聞配備部数 小学校：44部 中学校：71部 ○出前授業 小学校6校 中学校3校 ○学校は、授業での活用の他に、短学活でのニュース発表や個人新聞の作成、読ませたい記事の掲示など、児童生徒の実態に応じた多様な活用を図った。
予算	予算総額 2,875,000 円 (内訳) 2,875,000 円	決算	決算総額 2,663,379 円 (内訳) 2,663,379 円
評価	アンケート結果から、「本事業を通してニュースや時事に関心をもつようになった」と回答した児童生徒の割合は40%（前年度41%）となった。また、教員アンケートでは、「新聞を活用することでニュースに関心をもち、日々の授業と関連付けて考える生徒が多くなった。新聞を読むことで語彙が増え、作文などを書くときもスラスラ書く生徒が増えた。」との回答もあり、学力の向上に一定の役割を果たしている。		

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・複数紙を購読することで、読解力や情報リテラシーの向上を図る。 ・新聞を読む児童生徒数を増やす。 	今後の方針	<p>これまで、閲覧を希望する学校にのみ配備していた東奥日報電子版について、市内全小・中学校に再周知し、積極的な活用を依頼していく。</p>
----	---	-------	--

事業名	研究大会への派遣助成		
大綱施策	1-(1)-②教員の資質向上		
概要	授業研究に関する全国規模の県外研修等に参加し、最新情報を得ることで教員の資質・能力を伸ばすとともに、校内研修を活性化することで、学習指導要領への対応も含め、本市学校教育の課題である学力向上の改善を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科や学力向上に関する県外研修等の費用を、予算の範囲内において各校1名分助成する。(対象とする研修会は神奈川県以北とする。) 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○11月に中学校教員1名が中学校英語東北大会に、2月に小学校教員1名が、筑波大附属小学校初等教育研修会に参加した。 ○2名の研修報告書をグループウェアsynerg上のキャビネットに掲載し、各校で閲覧できるようにした。
予算	予算総額 1,534,000 円 (内訳) 旅 費 1,471,000 円 負 担 金 63,000 円	決算	決算総額 116,120 円 (内訳) 旅 費 116,120 円 負 担 金 0 円
評価	11月に中学校教員1名が東北六県英語教育研究大会に、2月に小学校教員1名が筑波大附属小学校初等教育研究会に参加した。いずれも現地開催の大会であり、授業等を実際に参観できたことから、充実した研修になったことが報告書からも窺えた。		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症拡大の見通しが立たず、各校で参加を控えたことが予想されるが、今後は、より多くの教員に参加していただきたい。 ・研修成果を、参加者の学校だけでなく市内各校に広げること。 	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の申込みが少ない場合には、定期的に本事業を周知し、年度途中の参加の追加や変更に対して臨機応変に対応する。 ・指導主事が、研究大会の資料をもとに、学習指導に関する有益な情報をまとめ、各校に紹介する。

事業名	授業目的公衆送信補償金等管理協会負担金		
大綱施策	1-(1)-③主体的な学習の推進		
概要	一定の補償金を支払うことで、タブレット端末を活用したオンライン授業や予習・復習のための著作物等の送信に対し、著作物利用を無許諾で行うことができる。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレット端末を活用したオンライン授業や予習・復習のための著作物等の送信に対し、児童一人当たり120円、生徒一人当たり180円の補償金を支払う。 ○適切な運用を確認するため、「一般社団法人授業目的公衆送信保証金等管理協会(SARTRAS)」に活用状況を報告する。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の図など、必要かつ適切な著作物等を用いて作成したワークシートを児童生徒のタブレット端末に送信するなど、著作権を気にすることなく効果的な学習を行うことができた。 ○令和4年度における、活用状況の報告依頼はなかった。
予算	予算総額 571,000 円 (内訳) 負 担 金 571,000 円	決算	決算総額 514,288 円 (内訳) 負 担 金 514,288 円
評価	本事業により、予習・復習用に教員が他人の著作物を用いて作成した教材を児童生徒の端末に送信したり、児童生徒が、学習の成果物等を作成したりするなど、効果的な学習に取り組むことができた。		

課題	遠隔授業や著作物を用いて作成した教材を送信する必然性が更に高まるため、教員や児童生徒に対して、著作権利用についての知識を高める必要がある。	今後の方針	今後、タブレット端末を活用する機会が更に増えるため、著作権の侵害といった不測の事態に備えるためにも、本事業を継続していく。
----	---	-------	---

(2) 教育研修センター講座等の充実

事業名	教職員研修講座開設																		
大綱施策	1-(1)-②教員の資質向上																		
概要	教職員の専門性や資質の向上を図り、実践的な指導力を高めるために授業改善等に係る研修講座を開催する。 また、講座内容の改善を図るため、各講座担当指導主事が全国的な研修会に参加する。																		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○弘前大学教育学部との連携による授業づくり講座など16講座を開催する。 ○各講座担当指導主事が全国的な研修会に参加する。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○開設講座：16講座 新型コロナウイルス感染拡大による影響が懸念されたが、予定通り全講座を開催することができた。 ○受講者数：延べ383人 ○全国的な研修会への参加 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため派遣中止 																
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">1,217,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">176,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">1,021,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">20,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	1,217,000 円	(内訳) 報償費	176,000 円	旅費	1,021,000 円	消耗品費	20,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">239,600 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">131,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">89,358 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">19,242 円</td> </tr> </table>	決算総額	239,600 円	(内訳) 報償費	131,000 円	旅費	89,358 円	消耗品費	19,242 円
予算総額	1,217,000 円																		
(内訳) 報償費	176,000 円																		
旅費	1,021,000 円																		
消耗品費	20,000 円																		
決算総額	239,600 円																		
(内訳) 報償費	131,000 円																		
旅費	89,358 円																		
消耗品費	19,242 円																		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も弘前大学教育学部との連携により、6講座に弘前大学の先生方をお招きして研修講座を開催することができた。また、青森県総合学校教育センターや弘前大学教職大学院など、その道の専門家に講師を依頼し、充実した講座となるよう努めた。 ・受講者アンケートでは、全体のA評価が86.6%、A評価とB評価を合わせたポジティブ評価が98.1%となり、受講者のニーズに合わせた内容となったと言える。 																		
課題	活用力育成講座について、小中学校教員を対象として実施したが、小中学校教員が抱えているそれぞれのニーズに全て応えることは難しい。	今後の方針	次年度は、学力向上における小中高大の連携強化の方向性に基づき、研修講座を「学びの連携推進講座」として開催する。会場は青森大学むつキャンパス、講師はむつキャンパスの今井キャンパス長に依頼し、内諾をいただいている。																

(3) 小中一貫教育の充実

事業名	9ブロックでの小中一貫教育推進研究		
大綱施策	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進		
概要	次代を担う人づくりに資するために、小・中学校間の連携を重視した教育課程を編成し、9年間を一貫としてとらえた指導体制や教育環境を創るための研究を深化させるとともに、今後の進むべき方向性を市内小・中学校全職員で確認し、学力向上と生徒指導の充実を図る。		
計画	<p>○市内の9つの中学校ブロックへ、施設や児童生徒数といったブロックの実状に応じた小中一貫教育の充実に資する研究を依頼する。</p> <p>○小中一貫教育全国連絡協議会の会費を支払い、小中一貫教育全国サミットへ参加する。</p>	実績・成果	<p>○全9ブロックの研究実施計画書集及び研究実施報告書集を作成、配付した。</p> <p>○小中一貫教育全国サミットが、令和4年11月4日、5日に福岡県飯塚市で開催され、授業公開や実践発表から他地区において成果を上げている取組を学ぶことができた。</p> <p>○落ち着いた学校生活環境の中で充実した教育活動が実践されていることにより、生徒指導上の問題行動が減少したが、学力に関しては伸び悩んでいる。</p>
予算	<p>予算総額 465,000 円</p> <p>(内訳) 旅 費 435,000 円</p> <p>負 担 金 30,000 円</p>	決算	<p>決算総額 224,280 円</p> <p>(内訳) 旅 費 194,280 円</p> <p>負 担 金 30,000 円</p>
評価	各中学校ブロックでは、規模や校舎の設置状況など実状に合わせて工夫しながら小中一貫教育の取組を推進している。また、コロナ禍ではあるが、ブロック全員協議会は、9中学校ブロック全てで実施し、学力向上と生徒指導の充実についてブロック内で協議できた。		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・会議等の増加に伴う教員の多忙化 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点による、集合形式での開催の是非 	今後の方針	開催時期や回数、開催形式については、各ブロックの状況等に応じて、柔軟な対応をお願いする。

事業名	小中一貫教育非常勤講師配置		
大綱施策	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進		
概要	小中一貫教育における乗り入れ授業（中学校教員による小学校での学習指導等）、小学校高学年一部教科担任制、きめ細かい学習指導、複式学級（一人の教員による複数学年での指導）解消など、学力向上と生徒指導の充実を図るため、非常勤講師として教員免許保持者を採用し各中学校ブロックに配置する。		
計画	<p>○乗り入れ授業、小学校高学年一部教科担任制、きめ細かい学習指導、複式学級解消など、学力向上と生徒指導の充実を図るため、非常勤講師として全9中学校ブロックに1人ずつ配置する。</p>	実績・成果	<p>○配置人数は、全9中学校ブロックに1人ずつ配置した。</p> <p>○任期については、令和4年4月1日～令和5年3月31日の1年間である。</p> <p>○小学校における一部教科担任制や少人数指導、ティームティーチングなど、学校の実態に即した取組が進められている。</p>
予算	<p>予算総額 20,138,000 円</p> <p>(内訳) 報 酬 17,034,000 円</p> <p>期 末 手 当 1,936,000 円</p> <p>旅 費 1,168,000 円</p>	決算	<p>決算総額 19,039,093 円</p> <p>(内訳) 報 酬 16,488,094 円</p> <p>期 末 手 当 1,858,077 円</p> <p>旅 費 692,922 円</p>
評価	各ブロックに配置された小中一貫教育非常勤講師は、ブロックの実状に応じて児童生徒の指導に当たった。児童生徒のアンケート結果から、小中一貫教育非常勤講師との学習に対して、80%のポジティブ評価を得られていることから、目的は概ね達成できた。		

課題	学校やブロックの規模により活用状況に違いはあるものの、学校からの要望は高い。しかし、教員免許を所持する適任者の確保がより難しい状況となっている。	今後の方針	配置者に対する学校での効果的な活用の工夫をお願いするとともに、全9中学校ブロックに継続して配置できるように、定年による退職教員へ積極的に周知するなど人材の確保に努める。
----	--	-------	--

(4) 質の高い教育課程の創造

事業名	むつ市学校教育プラン策定委員会開催		
大綱施策	1-(1)-①明確な目標設定		
概要	小・中学校校長、高等学校校長、幼保園関係者、PTA代表者等を招集し、第3次「むつ市学校教育プラン」の策定に向けた協議を行う。		
計画	○「むつ市学校教育プラン（令和5～9年度）」の作成に向け、年間3回の策定会議の開催と、パブリックコメントの募集を行う。	実績・成果	○むつ市学校教育プラン策定会議 ・第1回：7月8日（金） ・第2回：9月20日（火） ・第3回：11月4日（金） ○パブリックコメント 1件 以上を踏まえ、「むつ市学校教育プラン（令和5～9年度）」が完成した。
予算	予算総額 501,000 円 (内訳) 報酬 156,000 円 旅費 94,000 円 印刷製本費 251,000 円	決算	決算総額 256,905 円 (内訳) 報酬 65,000 円 旅費 56,605 円 印刷製本費 135,300 円
評価	3回の「むつ市学校教育プラン策定委員会」の開催とパブリックコメントの募集をとおして、小・中学校、高等学校、幼保園、保護者、市民などからの多くの意見や要望を踏まえた内容にすることができた。		
課題	第3次「むつ市学校教育プラン」における推進目標の達成状況等について、広い視点からの検証が必要である。	今後の方針	・「学校教育プラン検証委員会」の開催をとおして、検証を進める。 ・児童生徒や教職員、保護者に対する意識調査（アンケート）を実施し、検証を進める。

事業名	指導の方針と重点に関する指導・支援事業		
大綱施策	1-(1)-①明確な目標設定		
概要	「指導の方針と重点」に係る説明会の開催、説明冊子の発行・配付及び学校計画訪問等により、むつ市学校教育の課題である学力の向上と生徒指導の充実に向けた教育活動がより一層推進されるよう指導・支援を行う。		
計画	○説明会の開催、説明冊子の発行・配付、指導主事による学校訪問により、むつ市学校教育の課題解決と各学校の教育目標の実現を支援する。	実績・成果	○説明会を開催するとともに、説明冊子を全教職員へ配付した。 ○学校訪問時の全体会において方針と重点の説明を行い、全教職員に直接伝える事ができた。
予算	予算総額 128,000 円 (内訳) 消耗品費 23,000 円 印刷製本費 103,000 円 材料費 2,000 円	決算	決算総額 160,649 円 (内訳) 消耗品費 34,809 円 印刷製本費 125,840 円 材料費 0 円

<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1月10日(火)に、むつ市役所で開催した「むつ市学校教育指導の方針と重点説明会」において、各校の校長(教頭)と教務主任に次年度の方針と重点について説明した。 【出席者】市内小・中学校より41名 なお、このことに関連した取組の評価(参考)については以下のとおり。 ・学力向上を喫緊の課題として学力向上プログラムを作成し、8月に市内全教員に配付した。 ・10～12月の要請訪問では、各指導主事に、指導助言の際に参観授業の具体的な場面を取り上げながら、学力向上プログラムの内容に触れるよう指示し、指導助言を行うことができた。また、「主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善」「評価計画を活用した指導と評価の一体化」についても指導助言を行った。 ・学力向上プログラムの実施状況調査結果から (実施率:実施校数/全校数(21校) ※12月と2月に調査) ①各教科における、自校の「強み」「弱み」の明確化(95%) ②学力の課題及び要因の考察に基づく、自校の目標設定(86%) ③SYEN(シエン)やタブレットドリルを活用して学習したことを定着させる取組(95%) ④「ねらい」、「学習課題」、「まとめ」、「評価」につながる授業づくり(100%) ⑤指導に生かす評価の充実(86%) ⑥学習課題を工夫した授業づくり(100%) ⑦タブレット端末やデジタル教材(タブレットドリル他)などを活用した授業づくり(100%) ⑧できなかった問題に何度も取り組ませるなど、粘り強い指導(90%) ⑨家庭学習の習慣化を図るための家庭学習の手引きの活用や家庭学習強化週間などの実施(90%) <p>※実施率が90%に達していないものについて ②については、次年度の小中一貫実施計画書に学力向上アクションプランについての各校の数値目標を記載していただくよう周知済みである。 ⑤については、学校訪問時の指導助言により、教員の意識が高まってきているが、まだ改善の余地があると捉えている。指導に生かす評価の取組については、次年度の方針と重点に明示しており、引き続き意識化を図っていく。</p>			
<p>課題</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="244 920 794 1160"> <p>学力向上プログラムの実施状況調査結果に基づいて、次年度の学力向上プログラムの内容を精査し、各校に周知する必要がある。</p> </td> <td data-bbox="794 920 869 1160"> <p>今後の方針</p> </td> <td data-bbox="869 920 1420 1160"> <p>次年度は学校教育プランの初年度となるため、学校訪問において、学校教育プランの骨子と、それを受けた方針と重点の内容について説明する。併せて学力向上プログラムについても直接教員にお伝えし、取組の推進を図っていく。</p> </td> </tr> </table>	<p>学力向上プログラムの実施状況調査結果に基づいて、次年度の学力向上プログラムの内容を精査し、各校に周知する必要がある。</p>	<p>今後の方針</p>	<p>次年度は学校教育プランの初年度となるため、学校訪問において、学校教育プランの骨子と、それを受けた方針と重点の内容について説明する。併せて学力向上プログラムについても直接教員にお伝えし、取組の推進を図っていく。</p>
<p>学力向上プログラムの実施状況調査結果に基づいて、次年度の学力向上プログラムの内容を精査し、各校に周知する必要がある。</p>	<p>今後の方針</p>	<p>次年度は学校教育プランの初年度となるため、学校訪問において、学校教育プランの骨子と、それを受けた方針と重点の内容について説明する。併せて学力向上プログラムについても直接教員にお伝えし、取組の推進を図っていく。</p>		

<p>事業名</p>	<p>児童生徒の高い志をはぐくむ支援事業</p>																																																		
<p>大綱施策</p>	<p>1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進</p>																																																		
<p>概要</p>	<p>児童生徒が高い志を持ち、夢の実現に向かうことができるよう、学校が学力向上等に資する新たな取組を行うことを支援するために予算措置を講じる。 また、教育委員会として必要な事業を実施する。</p>																																																		
<p>計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各校の取組支援 ○高校入試問題集(DVD)配付 ○All English Challenge実施 	<p>実績・成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の取組支援 市内8小中学校で実施した。 ○高校入試問題集(DVD)配付 入試問題分析と併せて市内各中学校に配付し、活用を促した。 ○All English Challenge 令和5年1月6日～7日の日程で、福島県のBritish Hillsに13名の生徒を派遣した。 																																																
<p>予算</p>	<table border="1"> <tr> <td>予算総額</td> <td>4,264,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>481,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>616,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>690,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>役員費</td> <td>10,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>920,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>611,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>936,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	4,264,000	円	(内訳) 報償費	481,000	円	旅費	616,000	円	需用費	690,000	円	役員費	10,000	円	委託料	920,000	円	使用料及び賃借料	611,000	円	備品購入費	936,000	円	<p>決算</p>	<table border="1"> <tr> <td>決算総額</td> <td>3,423,388</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>189,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>307,406</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>632,554</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>役員費</td> <td>247,568</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>1,002,030</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>330,600</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>714,230</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	3,423,388	円	(内訳) 報償費	189,000	円	旅費	307,406	円	需用費	632,554	円	役員費	247,568	円	委託料	1,002,030	円	使用料及び賃借料	330,600	円	備品購入費	714,230	円
予算総額	4,264,000	円																																																	
(内訳) 報償費	481,000	円																																																	
旅費	616,000	円																																																	
需用費	690,000	円																																																	
役員費	10,000	円																																																	
委託料	920,000	円																																																	
使用料及び賃借料	611,000	円																																																	
備品購入費	936,000	円																																																	
決算総額	3,423,388	円																																																	
(内訳) 報償費	189,000	円																																																	
旅費	307,406	円																																																	
需用費	632,554	円																																																	
役員費	247,568	円																																																	
委託料	1,002,030	円																																																	
使用料及び賃借料	330,600	円																																																	
備品購入費	714,230	円																																																	

<p>評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各校における事業評価は以下のとおりである。（各校からの実施報告書より抜粋） ○川内小中学校（Society5.0を力強く生き抜くためのスキルアップチャレンジ事業） <ul style="list-style-type: none"> *ワークショップは生徒の変容に即効性があった。教育講演会は大学入試の変化に対応した学校教育の在り方を示唆していただき、数値化できない非認知能力を鍛えることの可能性も含めて、大人の側の意識改革に繋がった。 ○むつ中学校（むつ中生みんなで応援・おもてなしボランティア） <ul style="list-style-type: none"> *ゼロベースからのスタートではあったが、仮説の検証や生徒の変容から、初年度の活動としては成功であり、ねらいは達成できたものと捉える。 ○大畑中学校（大畑中学校学力向上プラン） <ul style="list-style-type: none"> *各学年とも知識・技能の定着が図られ、学力が少しずつ向上してきている。「家庭学習→授業→補充学習」のサイクルが確立してきている成果であると捉えている。 ○第三田名部小学校（児童の高い志を育む「夢に挑戦 TRY MY BEST」プロジェクト） <ul style="list-style-type: none"> *オンラインの環境整備を進めることで、交流活動の選択肢を広げることができた。次年度以降の教育活動の充実に関わるものと期待される。 ○奥内小学校（夢に向かって、すすんで学ぼう！ふるさとへ出かけよう！応援事業） <ul style="list-style-type: none"> *アンケート結果について、全体的には大きな変容は見られなかったが、個々の児童に目を向けてみると、回答状況に変化が見られた児童がいたことから、効果は大きかったと考える。当初は夢や目標がなく、自分に自信が持てないでいた児童に対して、本事業の取組が何らかの好影響を与えたことは間違いないと考える。 ○苫生小学校（「自分の言葉で語る力」を育成するプレゼンテーション能力向上事業） <ul style="list-style-type: none"> *本事業で得たスキルを活用し、委員会活動の際に、全校放送でスライドや動画を用いて発表する児童が見られるようになった。 ○大畑小学校（デジタルとアナログを融合させた、表現力を高める実践事業） <ul style="list-style-type: none"> *全校として児童自ら表現しようとする意欲は高まってきていると感じられる。 		
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに事務担当者が各校を訪問し、予算の執行に関する打合せを行ったが、新規事業だったこともあり、問い合わせが多かった。 ・英検補助の手続きについて整理し、各中学校に周知する必要がある。 	<p>今後の方針</p>	<p>次年度事業実施希望校に対する決定通知を发出するとともに、予算措置に係る協議を行う。特に新規実施校（田名部中、近川中）とは綿密に打合せを行う。</p>

(5) 健康教育・安全教育の充実

<p>事業名</p>	<p>「健康の未来」を変えるプロジェクト授業</p>														
<p>大綱施策</p>	<p>1-(2)-①健康な体を育む学校づくり</p>														
<p>概要</p>	<p>社会医学の第一人者である弘前大学大学院医学研究科の中路重之特任教授の協力を得て、健康に関心を持ち、生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培うことができるよう、授業実践を推進する。</p>														
<p>計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実施校の選定を行う。 ○開催に向けて日程調整を行う。 ○保護者の参加を呼びかける。 	<p>実績・成果</p>	<p>市内1中学校において授業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○期 日 令和4年11月10日 ○対象校 大平中学校 ○対象生徒 大平中：2学年 72名 ・むつ市の今年度の新体力テストの結果は以下の通りである。（ ）内は県平均。 (対象：小5、中2表示はT得点：全国50) <table border="0"> <tr> <td>男子</td> <td>女子</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小5 48.9 (49.8)</td> <td>小5 49.4 (51.0)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中2 51.8 (50.4)</td> <td>中2 52.1 (49.6)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 	男子	女子			小5 48.9 (49.8)	小5 49.4 (51.0)			中2 51.8 (50.4)	中2 52.1 (49.6)		
男子	女子														
小5 48.9 (49.8)	小5 49.4 (51.0)														
中2 51.8 (50.4)	中2 52.1 (49.6)														
<p>予算</p>	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>77,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 旅 費</td> <td>17,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>60,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	77,000 円	(内訳) 旅 費	17,000 円	消耗品費	60,000 円	<p>決算</p>	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>39,060 円</td> </tr> <tr> <td>旅 費</td> <td>9,060 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>30,000 円</td> </tr> </table>	決算総額	39,060 円	旅 費	9,060 円	消耗品費	30,000 円
予算総額	77,000 円														
(内訳) 旅 費	17,000 円														
消耗品費	60,000 円														
決算総額	39,060 円														
旅 費	9,060 円														
消耗品費	30,000 円														

評価	<p>今年度は11月10日(木)に、大平中学校において事業を実施した。実施後のアンケート調査では、生徒・教員いずれのポジティブ評価も100%であり、ねらいは達成できたと言える。</p> <p>小学校では県に届かなかったが、中学校では男女とも県平均を上回ることができた。質問紙調査との関連では、「体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。」という設問の回答結果と似たような傾向がある。次年度の学校訪問時に市全体の傾向として伝え、指導・支援に生かしていただく。</p>		
課題	<p>事業を実施していない学校に対して、実践事例などを周知し、日常の健康づくりに活用していただく必要がある。</p>	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は3校から事業実施希望が出されている。(正津川小学校、田名部中学校、大平中学校)それぞれの希望時期が異なるため、中路教授と連絡調整を図りながら事業を進めていく。 ・各校での健康づくりに関する取組について、本事業実践事例集を活用していただくよう、周知を図る。

事業名	学校危機管理マニュアル改訂		
大綱施策	1-(2)-②安全・防災教育の推進		
概要	<p>危機管理マニュアル策定委員会において、現行の危機管理マニュアル「子どもの安全確保のために」の問題点や改善点を洗い出すとともに、「新たな危機事象」「感染症対策」「熱中症対策」「災害対策」を入れて、改訂版を作成する。</p>		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○危機管理マニュアル策定委員会を3回実施する。 ○危機管理マニュアル策定委員会で作成された意見をもとに改訂版を作成する。 ○市内各小中学校に危機管理マニュアルを配付し説明会を実施する。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○危機管理マニュアル策定委員会 期日 1回目 令和4年5月30日(月) 2回目 令和4年7月4日(月) 3回目 令和4年10月25日(火) 委員 9名 ○危機管理マニュアル配付及び説明会 期日 令和4年12月21日(水)
予算	<p>予算総額 439,000 円</p> <p>(内訳) 報 償 費 8,000 円 旅 費 133,000 円 需 用 費 298,000 円</p>	決算	<p>決算総額 362,283 円</p> <p>(内訳) 報 償 費 2,500 円 旅 費 111,128 円 需 用 費 248,655 円</p>
評価	<p>以前の危機管理マニュアルの問題点や改善点を洗い出し、「新たな危機事象」「感染症対策」「熱中症対策」「災害対策」等の項目を新たに追加した。また、冊子の他にデータを各学校に送付することで、各学校でより一層活用できるマニュアルとすることができた。</p>		
課題	<p>本危機管理マニュアルをベースに、各学校の実態に応じたマニュアルの作成に向けて、実態把握と情報提供に適宜努めていく必要がある。</p>	今後の方針	<p>校長会と教育委員会との合同会議や、生徒指導担当者が出席する学校警察連絡協議会の定例協議会等を利用し、各校への周知を図る。</p>

(6) キャリア教育の充実

事業名	むつ市こども議会		
大綱施策	1-(3)-①キャリア教育の充実		
概要	むつ市の小学生が、議会傍聴をとおして市政と市議会のしくみを理解するとともに、次代を担う市民としての自覚を深める機会とする。		
計画	<p>○市内小学校6年生を対象として、学校規模に合わせて各校1～3名を募集する。</p> <p>○9月、12月議会の一般質問（議員1～2名）を傍聴する。</p>	実績・成果	<p>○9月議会傍聴（9/5） ⇒小学生9名、引率教員5名</p> <p>○12月議会傍聴（12月7日、8日） ⇒小学生14名、引率教員7名</p>
予算	<p>予算総額 32,000 円</p> <p>(内訳) 旅 費 32,000 円</p>	決算	<p>決算総額 31,200 円</p> <p>(内訳) 旅 費 31,200 円</p>
評価	参加児童23人のA評価は78%、肯定的評価は100%、社会科で学習した議会の役割や市民の願いを叶える政治が実際に行われているところを見ることができたのでよかった等の感想から目的は達成できた。		
課題	<p>新型コロナウイルス感染症への対応により、各小学校の議会傍聴人数が減っている。6月、9月の傍聴は修学旅行と時期が重なる学校があり、事前の調整が必要である。</p>	今後の方針	<p>来年度の中学生によるこども議会の開催を充実したものにするため、綿密な計画を進めていく。</p>

事業名	むつ市中学生夢はぐくむ体験入学事業		
大綱施策	1-(3)-①キャリア教育の充実		
概要	<p>大学での体験活動をとおして、将来の職業に対する意識と学習意欲を向上させるとともに、各中学校でのキャリア教育推進の一助とする。</p> <p>地域の医療や住民の健康状態等の現状と課題を知らせ、健康に対する意識を高め、健康的な生活を送る態度を育てるとともに、地域の課題解決に向けて積極的に関わろうとする意欲を持たせる。</p>		
計画	<p>○青森中央学院大学で体験活動を行う。</p> <p>○対象となる市内中学生を募集する。（定員20人）</p>	実績・成果	<p>○新型コロナウイルス感染症の拡大により中止。</p>
予算	<p>予算総額 24,000 円</p> <p>(内訳) 食 糧 費 24,000 円</p>	決算	<p>決算額 0 円</p> <p>(内訳) 食 糧 費 0 円</p>
評価	新型コロナウイルス感染症拡大で中止となったため、評価できない。		
課題	<p>参加希望生徒が少ないため、生徒がどのような訪問先や体験内容を求めているかを改めて検討する必要がある。</p>	今後の方針	<p>生徒のニーズにあった訪問先選びを検討するとともに、中学生にとって魅力的な内容となるよう、大学の担当者と綿密に打ち合わせをしながら計画を立てていく。</p>

事業名	関係機関との連携		
大綱施策	1-(3)-①キャリア教育の充実		
概要	海洋研究開発機構むつ研究所による海洋教室や、東北放射線科学センターによる理科教室を行うことにより、科学への関心を高めるとともに、研究者との交流を通して、夢と希望を育てる。		
計画	○小・中学校において、海洋教室及び理科教室を開催する。	実績・成果	○海洋教室 ・令和4年11月11日 関根小学校4年生～6年生 : 28人 ○理科教室 ・令和4年10月31日 苫生小学校6年生 : 85人
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
評価	海洋教室では、身近な海水に関する観察・実験を通して、海洋環境の保全について考えを深めることができた。児童のアンケート結果でポジティブ評価が100%であったことから、目的を達成できた。 理科教室では、身の回りにある放射線を観察する活動を通して、自然の事物・現象に関する考えを深めることができた。参加児童や教職員の負担軽減のためアンケート調査は実施していないが、実験を真剣に観察し、熱心に耳を傾ける様子から目的は達成できた。		
課題	科学への関心を高めるとともに、研究者との交流を通して夢と希望を育てるよう運営の工夫を図る必要がある。	今後の方針	海洋教室主催者、並びに理科教室主催者との連絡調整を図り、参加する児童生徒が、科学への関心を高めるとともに、研究者との交流を通して、夢と希望を育てるようにする。 令和5年度は、海洋教室は田名部中学校、理科教室は大平中学校で実施予定。

事業名	むつ市子ども夢育成基金		
大綱施策	2-(1)-①スポーツ活動の推進		
概要	むつ市の小・中学生の文化、芸術、スポーツ、体験事業・研修派遣等を積極的に支援し、むつ市を担う子供たちを育成するための安定的財源確保を目的とした基金を設立する。		
計画	○むつ市の小・中学生が参加する文化・芸術活動の大会派遣に係る経費について補助する。 ○むつ市の小・中学生が参加するスポーツ活動の大会派遣に係る経費について補助する。	実績・成果	○むつ市の小・中学生の文化・芸術活動 大会派遣補助 312,600円 ・ピティナ・ピアノコンペティション ・第50回東北アンサンブルコンテスト ○むつ市の小・中学生のスポーツ活動 大会派遣補助 2,797,200円 ・東北中学校体育大会 (陸上、水泳、ソフトテニス、柔道、剣道、駅伝、スキー) ・全国中学校駅伝大会 等 ※スポーツ活動：41件、文化・芸術活動：2件 ○基金積立金 3,000,000円 ○寄附金積立金 3件 450,954円 ○利子収入積立金 185円 ○令和3年度末基金残高 9,629,380円 ※令和2年度末基金残高 9,288,041円
予算	予算総額 10,025,000 円 (内訳) 補助金 5,000,000 円 積立金 5,025,000 円	決算	決算総額 6,560,939 円 (内訳) 補助金 3,109,800 円 積立金 3,451,139 円
評価	新型コロナウイルスの影響も少なくなり、申請件数が例年並みとなった。参加者の経済的負担を押さえることができた。		

課題	事業を継続していくための財源の確保が必要である。	今後の方針	むつ市夢育成基金についてホームページや広報むつで周知し、申請書類等もホームページからダウンロードできるよう整備していく。
----	--------------------------	-------	--

事業名	キャリア教育推進事業		
大綱施策	1-(3)-①キャリア教育の充実		
概要	キャリア教育の一環として、むつ下北または青森県出身者を中心に全国的な活躍をしている方の講話を聴く体験をとおして、将来の職業に対する意識や学習意欲を向上させ本市の未来を担う人材を育成することにつながる。		
計画	○実施校の選定を行う。 ○開催に向けて日程調整を行う。	実績・成果	○市内小・中学校9校で実施。 むつ中学校、関根中学校、第三田名部小学校、正津川小学校、川内小学校、大湊中学校、田名部中学校、脇野沢小学校、脇野沢中学校
予算	予算総額 819,000 円 (内訳) 報 償 費 315,000 円 旅 費 504,000 円	決算	決算総額 154,695 円 (内訳) 報 償 費 112,000 円 旅 費 42,695 円
評価	児童生徒の肯定的評価は99%で、児童生徒が現在の生活や将来について考えるよい機会となったという感想から目的は達成できた。		
課題	新型コロナウイルス感染症の対応に伴い、県内を中心とした講師派遣となり、学校で選択できる講師の幅が狭くなった。	今後の方針	来年度は、県内在住の講師については対面での開催、県外在住の講師についてはオンラインでの開催を基本としながら、児童生徒の職業に対する意識や学習意欲の向上につながる必要がある。

(7) 特別支援教育体制の充実

事業名	スクールサポーター配置		
大綱施策	1-(3)-②特別支援教育の充実		
概要	小・中学校の通常学級並びに特別支援学級に在籍する多動傾向や要介助など、特別な配慮を必要とする児童生徒の学校生活や学習活動を支援するため、各学校にスクールサポーターを配置し、特別支援教育体制の充実に努める。		
計画	○33人を配置する。 ○1日6時間以内、年間1,218時間以内で活用する。	実績・成果	○配置人数：33人 ・小学校：8校 26人 ・中学校：3校 7人 ○任期：令和4年4月1日～令和5年3月31日 ○1日6時間以内、年間1,218時間以内で活用した。
予算	予算総額 48,015,000 円 (内訳) 報 酬 40,589,000 円 期 末 手 当 5,589,000 円 旅 費 1,837,000 円	決算	決算総額 45,735,805 円 (内訳) 報 酬 39,024,659 円 期 末 手 当 5,521,009 円 旅 費 1,190,137 円
評価	校長の勤務評定や学校アンケートの結果から、どのスクールサポーターも各校の特別支援教育体制の充実に寄与していることが伺える。ポジティブ評価が96%であったことから、各校の教育活動を支える重要な事業となっており、目的は達成できた。		

課題	各学校からの要望人数を合計すると、例年70名を超える状況のため、希望に沿えない学校がある。児童生徒数や特別支援学級の設置状況を勘案して、優先順位を決めて配置している。	今後の方針	今後もハローワークへの求人票提出や市HPへの掲載等、人材確保に取り組んでいく。 学校の要望や実状を勘案して、効果的な配置に努める。
----	---	-------	--

事業名	むつ市就学事務説明会・就学相談研修会開催		
大綱施策	1-(3)-②特別支援教育の充実		
概要	未就学児及び児童生徒の適切な就学に向けて、保育所（園）・幼稚園と小・中学校が連携しながら、見通しをもって、より充実した就学相談及び就学指導を行うことができるようにする。		
計画	○市内小・中学校の特別支援教育コーディネーター及び保育所（園）・幼稚園の就学相談担当者を対象に就学指導説明会・就学相談研修会を開催する。	実績・成果	○令和4年5月9日（月）に、むつ中央公民館にて開催した。参加人数40人。 ○担当指導主事からの就学事務についての説明のほか、県立むつ養護学校教育相談担当の教諭2名による講演を行った。参加者からのアンケートは高評価だった。
予算	予算総額 4,000 円 (内訳) 旅 費 4,000 円	決算	決算総額 7,568 円 (内訳) 旅 費 7,568 円
評価	令和4年5月9日（月）に、むつ市中央公民館にて開催した。参加者は40人で、研修後のアンケートでは、4段階評定でA評価65%、B評価33%と未提出者以外は全てポジティブな評価だった。また、3つの児童発達センターにも呼びかけたところ、喜んで参加して下さったことから、目的を達成できた。		
課題	参加者アンケートでは、講演内容に十分満足していたが、ケース事例をもっと聞きたいという要望もあった。	今後の方針	講演を外部講師に依頼する際に、前年度のアンケートを踏まえ、ケース事例を多く紹介してもらうよう依頼する。

事業名	むつ市特別支援教育推進委員会開催		
大綱施策	1-(3)-②特別支援教育の充実		
概要	特別支援教育推進委員会を開催し、適切な教育環境のもとで能力及び特性に応じたきめ細かな指導や、適切な就学ができるよう指導・助言を行う。また、総合判断に向けた専門検査を実施する。		
計画	○定例会は年4回の開催だが、必要に応じ、臨時の特別支援教育推進委員会を開催する。委員会の総合判断の結果を教育長に具申する。	実績・成果	○定期開催：4回 ・第1回：令和4年5月12日 委員16人 専門調査員4人 ・第2回：令和4年9月15日 委員16人 専門調査員8人 ・第3回：令和4年11月24日 委員17人 専門調査員2人 ・第4回：令和5年2月16日 委員16人 ○臨時開催：4回 ○対象児童生徒数：76人
予算	予算総額 1,060,000 円 (内訳) 報 酬 134,000 円 旅 費 676,000 円 消耗品費 86,000 円 食糧費 2,000 円 手数料 75,000 円 備品購入費 18,000 円 負担金 69,000 円	決算	決算総額 620,885 円 (内訳) 報 酬 91,000 円 旅 費 360,635 円 消耗品費 122,445 円 食糧費 1,775 円 手数料 11,980 円 備品購入費 17,050 円 負担金 16,000 円

評価	推進委員会での判断に資するため、事務局が学校や幼・保園と情報共有し、支援が必要な子供とその保護者との面談や検査を適切に遂行することができた。		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門検査資格取得のための研修参加に対する予算を組んだが、研修会が開催されなかった。引き続き、専門調査員の確保のために支援を推進していく必要がある。 ・ 年度末に近づいてから、特別支援学級入級・退級の相談が複数校からある。 	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門調査員の人数確保に対する支援を計画的に進める。 ・ 各校において、計画的に就学相談が行われるよう、機会を捉えて各校に周知する。(4月校長会、5月就学事務説明会、第3回特別支援推進委員会後)

(8) 国際化に対応する教育と郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進

事業名	外国語指導助手配置																										
大綱施策	1-(1)-①明確な目標設定																										
概要	小学校での外国語活動、中学校での英語科、小・中学校における諸活動にALTを派遣することによって、日常的な国際理解教育の充実を目指す。																										
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ ALT 5人のうち、小学校に4人、中学校に1人を配置し、外国語活動、英語科の授業等において活用を図る。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ ALT配置人数 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校：4人 ・ 中学校：1人 ○ 1学級あたりの年間活用時間 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校：約35時間 ・ 中学校：約12時間 ○ 市内小学校6年生を対象とした英会話ワークショップ“Enjoy English”を開催することができたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響があり、参加者が5名のみであった。全員A評価であった。 																								
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>19,439,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>18,225,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>643,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>571,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	19,439,000	円	(内訳) 報酬	18,225,000	円	旅費	643,000	円	負担金	571,000	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>18,381,550</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>17,498,405</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>314,675</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>568,470</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	18,381,550	円	(内訳) 報酬	17,498,405	円	旅費	314,675	円	負担金	568,470	円
予算総額	19,439,000	円																									
(内訳) 報酬	18,225,000	円																									
旅費	643,000	円																									
負担金	571,000	円																									
決算総額	18,381,550	円																									
(内訳) 報酬	17,498,405	円																									
旅費	314,675	円																									
負担金	568,470	円																									
評価	小・中学校での英語による言語活動が本格化したことから、ALTの派遣についてもニーズが高まっている。児童生徒へのアンケート結果でポジティブ評価が87%を超えたことから、この事業は英語教育を大きく支えており、目的は達成できた。																										
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ ALTの訪問回数について、小学校の希望に十分応えることができていない。 ・ ALTの指導力向上のため、担当として授業を定期的に参観し、ALTの資質向上を図る必要がある。 	今後の方針	児童生徒の充実した学びを確保するために、学校からの要望をうかがいつつ、学校規模に応じた派遣計画を浸透させるため、派遣回数等について検討していく。																								

事業名	むつ市ジュニア大使派遣		
大綱施策	1-(3)-①キャリア教育の充実		
概要	むつ市内の中学生をアメリカ合衆国ポートエンジェルス市に派遣し、姉妹都市交流の充実を目指すとともに、次代を担う人材の育成を図る。		
計画	○中学生10人を7日間の行程で派遣する。 ○事前・事後研修会、結団式、報告会の開催及び報告書を作成する。	実績・成果	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
評価	オールイングリッシュチャレンジ事業に参加した生徒から、来年も参加したいという意見が多く聞かれた。また、参加生徒13名全員がA評価であったことから、目標は達成できた。		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア大使派遣事業のホームステイ先の確保 ・ジュニア大使派遣事業ができなかった場合、代替措置としての日本での研修場所の確保 	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度のジュニア大使派遣事業実施のため、ポートエンジェルス市の担当との連絡・調整を継続する。 ・代替事業として、ブリテイッシュヒルズの予約を進める。

事業名	中華民国陽明國民中学との友好交流		
大綱施策	1-(3)-①キャリア教育の充実		
概要	旧川内町立川内中学校と中華民国陽明國民中学の姉妹校交流を引き継ぎ、中華民国から中学生と教職員を受け入れ、学校訪問をとおして交流を図る。		
計画	○中華民国陽明國民中学からの訪問団を受け入れ、学校訪問等をとおして交流する。	実績・成果	○12月2日（金）、関根中学校で陽明國民中学の生徒とオンライン友好交流を行い互いの文化等を紹介し合った。また、身近な話題についても問答し合い楽しく、有意義な交流となった。
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
評価	訪問が中止となったことから、12月2日（金）、関根中学校で陽明國民中学の生徒とオンライン友好交流を行い、関根中学校や日本文化について英語で紹介をした。関根中学校の生徒は身近な話題について陽明國民中学の生徒と問答し合い、楽しく、有意義な交流となった。生徒24名のポジティブ評価が100%で、話した英語が相手に伝わって嬉しかったという感想があったことから、目的は達成できた。		
課題	陽明國民中学との友好交流を充実させるために、陽明國民中学の意向も聞きながら、むつ市や交流校の事情も理解してもらえるように連絡・調整を図る。	今後の方針	陽明國民中学との友好交流を通して、中学校の生徒が異文化交流をする楽しさを味わえるように、中学校と綿密に連絡し合い、計画的に準備を進めていく。

事業名	ジオパーク体験活動推進		
大綱施策	1-(4)-①ふるさとむつ市への愛着と誇りを育む教育		
概要	ジオサイトの見学やジオサイトに関する学習を実施する小・中学校に対して、移動に要するバス借上料や教材等の活動費等を助成する。		
計画	○ジオサイトを活用した校外学習にあたって、必要な経費の一部を助成する。	実績・成果	○小学校6校、中学校7校へ助成した。見学先では、ちぢり浜、鯛島、薬研、仏ヶ浦尻屋崎、北部海岸等が多かった。また、事前学習にジオパーク推進課や生涯学習課から講師を招いての学習会や、農業体験・水産業体験などの体験活動を取り入れた学校も多かった。 ○本事業を活用していない小・中学校でも地域学習は継続的に行われている。
予算	予算総額 1,780,000 円 (内訳) 報 償 費 63,000 円 旅 費 75,000 円 消 耗 品 費 242,000 円 使用料及び賃借料 1,400,000 円	決算	決算総額 1,653,370 円 (内訳) 報 償 費 10,000 円 旅 費 13,761 円 消 耗 品 費 114,539 円 使用料及び賃借料 1,515,070 円
評価	校長会との合同会議で事業について周知し、昨年度よりも3校多い13校から申請があった。また、児童生徒のアンケートでは、「今までよりも地域のことに興味をもつようになった」と回答した割合が74%（前年度75%）、「自分たちが住んでいる地域のために、何か自分でできることはないか考えようと思った」と回答した割合が45%（前年度40%）だったことから、ふるさとへの愛着や誇りを育む上で一定の役割を果たしている。		
課題	各校でこれまで蓄積してきたジオパーク学習の内容やノウハウ、活用した関係機関等の情報を集約・共有することでジオパーク学習のさらなる充実につなげていく。	今後の方針	本事業を活用した学校から提出いただく報告書の様式を変更し、集約した情報を各校へ提供することで、各校のジオパークを含めた地域学習を支援していく。

(9) 弘前大学との連携強化

事業名	学生との交流		
大綱施策	1-(1)-①明確な目標設定		
概要	ラボ・バス実験教室では、科学実験を行うことを通して科学への関心を高めるとともに、大学生との交流によるキャリア教育の充実を図る。		
計画	○小学校を対象とし、弘前大学教育学部の教授、学生等が指導する「ラボ・バス実験教室」を開催する。	実績・成果	○ラボ・バス実験教室 ・令和4年9月14日 川内小学校4～6年生 : 52名 脇野沢小学校3～6年生 : 10名
予算	予算総額 48,000 円 (内訳) 消 耗 品 費 48,000 円	決算	決算総額 47,500 円 (内訳) 消 耗 品 費 47,500 円
評価	新型コロナ対策のため3年ぶりの開催であったが、弘前大学教育学部の教授や学生の指導のもと、参加した児童全員が4つの実験ブースを巡回しながら科学実験を楽しむことができた。参加児童や教職員の負担軽減のためアンケート調査は実施していないが、実験を真剣に観察し、熱心に耳を傾ける様子から目的は達成できた。		

課題	科学への関心を高めるとともに、大学生との交流によるキャリア教育の充実を図られるようにする必要がある。	今後の方針	ラボ・バス実験教室主催者との連絡調整を図り、参加する児童生徒が、大学生と交流しながら科学実験に親しめるようにする。 令和5年度は、大平小学校で実施予定。
----	--	-------	---

(10) 教育相談体制の充実

事業名	むつ市教育相談室開設																						
大綱施策	1-(3)-③豊かな心の育成																						
概要	いじめや不登校などの悩みを抱える児童生徒及び保護者、教職員に対する一般教育相談・就学相談並びに適応指導などを行うことによって、児童生徒が健全に成長するよう援助する。																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○むつ市教育研修センターに教育相談員2人を配置する。 ○むつ市教育研修センターにむつ市教育相談室を開設し、教育相談員を中心に児童生徒とその保護者、学校関係者に対する相談業務を行う。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○教育相談員配置人数：2人 ○任期：令和4年4月1日～令和5年3月31日 ○教育相談者数 <ul style="list-style-type: none"> ・来室：28件 ・電話：9件 ・メール：0件 																				
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>5,308,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>4,611,000 円</td> </tr> <tr> <td>期末手当</td> <td>532,000 円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>56,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>109,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	5,308,000 円	(内訳) 報酬	4,611,000 円	期末手当	532,000 円	報償費	56,000 円	旅費	109,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>5,162,376 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>4,550,388 円</td> </tr> <tr> <td>期末手当</td> <td>530,878 円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>56,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>25,110 円</td> </tr> </table>	決算総額	5,162,376 円	(内訳) 報酬	4,550,388 円	期末手当	530,878 円	報償費	56,000 円	旅費	25,110 円
予算総額	5,308,000 円																						
(内訳) 報酬	4,611,000 円																						
期末手当	532,000 円																						
報償費	56,000 円																						
旅費	109,000 円																						
決算総額	5,162,376 円																						
(内訳) 報酬	4,550,388 円																						
期末手当	530,878 円																						
報償費	56,000 円																						
旅費	25,110 円																						
評価	悩みを抱える児童生徒や保護者との来室相談や電話相談、メール相談を通して、悩みや不安に寄り添いながら状況に応じて適切に対応することができた。																						
課題	<p>悩みを抱える児童生徒やその保護者が、問題解決に向かえるように、教育相談体制のより一層の充実に努める必要がある。</p> <p>生徒指導提要の改訂により、学校と関係機関との連携構築が、今後ますます求められる。学校の様々な求めに応じて柔軟に対応し、チーム学校の一員としての役割を十分に果たしていく必要がある。</p>	今後の方針	<p>悩みを抱える児童生徒のアセスメントを重視し、一人一人の状況に合わせて適切な支援を行う。</p> <p>学校の様々な求めに応じて柔軟に対応し、チーム学校の一員としての役割を可能な限り果たす。</p>																				

事業名	自立支援相談員配置																		
大綱施策	1-(3)-③豊かな心の育成																		
概要	適応指導教室に通室する不登校等の悩みを抱える児童生徒に対して、教育相談や適応指導、学習支援を実施し、児童生徒の学校復帰及び社会的自立に向けた支援を行う。																		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○むつ市教育研修センターに自立支援相談員を6人配置する。 ○不登校または不登校傾向にある児童生徒への支援の充実を図る。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○自立支援相談員配置人数：6人 ○任期：令和4年4月1日～令和5年3月31日 ○適応指導教室通室生23人に対し、延べ1,977時間程度の支援を行った。 																
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>8,722,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>7,327,000 円</td> </tr> <tr> <td>期末手当</td> <td>1,017,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>378,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	8,722,000 円	(内訳) 報酬	7,327,000 円	期末手当	1,017,000 円	旅費	378,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>7,538,159 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>6,565,308 円</td> </tr> <tr> <td>期末手当</td> <td>770,512 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>202,339 円</td> </tr> </table>	決算総額	7,538,159 円	(内訳) 報酬	6,565,308 円	期末手当	770,512 円	旅費	202,339 円
予算総額	8,722,000 円																		
(内訳) 報酬	7,327,000 円																		
期末手当	1,017,000 円																		
旅費	378,000 円																		
決算総額	7,538,159 円																		
(内訳) 報酬	6,565,308 円																		
期末手当	770,512 円																		
旅費	202,339 円																		

評価	適応指導教室に通室する児童生徒一人一人に寄り添って支援し、学校復帰及び社会的自立に向けて、状況に合わせて適切に対応することができた。		
課題	<p>自立支援相談員の人員の入れ替わりにより、通室生に対する支援力が下がらないよう工夫が必要である。</p> <p>適応指導教室に通室する児童生徒の状況は様々であるため、適切に対応できるよう研修を充実させる必要がある。</p>	今後の方針	<p>自立支援相談員の通室生への支援力を高めるため、教育相談に関する研修を充実させ、適切な支援が行えるようにする。</p> <p>様々なケースに適切に対応するため、チーム支援体制を強化する。</p>

事業名	適応指導教室開設		
大綱施策	1-(3)-③豊かな心の育成		
概要	むつ市教育相談室に適応指導教室を開設し、不登校をはじめとする学校不適応などの課題を抱える児童生徒の学校復帰及び社会的自立に向けた指導と支援を行う。		
計画	○不登校等の悩みを抱える児童生徒への支援の充実を図る。	実績・成果	○適応指導を受けた児童生徒：23人 ○実施した行事等 開・閉級式、始業式、終業式、科学技術館体験活動、バス遠足、音楽教室、スポーツ教室、自然の家体験活動、フラワーアレンジメント教室、文化祭、郷土の料理体験教室、お楽しみ会
予算	<p>予算総額 132,000 円</p> <p>(内訳) 消耗品費 120,000 円 食糧費 5,000 円 使用料 2,000 円 負担金 5,000 円</p>	決算	<p>決算総額 128,870 円</p> <p>(内訳) 消耗品費 120,000 円 食糧費 2,050 円 使用料 1,820 円 負担金 5,000 円</p>
評価	適応指導教室に通室する児童生徒一人一人に寄り添って支援し、学校復帰及び社会的自立に向けて、状況に合わせて適切に対応することができた。		
課題	<p>通室生の学校復帰及び社会的自立に向けて、個に応じたきめ細かな支援体制を構築する必要がある。</p>	今後の方針	<p>悩みを抱える児童生徒のアセスメントを重視し、一人一人の状況に合わせて適切な支援を行う。</p> <p>適応指導プログラムの更なる充実を図り、個別の支援計画をもとに、組織的・計画的な支援を継続して行う。</p> <p>青森大学むつキャンパスとの連携により、学生ボランティアを募集して、適応指導教室の通室生とふれ合う場を設ける。</p>

(11) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化

事業名	生徒指導検査実施		
大綱施策	1-(3)-③豊かな心の育成		
概要	<p>学校環境適応感尺度「アセス」を実施し、児童生徒の対人関係能力を育成するとともに、学校の人的環境への適応を促進する。</p> <p>「いじめ・不登校対策研修講座」を開催し、不安や悩みを抱え込まずに信頼できる人に相談をしていこうと促すSOSの出し方に関する講義と演習を行い、教員の指導力の向上を目指す。</p>		
計画	<p>○検査対象</p> <p>小学校3年生から中学校3年生</p> <p>○「いじめ・不登校対策研修講座」でSOSの出し方や出させ方に関する方法を学び、各校で実践する。</p>	実績・成果	<p>○市内全小・中学校で「アセス」を継続的に実施した。また、学校ごとに全学年対象の生活アンケート等も定期的の実施し、個々の支援につなげている。</p> <p>○各校の成果と課題をまとめた「生徒指導検査実施報告書」を年度末に作成し、教育系イントラネット上に掲載することで校内研修の一助とした。</p>
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
評価	<p>各学校では、「アセス」の結果をもとに教育相談を行ったり、スクールカウンセラーからのアドバイスを児童生徒の支援に生かしたりしていることから、目的は概ね達成できた。</p> <p>「いじめ・不登校対策研修講座」は、前年度未受講の教員を対象に実施し、児童生徒にSOSの出し方に関する指導ができる教員が増えている。</p>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全小・中学校で「アセス」と学校独自の生活アンケートを活用することで、児童生徒のSOSを素早くキャッチし、組織的な対応につなげていく。 ・児童生徒にSOSの出し方を指導できる教員を一人でも多く増やしていく。 	今後の方針	<p>引き続き「アセス」の活用に加え、児童生徒の状況を多様な方法で把握し、生徒指導の充実をめぐるよう、依頼していく。</p> <p>「いじめ・不登校対策研修講座」は、次年度も未受講者を対象に実施し、児童生徒にSOSの出し方を指導できる教員を増やしていく。</p>

事業名	むつ市いじめ問題対策委員会開催		
大綱施策	1-(3)-③豊かな心の育成		
概要	<p>むつ市のいじめ防止基本方針に基づく対策について、実施状況を定期的に点検及び評価し、不断の見直しを行う。</p>		
計画	<p>○いじめ問題対策委員会を開催する。(年1回、委嘱期間2年)</p>	実績・成果	<p>○委員の方々に前年度のいじめ防止に関する取組を報告するとともに、今年度の取組について確認いただいた。</p>
予算	<p>予算総額 96,000 円</p> <p>(内訳) 報酬 46,000 円</p> <p>旅費 20,000 円</p> <p>負担金 30,000 円</p>	決算	<p>決算総額 82,451 円</p> <p>(内訳) 報酬 39,000 円</p> <p>旅費 16,451 円</p> <p>負担金 27,000 円</p>
評価	<p>委員の方々に実施状況を点検、評価していただき、「いじめはあるものだと思って早期発見・早期対応・早期解決に取り組んでほしい」などの意見をいただいた。また、2月現在で今年度のいじめの認知件数84件中72件が解消している(残り12件は発生から3か月未満)。</p> <p>全国学力・学習状況調査の質問紙調査では、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対して、小学校96.4%(全国と同値)、中学校97.2%(全国比+0.4ポイント)となっている。以上のことから、目的は概ね達成できた。</p>		

課題	本委員会が出された意見や要望を各校に周知していく。また、各校のいじめ防止基本方針の点検と見直し等について、必要な情報を適宜提供していく必要がある。	今後の方針	校長会と教育委員会との合同会議や、生徒指導担当者が出席する学校警察連絡協議会の定例協議会等を利用し、各校への周知を図る。
----	---	-------	--

事業名		むつ市いじめ防止宣言フォーラム													
大綱施策		1-(1)-①明確な目標設定													
概要	「いじめ根絶」に向けた児童・生徒会活動に対する理解を深めるとともに、児童生徒をいじめから守り、市民総がかかりでいじめ防止に取り組むという意識の啓発を図る。														
計画	○令和4年11月10日 ・脇野沢中学校ブロック	実績・成果	○脇野沢小学校と脇野沢中学校の全校児童生徒による、いじめのない明るい学校づくりに向けた取組の紹介と、「みんなで明るい仲間づくり宣言」を行った。												
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">30,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 消耗品費</td> <td style="text-align: right;">30,000 円</td> </tr> <tr> <td>備品費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> </table>	予算総額	30,000 円	(内訳) 消耗品費	30,000 円	備品費	0 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">29,860 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 消耗品費</td> <td style="text-align: right;">3,900 円</td> </tr> <tr> <td>備品費</td> <td style="text-align: right;">25,960 円</td> </tr> </table>	決算総額	29,860 円	(内訳) 消耗品費	3,900 円	備品費	25,960 円
予算総額	30,000 円														
(内訳) 消耗品費	30,000 円														
備品費	0 円														
決算総額	29,860 円														
(内訳) 消耗品費	3,900 円														
備品費	25,960 円														
評価	来賓・一般参加者のアンケートでは、回答した44名全員がフォーラムによって市民総がかかりでいじめ防止に取り組むという意識が深まったと答えた。また、児童生徒のアンケートでも、19名全員がフォーラムを通してこれまで以上にいじめ防止について考えることができたことと回答したことから、目的を達成できた。														
課題	開催校の過度な負担とならないよう、日常におけるいじめ防止の取組を核としたフォーラムの実施に向けて、最大限サポートしていかなければならない。	今後の方針	開催案内を保護者・地域の方に広く周知することで、市民総がかかりでいじめ防止に取り組むという意識の啓発を図る。また、次年度開催校と連携し、フォーラム当日まで確実に支援していく。												

■ 学校教育課の重点項目の総括評価 ■

<p>令和4年度の新規事業である「児童生徒の高い志をはぐくむ支援事業」では、各校のニーズに応じた支援により、児童生徒の意欲向上や教員の意識改革等に一定の効果を得られた。また、「学校危機管理マニュアル 子どもの安全教育のために」を今年度改定し、各校の安全・防災教育等に資する資料として提供することができた。</p> <p>今年度もジュニア大使の派遣や陽明国民中学の生徒の来訪、中学生夢はぐくむ体験入学等が中止となるなど、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けた事業があったが、少しずつ以前の日常が戻りつつある。</p> <p>次年度も、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に配慮しながら、日々全精力を傾けて学校運営に取り組んでいる学校現場を支えるため、学校教育課事業全般において、ICTの活用も含め、新たな実施の可能性を探りながら、必要な改善を図っていく。</p>
--

4 公民館

■ 重点項目の点検（令和4年度の具体的な取組状況）■

（1）公民館の適正管理と運営の充実

事業名	公民館運営審議会の開催																										
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進																										
概要	公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものである。 むつ市公民館条例第5条に基づき公民館運営審議会の委員を委嘱する。																										
計画	委員の定数は、15人以内とし、任期は2年とする。 (令和3年9月1日～令和5年8月31日) 審議会については、むつ市中央公民館長が必要に応じて招集し開催する。	実績・成果	○令和4年4月13日 第184回むつ市公民館運営審議会開催 (前年度運営の現況報告、本年度事業概要の説明等) ○令和4年10月28日 第63回青森県公民館研究フォーラム出席 開催地：むつ市																								
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>318,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>195,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>108,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>15,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	318,000	円	(内訳) 報酬	195,000	円	旅費	108,000	円	需用費	15,000	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>200,779</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>123,500</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>69,279</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>8,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	200,779	円	(内訳) 報酬	123,500	円	旅費	69,279	円	需用費	8,000	円
予算総額	318,000	円																									
(内訳) 報酬	195,000	円																									
旅費	108,000	円																									
需用費	15,000	円																									
決算総額	200,779	円																									
(内訳) 報酬	123,500	円																									
旅費	69,279	円																									
需用費	8,000	円																									
評価	公民館運営審議会を開催し、委嘱された委員よりこれまでの運営状況及び今後の運営方針について審議していただき、目的は達成されている。																										
課題	コロナ禍による事業の中止等の影響か、委員からの意見も少なくなってきた。	今後の方針	審議会の機能を生かしながら、市民のニーズに沿った事業を推進していく。																								

事業名	公民館の適正管理																				
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進																				
概要	公民館は、開館してから50年以上経ったものもあり、設備等が老朽化していることから適宜点検を実施し、不具合については、計画的な修繕改修を行う。中央公民館では、空調設備の改修を実施。赤川地区公民館では避難所機能を充実させるため、集会室の改修工事を実施。雪の被害により川内地区公民館屋根改修工事を実施。																				
計画	対象場所 むつ市中央公民館空調設備改修工事 当初工事期間 令和4年8月～令和4年12月	実績・成果	○むつ市中央公民館空調設備改修工事 既存空調設備を撤去処分し、新たな空調設備を設置 ○赤川地区公民館内装改修工事(補正) ○川内地区公民館屋根改修工事 (補正・R5繰越)																		
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>35,460,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 委託費</td> <td>4,000,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>31,460,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	35,460,000	円	(内訳) 委託費	4,000,000	円	工事費	31,460,000	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>33,605,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 委託費</td> <td>1,540,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>32,065,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	33,605,000	円	(内訳) 委託費	1,540,000	円	工事費	32,065,000	円
予算総額	35,460,000	円																			
(内訳) 委託費	4,000,000	円																			
工事費	31,460,000	円																			
決算総額	33,605,000	円																			
(内訳) 委託費	1,540,000	円																			
工事費	32,065,000	円																			
評価	不具合のあった空調設備等が改修されたことで市民により快適な環境で、公民館を利用していただくことができるようになった。赤川地区公民館を改修し、避難場所としての利便性を高めた。																				
課題	受電設備、昇降機等、老朽化して改修修繕が必要な設備が多くある。	今後の方針	予算確保に努め、計画的な修繕改修を実施していく。																		

事業名	地区公民館・分館の管理運営		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	むつ市公民館組織等規則第4条に基づき地区館長・分館長を任命し、運営についての協議を行うとともに、年間の事業計画及び報告等を行うことによって、適正な管理運営を行う。		
計画	地区館長・分館長の任期は2年となっており、令和3年4月1日から引き続きの任命とし、運営についての会議を開催する。	実績・成果	○令和4年4月15日 中央公民館分館長会議 ○令和4年10月21日 川内公民館地区館長会議（書面会議） ※コロナ感染症拡大防止のため 大畑公民館地区館長会議は中止
予算	予算総額 1,065,000 円 (内訳) 報酬 944,000 円 旅費 121,000 円	決算	決算総額 970,066 円 (内訳) 報酬 924,500 円 旅費 45,566 円
評価	分館を対象に行っている地域づくり講座について、町内で開催している事業を継続する際に、地域づくり講座を活用してよいか等の意見があり、積極的に利用し地域づくりに活用すること等、協議することができた。		
課題	施設の老朽化が進み、安全・安心に利用できない分館・地区館も見受けられる。	今後の方針	各地区館において積極的に見まわり等を行い、安全・安心を確保していく。

○各公民館の利用状況

(回、人)

		令和4年度	令和3年度	令4-令3増減	令和2年度	令和元年度
中央	回数	1,418	1,164	254	1,027	1,429
	人数	23,631	18,154	5,477	13,572	37,254
川内	回数	192	146	46	66	144
	人数	2,386	2,293	93	1,102	3,165
大畑	回数	700	592	108	521	990
	人数	7,711	6,653	1,058	5,777	14,242
脇野沢	回数	321	304	17	219	556
	人数	2,849	2,461	388	1,599	4,682
計	回数	2,631	2,206	425	1,833	3,119
	人数	36,577	29,561	7,016	22,050	59,343

(2) 公民館事業の推進

事業名	青少年教育事業		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	公民館を身近に親しんでもらい、様々な活動を通じて仲間づくりを行い、児童の健全育成を推進する。		
計画	<p>①こどもゼミナール（中央公民館） ・小学生を対象に、体験型の講座を提供する。</p> <p>②こども仕事体験館「GOOD JOB（グッジョブ）!!」（中央公民館） ・小学4～6年生を対象に、職業への理解促進と地元での就業活動について考えるきっかけをつくる。</p> <p>③子どもお楽しみ会（中央公民館） ・幼児から小学生までを対象に大型紙芝居やアニメ映画の上映会を実施</p> <p>④その他・教室・講習会等（大畑公民館） ○ねぶた囃子講習会 ○子どもねぶた合同運行 ○大畑子ども会冬期レクリエーション大会</p>	実績・成果	<p>①こどもゼミナール（中央公民館） 別表のとおり</p> <p>②こども仕事体験館「GOOD JOB（グッジョブ）!!」（中央公民館） ・開催日：令和4年11月13日 ・参加者：39人 ・講師：5団体11名</p> <p>③子どもお楽しみ会（中央公民館） ○冬のお楽しみ会 ・開催日：令和4年12月11日 ・参加者：82人</p> <p>④その他・教室・講習会等（大畑公民館） ○ねぶた囃子講習会 ・開催日：令和4年7月27・28日 ・参加者：延べ20人 ○子どもねぶた合同運行 中止 ○大畑子ども会冬期レクリエーション ・開催日：令和5年1月29日 ・参加者：31人(大人13人、子ども18人)</p>
予算	<p>予算総額 641,083 円</p> <p>(内訳) 報償費 412,000 円 旅費 81,383 円 需用費 120,700 円 食糧費 12,000 円 原材料費 15,000 円</p>	決算	<p>決算総額 404,909 円</p> <p>(内訳) 報償費 258,840 円 旅費 52,431 円 需用費 93,638 円 食糧費 0 円 原材料費 0 円</p>
評価	<p>昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、募集定員を当初から少なく設定または当日参加可能な事業を事前申込制へ見直しを行なったの開催であった。ほぼ全ての事業で募集定員を満たす応募があったことからニーズは捉えていたものと解する。また電子メール・LoGoフォーム等電子受付の利用割合が過半数を占めていることから、共働き世代や平日日中の申込が困難な世帯に対しても気軽に申込できることが広く認知され、申込者増加へ繋がってきているものと考えている。</p>		
課題	<p>子供向け講座は定員を超える申込があるなど人気がある一方、定員・実施内容・会場設定等に工夫を要する。</p>	今後の方針	<p>定員・実施内容・会場設定に関しては、現在の情勢を柔軟に反映させながら、より気軽に児童・保護者が申込・参加できるような環境を設定していく。</p>

別表 ①こどもゼミナール（中央公民館）

ゼミナール名称	開催日	参加人数	ゼミナール名称	開催日	参加人数
科学実験講座	令和4年5月29日	27人	パソコン講座	令和4年11月27日	21人
あそんでうんどう講座	令和4年6月12日	19人		12月4日	
料理講座	令和4年6月26日	12人	お菓子づくり講座	令和4年12月17日	24人
わくわくたんけん講座	令和4年9月11日	15人	ワークショップ	令和5年1月15日	10人
やまあるき講座	令和4年10月2日	10人	和菓子講座	令和5年1月29日	23人
			おりがみ講座	令和5年2月12日	15人

事業名	かきぞめ大会の開催		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実		
概要	子ども達が筆に親しみ、日本の伝統美に対する心を養うことを目的に、小・中学生を対象としたかきぞめ大会を開催し、作品の展覧会及び優秀作品の表彰式を行う。		
計画	①かきぞめ大会（4地区で実施） ○むつ会場（中央公民館） ○川内会場（川内公民館） ○大畑会場（大畑公民館） ○脇野沢会場 （脇野沢地域交流センター） ②展覧会 ○中央公民館 ③表彰式	実績・成果	①かきぞめ大会 下記表のとおり開催 ②展覧会 ○中央公民館 ・開催日：令和5年1月14日～22日 ・入場者：768人 ・入賞数：48点 （特選9点、準特選17点、入選22点） ③表彰式 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
予算	予算総額 161,000 円 (内訳) 報償費 84,000 円 旅費 14,000 円 需用費 63,000 円	決算	決算総額 138,952 円 (内訳) 報償費 63,500 円 旅費 17,292 円 需用費 58,160 円
評価	コロナ禍のため、かきぞめ大会の参加者は前年度よりはやや減少したが、7年ぶりに脇野沢地区でかきぞめ大会が行われ、日本の伝統であるかきぞめ大会を実施し、参加者へのニーズに応えることはできた。		
課題	かきぞめ大会を継続していくために参加者の確保が必要である。	今後の方針	日本の伝統である「かきぞめ」を承継していくためにも、学校と連携を図りながら、参加者の確保に努めていく。

かきぞめ大会参加状況

会場	開催日	参加者		
		小学生	中学生	合計
むつ	R5.1.7	35名	13名	48名
川内	R5.1.6	8名	1名	9名
大畑	R5.1.7	14名	4名	18名
脇野沢	R5.1.6	4名	0名	4名



むつ会場の様子

事業名	婦人教育事業																						
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進																						
概要	女性としての生き方を考え、より豊かな人間性を育み、地域課題、生活課題に向き合うため「自ら学ぶ」ことを基本とした学習活動を展開する。																						
計画	<p>○むつ地区3学級</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学級毎に年間事業計画を立て、それに沿って活動するほか、他の学級等との合同学習会に参加し交流を深める。 	実績・成果	<p>○学級長会議</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面会議 <p>○学級長研修会 ※中止</p> <p>○合同学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日:令和4年6月22日 参加者:18人 開催日:令和4年11月2日 参加者:12人 <p>○郷土料理教室</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日:令和4年10月19日 参加者:9人 																				
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>173,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報 償 費</td> <td>96,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅 費</td> <td>52,000 円</td> </tr> <tr> <td>需 用 費</td> <td>18,000 円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>7,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	173,000 円	(内訳) 報 償 費	96,000 円	旅 費	52,000 円	需 用 費	18,000 円	使用料及び賃借料	7,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>40,704 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報 償 費</td> <td>27,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅 費</td> <td>11,769 円</td> </tr> <tr> <td>需 用 費</td> <td>1,935 円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>0 円</td> </tr> </table>	決算総額	40,704 円	(内訳) 報 償 費	27,000 円	旅 費	11,769 円	需 用 費	1,935 円	使用料及び賃借料	0 円
予算総額	173,000 円																						
(内訳) 報 償 費	96,000 円																						
旅 費	52,000 円																						
需 用 費	18,000 円																						
使用料及び賃借料	7,000 円																						
決算総額	40,704 円																						
(内訳) 報 償 費	27,000 円																						
旅 費	11,769 円																						
需 用 費	1,935 円																						
使用料及び賃借料	0 円																						
評価	活動している3学級は、それぞれ新型コロナウイルス感染症感染予防対策等を行いながら、地域課題でもある防災対策についての学習、郷土について食の観点から深く学ぶことができた。																						
課題	<p>学級生の高齢化や参加者の減少により、各学級単位での学習が難しくなっている。</p> <p>そのため、学級間の合同学習会を実施していく必要がある。</p>	今後の方針	<p>学級活動を支援していくため、各婦人学級長への連絡や訪問等を行いながら、学習内容の相談や指導を今後も継続していく。</p> <p>学級間の合同学習会参加者が少しずつ増加しているので、今後もより積極的な活動ができるよう支援をしていく。</p>																				

事業名	市民大学及び成人教育事業																																																
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進																																																
概要	自然、芸術、社会、歴史、生活、健康など学習ニーズに対応した講座を開設し、地域の方々の教養の向上、健康の増進、情操の涵養に資することで、心豊かな地域社会を目指す。																																																
計画	<p>○公開講座：10回（中央公民館） 5月から2月まで月1回の開催 講演会形式で登録者以外でも受講可能としている。</p> <p>○ゼミナール：19講座 実技等を伴う講座で、1講座当たり数回の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館：10講座 ・川内公民館：1講座 ・大畑公民館：4講座 ・脇野沢公民館：4講座 <p>○修了証の交付 受講登録者で、規定の単位を取得した方に修了証を交付</p>	実績・成果	<p>○公開講座開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公開講座</td> <td>9回</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>聴講者数</td> <td>延 306人</td> <td>延 353人</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>53人</td> <td>56人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理、ジオパーク、大畑まつりなど <p>○ゼミナールの公民館別開催状況 (上段：講座数 下段：登録者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>公民館</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中央</td> <td>10講座</td> <td>8講座</td> </tr> <tr> <td>84人</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">川内</td> <td>1講座</td> <td>2講座</td> </tr> <tr> <td>11人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大畑</td> <td>4講座</td> <td>4講座</td> </tr> <tr> <td>64人</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">脇野沢</td> <td>4講座</td> <td>4講座</td> </tr> <tr> <td>57人</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>19講座</td> <td>18講座</td> </tr> <tr> <td>216人</td> <td>231人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理、運動、陶芸、歴史探訪など <p>大雨警報発令のため、公開講座1回中止となった。</p> <p>○修了証の交付者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修了者数</td> <td>34人</td> <td>41人</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年度	令和3年度	公開講座	9回	8回	聴講者数	延 306人	延 353人	登録者数	53人	56人	公民館	令和4年度	令和3年度	中央	10講座	8講座	84人	65人	川内	1講座	2講座	11人	28人	大畑	4講座	4講座	64人	58人	脇野沢	4講座	4講座	57人	80人	計	19講座	18講座	216人	231人		令和4年度	令和3年度	修了者数	34人	41人
	令和4年度	令和3年度																																															
公開講座	9回	8回																																															
聴講者数	延 306人	延 353人																																															
登録者数	53人	56人																																															
公民館	令和4年度	令和3年度																																															
中央	10講座	8講座																																															
	84人	65人																																															
川内	1講座	2講座																																															
	11人	28人																																															
大畑	4講座	4講座																																															
	64人	58人																																															
脇野沢	4講座	4講座																																															
	57人	80人																																															
計	19講座	18講座																																															
	216人	231人																																															
	令和4年度	令和3年度																																															
修了者数	34人	41人																																															
予算	<p>予算総額 1,007,000 円</p> <p>(内訳) 報償費 586,000 円 旅費 388,000 円 需用費 24,000 円 使用料及び賃借料 9,000 円</p>	決算	<p>決算総額 719,671 円</p> <p>(内訳) 報償費 426,000 円 旅費 263,952 円 需用費 26,919 円 使用料及び賃借料 2,800 円</p>																																														
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をした上で、公開講座、ゼミナールを実施し、市民が望む学びの場を提供することができた。参加者アンケート結果からも8割程度の大満足・満足という回答得ていることから、目的は達成できた。																																																
課題	<p>公開講座は誰でも参加できる集客スタイルとしているため、感染症予防対策を十分に講じていく必要がある。 新規の受講者が少なく、全体の受講者数も減少傾向にある。</p>	今後の方針	<p>感染症予防対策をしっかりと講じながら、公開講座、ゼミナールを開催し、引き続き、新規受講者の増加に重点を置き、魅力ある「むつ市民大学」を実施していく。</p>																																														

事業名	分館地域づくり講座開催																						
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進																						
概要	地域住民が共に集い、学び合う場を提供し、活気あふれる地域社会づくりの推進を目的とする。																						
計画	分館長会議を開催し、地域づくり講座の説明をしながら実施について促していく。 (対象：16分館)	実績・成果	令和4年4月15日 分館長会議開催 講座開催の説明を行い、希望を募ったが、締切日まで応募がなかったため講座は開催されなかった。																				
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>48,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>24,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>17,000 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>3,000 円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>4,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	48,000 円	(内訳) 報償費	24,000 円	旅費	17,000 円	需用費	3,000 円	使用料及び賃借料	4,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算額</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>0 円</td> </tr> </table>	決算額	0 円	(内訳) 報償費	0 円	旅費	0 円	需用費	0 円	使用料及び賃借料	0 円
予算総額	48,000 円																						
(内訳) 報償費	24,000 円																						
旅費	17,000 円																						
需用費	3,000 円																						
使用料及び賃借料	4,000 円																						
決算額	0 円																						
(内訳) 報償費	0 円																						
旅費	0 円																						
需用費	0 円																						
使用料及び賃借料	0 円																						
評価	地域づくり講座の参加者の多くが高齢者であると想定されるため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から応募がなかったと考えられるため、評価できない。																						
課題	近年、各分館からの地域づくり講座の応募が少なくなっているため、講座の提案方法を変えていく必要がある。	今後の方針	過去、地域づくり講座を行った分館での様子を紹介し、地域づくり講座をより深く理解いただくよう努めていく。																				

(3) 社会教育関係団体等の育成支援

事業名	各団体への指導・助言及び支援		
大綱施策	2-(1)-③学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進と人材育成		
概要	婦人教育分野、団体育成について社会教育指導員を配置し、直接指導及び学習相談に応じるなどして育成を行う。少年教育分野、団体育成については職員の人的援助等により助成、育成を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○中央公民館に社会教育指導員(1名)を配置し、婦人教育の直接指導及び学習相談、並びに社会教育関係団体の育成を行う。 ○各団体の活動を支援するため、人的支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・むつ地区連合婦人会 ・むつ市子どもネブタ運行委員会 ○各団体の活動を支援するための人的支援及び補助金等を交付する。 <ul style="list-style-type: none"> ・むつ市連合婦人会 ・下北地区子ども会育成連合会 ・むつ市子ども会育成会連絡協議会 ・青森県子ども会安全会負担金 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○むつ地区連合婦人会 <ul style="list-style-type: none"> ・むつ市婦人体育まつり 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ○むつ市子どもネブタ運行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・むつ市子どもネブタ合同運行補助 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ○むつ市連合婦人会 <ul style="list-style-type: none"> ・むつ市婦人芸能発表会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ○下北地区子ども会育成連合会事務局 <ul style="list-style-type: none"> ・第38回下北地区子ども会郷土芸能発表会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・下北地区子ども会郷土芸能研修会 開催日：令和5年2月19日 参加者：64人 ○むつ市子ども会育成会連絡協議会 事業費補助金支出 ○青森県子ども会安全会負担金 青森県子ども会育成連合会へ負担金支出

予 算	予算総額 613,000 円 (内訳) 負担金補助及び 交 付 金 613,000 円	決 算	決算総額 520,100 円 (内訳) 負担金補助及び 交 付 金 520,100 円
評 価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、婦人芸能発表会、子ども会郷土芸能発表会等の大規模な事業は中止となったが、各地区婦人会や、子ども会においては郷土芸能研修会を開催し、できることが限られる中ではあるものの活動は行われていた。		
課 題	婦人団体は、単会の解散及び新規会員数の減少により高齢化が進んでいる。 子ども会は、地域の児童・生徒数の減少や活動の多様化により団体の休止や会員数の減少が続いている。 また、それぞれの地区の子ども会活動を支援する育成者も減少している。	今 後 の 方 針	少子化や多様化に即した対応策を検討しながら、団体の持続や積極的な活動を視野に入れた育成支援及び指導を行っていく。

事業名	公民館まつりの開催																																						
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進																																						
概 要	各中央館（中央、川内、大畑、脇野沢）の利用団体等が制作した作品の展示や、日頃の活動の成果を発表する場を設け、各団体との交流と活動の更なる活性化を図るとともに、訪れた市民を通じて市全体の生涯学習の意識の高揚を図る。																																						
計 画	○公民館を利用しているサークル等が一堂に会し、日頃の活動を紹介・展示及び実演・体験指導を行い、市民の生涯学習（文化活動）の活性化を図る。 各中央館で開催する。	実 績 ・ 成 果	○中央公民館 ・開催日：令和4年8月26日～8月29日 ・令和4年度は展示のみ実施 ・令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大による市有施設一斉閉館のため中止 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>15団体</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>216人</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table> ○川内公民館 ・開催日：令和4年10月16日 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>1団体</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>353人</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table> ○大畑公民館 ・開催日：令和4年10月22日～23日 令和4年12月11日・26日 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>11団体</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>246人</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table> ○脇野沢公民館 ・開催日：令和4年11月1日～6日 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>4団体</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>59人</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年度	令和3年度	参加団体	15団体	中止	来場者数	216人	中止		令和4年度	令和3年度	参加団体	1団体	中止	来場者数	353人	中止		令和4年度	令和3年度	参加団体	11団体	中止	来場者数	246人	中止		令和4年度	令和3年度	参加団体	4団体	中止	来場者数	59人	中止
	令和4年度	令和3年度																																					
参加団体	15団体	中止																																					
来場者数	216人	中止																																					
	令和4年度	令和3年度																																					
参加団体	1団体	中止																																					
来場者数	353人	中止																																					
	令和4年度	令和3年度																																					
参加団体	11団体	中止																																					
来場者数	246人	中止																																					
	令和4年度	令和3年度																																					
参加団体	4団体	中止																																					
来場者数	59人	中止																																					
予 算	予算総額 323,500 円 (内訳) 報 償 費 198,000 円 消耗品費 70,000 円 役 務 費 55,500 円	決 算	決算総額 81,915 円 (内訳) 報 償 費 25,000 円 消耗品費 45,135 円 役 務 費 11,780 円																																				

評価	各地区の現状や各種団体の状況を踏まえ、実施・一部実施の判断を行ったものである。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となっていたことから、令和4年度の開催に際しては、開催となった事自体に感謝する声、出展団体の方々への御礼・激励が多く見られた。		
課題	参加団体・来館者が減少傾向にあり、作品数も少なくなっている。	今後の方針	新しい生活様式を踏まえた上で、日頃の成果の発表や各種団体の活動の活性化に向け、改めて実施内容について協議していくことが求められる。

事業名	社会教育指導員配置事業																		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進																		
概要	むつ市社会教育指導員に関する規則に基づき、社会教育の振興を図るため、婦人教育分野についての直接指導及び学習相談、並びに社会教育関係団体の育成を行う目的で、社会教育指導員を配置する。																		
計画	○中央公民館に社会教育指導員を1人配置する。 (むつ市社会指導員に関する規則第4条により指導員の委嘱期間は1年とする。ただし、再任を妨げない。)	実績・成果	○社会教育指導員1名配置 ○任期：令和4年4月1日～令和5年3月31日 ○婦人学級や婦人会等女性団体の事業並びに青少年教育事業について指導・支援し、各種教育の振興に効果的な役割を果たした。																
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>1,903,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>1,694,000 円</td> </tr> <tr> <td>職員手当等</td> <td>185,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>24,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	1,903,000 円	(内訳) 報酬	1,694,000 円	職員手当等	185,000 円	旅費	24,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>1,906,321 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>1,697,631 円</td> </tr> <tr> <td>職員手当等</td> <td>184,690 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>24,000 円</td> </tr> </table>	決算総額	1,906,321 円	(内訳) 報酬	1,697,631 円	職員手当等	184,690 円	旅費	24,000 円
予算総額	1,903,000 円																		
(内訳) 報酬	1,694,000 円																		
職員手当等	185,000 円																		
旅費	24,000 円																		
決算総額	1,906,321 円																		
(内訳) 報酬	1,697,631 円																		
職員手当等	184,690 円																		
旅費	24,000 円																		
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、婦人芸能発表会、子ども会郷土芸能発表会等の大規模な事業は中止となったが、各地区婦人会及び子ども会で開催された郷土芸能研修会等の限られた範囲での活動に対して指導及び相談等を行い、団体の育成支援に寄与している。																		
課題	各団体とも、少子高齢化や人口減少により会員数が減少し、組織の維持や活動が難しくなっている。	今後の方針	少子化や多様化に即した対応策を検討し、組織の持続に重点を置きながら活動の支援、指導等を継続していく。																

(4) 生涯学習関連施設等との連携促進

事業名	下北美術展の開催		
大綱施策	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実		
概要	下北地域の芸術文化の振興を図るため、児童生徒及び高校・一般から書道、絵画、版画、写真の作品を募集し、児童生徒の優秀作品、また、高校・一般の出品作品を展示及び表彰する。下北地方公民館連絡協議会（1市1町3村で構成）が実施する。		
計画	○児童・生徒の部 開催 (絵画、版画、書道)	実績・成果	○児童・生徒の部 ・出品数：2,358点 ・入賞数：506点 ・展覧会 期間：令和4年8月11日～21日 場所：中央公民館

計 画	○高校・一般の部 開催 (絵画、写真、書道)	実績・ 成果	○高校・一般の部 ・出品数：95点 ・入賞数：24点 ・展覧会 期間：令和4年10月4日～10日 場所：中央公民館
予 算	予算総額 380,000 円 (内訳) 報 償 費 25,000 円 負 担 金 355,000 円	決 算	決算総額 380,000 円 (内訳) 報 償 費 25,000 円 負 担 金 355,000 円
評 価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展示スペースを広く取り、来館者が密にならないように工夫しながら展示を行うことができた。コロナ禍のため、来館者数は通常時より減少したが、高校・一般の部は新たに出品していただいた方もいた。		
課 題	ここ数年、他町村での展覧会（移動展）が行われていない。	今後の 方針	下北美術展は地域の芸術文化の振興に寄与することを目的とした事業であるため、他町村においても展覧会（移動展）を開催してもらうよう呼びかけ、多くの地域の方々に芸術に触れていただく機会を増やしていく。

事業名	高等教育機関との連携		
大綱施策	2-(2)-②社会人の学び直しの推進		
概 要	社会が大きく変わる中で、それに対応する新たな知識を得ることができるよう、市民大学一日体験入学や市内にある高等教育機関と連携しながら学びの場を提供する。		
計 画	青森大学むつキャンパスを会場として市民大学公開講座を開催	実績・ 成果	令和4年10月20日 受講者29名（「市民大学及び各種講座開設事業」に含む）
予 算	予算額 0 円	決 算	決算額 0 円
評 価	令和4年度において開校した青森大学むつキャンパスにおいて、コロナウイルスワクチンに関する講座を体験し、受講者からも初のオンライン講座が新鮮で内容も解りやすかったと好評であった。		
課 題	市外の大学での体験入学も検討したいが、参加できる人数に限りがあり、遠距離の移動は負担が大きい。	今後の 方針	青森大学むつキャンパスで開設をしつつ、市外の大学での開催も検討してみる。

■ 公民館の重点項目の総括評価 ■

<p>公民館の利用者数は、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公民館の閉鎖措置が執られたことにより、新型コロナウイルス感染症が流行する前に比べ5割程度の利用であったが、令和4年度は、公民館の閉鎖措置は取らず、利用制限のみ行った結果、人数は新型コロナウイルス感染症が流行する前と比べ7割程度の利用となり、令和3年度よりは3割程度上回った。</p> <p>公民館の主催事業については、市民大学、こどもゼミナル、公民館まつり（中央公民館は作品展示のみ）、かきぞめ大会等、ほとんどの事業を感染予防対策を取りながら実施することができ、コロナ禍の中において、できる範囲での市民が望む学びの場を提供することができた。</p> <p>今後も感染予防対策を念頭に置きながら市民の学習ニーズに応え、可能な範囲で学習の場の確保に努めていく。</p>

5 図書館

■ 重点項目の点検（令和4年度の具体的な取組状況）■

（1）図書館の適正管理

事業名	空調設備改修事業（設計業務委託）		
大綱施策	2-(1)- ②生涯を通じた学びの推進		
概要	竣工して20年以上が過ぎ空調設備に不具合が多くなり、修繕用部品も生産中止となるなど、大規模な故障があった場合、突然の図書館長期閉館の可能性もあるため改修工事を進める。		
計画	○空調改修工事設計業務委託	実績・成果	○空調改修工事設計業務委託 委託期間 令和4年6月21日から 令和5年3月24日
予算	予算総額 6,033,000 円 (内訳) 委託料 6,033,000 円	決算	決算総額 5,804,700 円 (内訳) 委託料 5,804,700 円
評価	令和4年度は改修工事設計委託を実施し、令和5年度は改修工事を行う予定で、全ての空調設備の改修を終了する。		
課題	大規模な改修工事を行うと臨時休館が多くなる。また、利用にも制限がかかり利用しにくい期間が増える。	今後の方針	臨時休館に関しては関係機関と協議し、なるべく臨時休館をしない方向で調整し工夫をこらした開館に努める。

事業名	施設・設備の整備事業		
大綱施策	2-(1)- ②生涯を通じた学びの推進		
概要	老朽化のため、建物及び設備、機器類に不具合が多くなってきている。快適な読書環境を提供するために施設、設備の整備を図る。		
計画	○トップライト修繕 ○館内無線LAN追加工事 ○視聴覚ホール音響・映像設備更新	実績・成果	○トップライト修繕 594,000円 ○館内無線LAN追加工事 1,859,000円 ○視聴覚ホール音響・映像設備更新 1,331,000円
予算	予算総額 3,759,000 円 (内訳) 修繕費 483,000 円 工事請負費 1,958,000 円 備品購入費 1,318,000 円	決算	決算総額 3,784,000 円 (内訳) 修繕費 594,000 円 工事請負費 1,859,000 円 備品購入費 1,331,000 円
評価	施設整備についての不具合は利用者の利便性等考慮し、優先順位を協議しながら順次行い、快適な読書環境の提供に繋がった。		
課題	修繕等を行うと、利用にも制限がかかり利用しにくい期間が発生する。	今後の方針	施設整備に関しては計画的に更新、改修を進め、広報や掲示等で利用者の理解を得ながら進める。

事業名	図書館協議会の開催		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	図書館協議会は、図書館法第14条の規定により、図書館の運営に関し、館長の諮問に応じるとともに、図書館の行うサービスについて館長に意見を述べる。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・委員定数：10人以内 ・任期：2年 ○会議の開催と先進地視察の実施 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館協議会委員：9人 <ul style="list-style-type: none"> ・任期：令和3年5月1日～令和5年4月30日 ○協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回：令和4年6月9日 ・第2回：令和5年1月31日
予算	予算総額 265,000 円 (内訳) 報酬 176,000 円 費用弁償 89,000 円	決算	決算総額 161,076 円 (内訳) 報酬 104,000 円 費用弁償 57,076 円
評価	年度初めの会議では、今年度の目玉事業である図書館ICT化事業の内容等を説明し、事業整備後は協議会委員を招いて、新たに導入したサイネージ等の説明、セルフ貸出機及び読書シール発行の体験等を行い、整備されたシステムへの理解を得た。		
課題	図書館の事業や運営だけではなく、県内先進地図書館の視察や読書推進関連大会への参加報告等、多様な情報の提供が必要である。	今後の方針	定期的を開催し、様々な知見からの助言をいただく機会を確保し、図書館運営に努める。

(2) 資料の収集・保存と活用

事業名	資料の購入																																						
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進																																						
概要	最新情報の把握と利用者のリクエストによる新刊図書の購入や基本的な図書の更新、話題性のある図書の購入、視聴覚資料の更新・購入を図り利用者のニーズに応じていく。																																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○小説、思想・哲学、歴史、社会科学（法律、経済、教育等）、自然科学（物理・化学、医学等）、技術（工学、機械、家政等）産業、芸術の全ての分野を網羅した選書を行い、年鑑、白書、統計等、年度更新が必要な資料について、利用者のニーズに応じた購入を定期的に行う。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○購入数 <ul style="list-style-type: none"> ・一般：1,582冊 ・児童：736冊 ・郷土：259冊 ・AV資料：55点 ○蔵書状況（令和5年3月31日時点） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>前年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般</td> <td>113,556</td> <td>120,288</td> <td>▲6,732</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>39,362</td> <td>40,745</td> <td>▲1,383</td> </tr> <tr> <td>郷土</td> <td>21,571</td> <td>20,224</td> <td>▲1,347</td> </tr> <tr> <td>非図書</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>図書計</td> <td>174,514</td> <td>181,282</td> <td>▲6,768</td> </tr> <tr> <td>雑誌</td> <td>3,148</td> <td>4,544</td> <td>▲1,396</td> </tr> <tr> <td>AV</td> <td>4,054</td> <td>4,346</td> <td>▲292</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>181,716</td> <td>190,172</td> <td>▲8,456</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年度	前年度	増減	一般	113,556	120,288	▲6,732	児童	39,362	40,745	▲1,383	郷土	21,571	20,224	▲1,347	非図書	25	25	0	図書計	174,514	181,282	▲6,768	雑誌	3,148	4,544	▲1,396	AV	4,054	4,346	▲292	合計	181,716	190,172	▲8,456
	令和4年度	前年度	増減																																				
一般	113,556	120,288	▲6,732																																				
児童	39,362	40,745	▲1,383																																				
郷土	21,571	20,224	▲1,347																																				
非図書	25	25	0																																				
図書計	174,514	181,282	▲6,768																																				
雑誌	3,148	4,544	▲1,396																																				
AV	4,054	4,346	▲292																																				
合計	181,716	190,172	▲8,456																																				
予算	予算総額 5,000,000 円 (内訳) 備品購入費 5,000,000 円	決算	決算総額 5,004,716 円 (内訳) 備品購入費 5,004,716 円																																				

評価	<p>損傷や劣化が激しい児童書の更新、法改正や技術革新により現状にそぐわなくなっている社会科学・自然科学・技術分野の更新を計画したが、全分野終了しておらず、利用者のニーズに 応えているとは言い切れない。</p>		
課題	<p>損傷や劣化が激しい資料の更新、現状にそぐわなくなっている分野の更新を継続していくため、選別作業の時間が必要である。</p>	今後の方針	<p>経過年数や各分野の蔵書構成を把握し、休館日を効率的に利用し更新作業していく。</p>

事業名	寄贈資料受入		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	郷土資料の受け入れや、団体からの寄贈の申し出に対応するとともに、雑誌スポンサー制度を周知し、資料提供の機会を広げる。		
計画	<p>○寄贈資料の受領に関する取扱基準に基づき、受入処理を適切に行う。</p> <p>○雑誌スポンサー 雑誌の購入費用を負担してもらい、提供いただいた最新号のカバーにスポンサーの名称や広告を掲載する。</p>	実績・成果	<p>○寄贈の状況 4,366冊 (令和4年度に登録作業を行った過年度寄贈資料を含む)</p> <p>○団体寄贈 4団体 (寄贈品：図書)</p> <p>○雑誌スポンサー 3者(4誌)</p>
予算	予算額 0円	決算	決算額 0円
評価	受け入れしていたが整理が進んでいなかった地域の寄贈資料について、内容確認作業を重点的に行い、多くの資料を登録した。		
課題	<p>市民からの寄贈の申し出の多くが、受領基準に達しない図書のためお断りしている。確認作業でも汚損等が多くあった。雑誌スポンサーの新規申込みがない。</p>	今後の方針	<p>受領基準の説明とともに、その根拠についても明確に説明を行いつつ受け入れしていく。雑誌スポンサー募集の広報を強化していく。</p>

事業名	資料の貸出事業		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	図書館運営の基礎となる、資料の貸出をスムーズに行うとともに、利用者の利便性に配慮した特別貸出やリクエストの受付を行う。		
計画	<p>○蔵書点検や年末年始の休館中にも図書を読めるよう、特別貸出を実施する。</p> <p>○蔵書数の少ない分館の利用者へ本館と同様に図書館サービスが受けられるようリクエストサービスを受け付ける。</p>	実績・成果	<p>○蔵書点検による休館中に貸出期間を通常より1週間延長した。例年、年末年始も特別貸出を実施していたが、ICタグ貼付作業のため、令和4年度は休止した。</p> <p>○利用状況 別表のとおり</p> <p>○リクエスト受付件数 川内分館 68件 大畑分館 53件 脇野沢分館 38件</p>
予算	予算額 0円	決算	決算額 0円

評価	利用者の利便性向上を目的にお待たせしない図書館を目指し、I C タグを利用したセルフ貸出機を複数台設置したほか、読書手帳のための読書シール機設置等新しい読書推進機能を追加し、特に利用者自身が直接予約入力可能とした機能が活用されている。		
課題	セルフ貸出機に慣れない方への丁寧な説明や、新機能を知らない利用者への周知が必要。	今後の方針	貸出機や読書推進の新機能の周知について、どのような手段が有効か検討し広報を行っていく。

別表 各図書館等の利用状況

		4年度	3年度	増減
本館	利用人数	31,575	34,001	▲ 2,426
	貸出冊数	131,226	140,238	▲ 9,012
移動	利用人数	1,315	1,728	▲ 413
	貸出冊数	4,745	5,954	▲ 1,209
川内	利用人数	134	105	29
	貸出冊数	340	418	▲ 78
大畑	利用人数	287	376	▲ 89
	貸出冊数	815	1,104	▲ 289
脇野沢	利用人数	239	203	36
	貸出冊数	405	385	20

(3) 図書館サービス活動の充実

事業名	図書館奉仕員配置事業		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	図書館奉仕員の有する技能・技術を市民対象の講習会等へ活用し、図書活動及び図書サービスの充実を図るため継続した任用を行う。また、図書館業務の中で最も重要であるレファレンス（調査相談業務）への対応を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館奉仕員を配置し、窓口サービスの充実を図る。 ○レファレンス（調査相談業務）への対応 ○図書館奉仕員を講師とした一般向け講習会を実施する。（ブックコート講習、修理講習） 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館奉仕員（会計年度任用職員）配置人数：12人 ○レファレンス件数：31件 ○ブックコート講習会 5月19日（木） 6名参加
予算	予算総額 23,690,000 円 (内訳) 報酬 21,124,000 円 職員手当 2,215,000 円 旅費 351,000 円	決算	決算総額 23,985,891 円 (内訳) 報酬 21,420,837 円 職員手当 2,214,654 円 旅費 350,400 円 ※決算総額のうち18,000,000円は、電源立地地域対策交付金
評価	I C T 化事業を推進するための事前準備業務を、通常業務と並行しながら作業した。施設のリニューアルに向けて担当グループごとに協議を進め、休館期間に集中して最終準備を行った。また、奉仕員が中心となって実施しているブックコート講習会では、親切、丁寧な指導で参加者の好評を得ている。		
課題	新サービスを熟知し利用者へのサービス強化を進めていく必要がある。	今後の方針	I C T を活用した新サービスについては、利用状況を確認しながら課内研修会で情報共有しつつ、より良いサービスを行っていく。

事業名	相互貸借事業		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	むつ市立図書館で所蔵のない資料を全国の図書館から借用して利用者へ貸出することで利用者のニーズに応える。		
計画	○利用者のリクエストに応じ、県内外の図書館の所蔵を調査し、借用依頼する。 ○他の図書館からの借用依頼にも対応する。	実績・成果	○相互貸借件数 借受数 448点 (28館) 貸出数 164点 (46館)
予算	予算総額 125,000 円 (内訳) 手数料 125,000 円	決算	決算総額 52,288 円 (内訳) 手数料 52,288 円
評価	リクエストサービス(予約含む)の一部を相互貸借で対応しており、他館と連携しながらリクエスト申込者のニーズに応じている。		
課題	電子版もある資料は、紙の本がすぐに入手困難となる傾向があるため、相互貸借でしかリクエストに応える手段がない場合が増加しつつある。	今後の方針	他図書館とに連携を深めながらも、新刊のリクエストは相互貸借せず、購入対応するために、脆弱な分野の把握をしつつ図書館購入費の予算確保に努める。

事業名	各種企画事業		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	各種事業を開催することで、図書館に親しんでもらう機会を提供し、読書意欲の向上と来館者の増加を目指す。		
計画	○図書館展示ホールやあすなろホールを使用し、コンサートの開催やAV資料を活用した児童及び一般向け映画の上映会を開催するほか、川島雄三監督映画上映会も実施する。 ○貸出回数によってポイントがたまるスタンプラリーや、図書館の無料配布を主体としたブックフェスティバル等を開催する。	実績・成果	○日曜シネマ(毎月第2日曜日) 5回上映 参加者:83人 ※10~3月 ICT化作業のため休止 ○映画監督川島雄三上映会 令和4年6月11日 参加者:23人 ○子ども映画まつり ・令和4年7月31日 参加者:37人 ・令和5年2月5日 参加者:3人 ○スタンプラリー ・夏休み 参加者807人 令和4年7月23日~8月31日 ・読書週間 参加者:592人 令和4年10月28日~11月30日 ○ブックフェスティバル 令和4年11月12日~11月13日 参加者:277人 無料配布冊数:1,534冊
予算	予算総額 167,000 円 (内訳) 消耗品費 50,000 円 映像資料上映許諾使用料 117,000 円	決算	決算総額 89,376 円 (内訳) 消耗品費 23,376 円 映像資料上映許諾使用料 66,000 円
評価	図書館ICT化事業のため、下半期の事業は縮小して計画し、実施した事業については好評であった。		
課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により中止した事業を再開するにあたり、改めて開催時期や手順等見直しを図る必要がある。	今後の方針	令和5年度は施設の改修工事等の関係から下半期の事業の影響を最小限にする必要がある。

事業名	詩歌コンクール事業		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	詩、短歌、俳句、川柳の4部門において、創作に対する関心を高め、読書と創作のつながりを設けることと、読書意欲向上のため詩歌コンクールを実施する。		
計画	<p>○応募資格 むつ市在住及びむつ市通勤・通学者</p> <p>○応募方法 ・作品は未発表のオリジナル作品 ・各部門とも、小学生・中学生・高校生・一般ごとに審査する。</p>	実績・成果	<p>○むつ市詩歌コンクール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集期間 令和4年8月1日～9月10日 ・作品展示 令和5年2月6日～2月15日 ・応募作品数：1,658点 ・入賞作品数：186点
予算	<p>予算総額 220,000 円</p> <p>(内訳) 報償費 172,000 円 消耗品費 48,000 円</p>	決算	<p>決算総額 96,520 円</p> <p>(内訳) 報償費 93,000 円 消耗品費 3,520 円</p>
評価	一般部門の募集を最後として開催し、全体の応募数は増加した。		
課題	<p>作品中に、剽窃や盗作と見られるものがあり、応募者への周知や倫理観の醸成が必要。また、応募作品のデータ化に多くの業務時間が割かれている。小学校低学年と高学年を一緒に審査するのは難しいとの審査員の意見がある。</p>	今後の方針	<p>詩歌コンクール以外にも一般向けの同様のコンクールは多く、作品発表の機会があることから、令和5年度から一般部門を廃止とし、児童、生徒に向けての開催とする。また、小学校の部門を低学年と高学年の2部門に分けて審査を行うこととする。</p>



ブックフェスティバル

事業名	図書館ICT化事業		
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進		
概要	図書館システムを搭載したタブレットの導入やバーコード管理している資料を全てICタグ化にすることにより、業務の効率化・省力化を実現するとともに、作業等の時間短縮ができ、市民の利便性を向上させる。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ICタグの導入 ○デジタルサイネージの導入 ○新サービスの導入 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○業務委託期間 令和4年10月1日～令和5年1月31日 ○ICタグの導入 <ul style="list-style-type: none"> ・本館・分館・移動図書館車所蔵の全資料にICタグを貼付した。 ・1冊ずつバーコードを読み取る処理方式から、専用の台に重ねて載せるだけで貸出・返却処理が完了し、時間短縮に繋がった。 ・ICタグ対応セルフ貸出機を3台導入し、スムーズに貸出が可能となった。 ○デジタルサイネージの導入（2台） <ul style="list-style-type: none"> タッチパネル式の画面に新刊や展示本の情報、館内イベント、地域イベントの情報を掲載。また、集会施設の予約状況も確認することが可能となった。 ○新サービスの導入 <ul style="list-style-type: none"> ・館内検索機やインターネットから貸出の延長手続きが可能となった。 ・インターネット上に自分だけの「My本棚」を作成し、読みたい本や読んだ本を記録することが可能となった。 ・読書シール機を導入し、今借りている本のタイトルなどが記載されたシールが作成できる。図書館オリジナルの読書手帳も新たに作成した。
予算	<p>予算総額 60,049,000 円</p> <p>(内訳) 委託料 60,049,000 円</p>	決算	<p>決算総額 54,413,414 円</p> <p>(内訳) 委託料 54,413,414 円</p> <p>※決算総額のうち27,206,707円は、デジタル田園都市国家構想推進交付金、27,206,707円は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金</p>
評価	セルフ貸出機の導入により、利用者のプライバシー保護に配慮した利便性の高い図書館利用システムを構築できた。また、セキュリティゲート設置とICタグ導入による業務の効率化により、レファレンス業務等をはじめ総合的な図書館サービスの充実を図ることができた。		
課題	利用者が新サービス及びセルフ貸出機に不慣れなため、混雑するとお待たせする場面がある。	今後の	新サービス及びセルフ貸出機の使用について益々周知、広報し、利用者に丁寧に説明する必要がある。



新サービス等の様子

事業名	集会施設の貸出事業		
大綱施策	2-(1)- ②生涯を通じた学びの推進		
概要	市民の身近な公共施設として、社会教育活動及び生涯学習の推進及び支援をする。		
計画	○市民の社会教育及び生涯学習の活動場所を提供するため集会施設の貸出を行う。	実績・成果	○集会施設の利用状況 ・集会室 : 72回 645人 ・会議室 : 102回 608人 ・視聴覚ホール : 8回 197人 ・展示ホール : 11回 629人
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
評価	図書館ICT化事業では、集会室及び会議室で資料の整理、登録作業を行ったため長期間貸館中止となった。また、貸館する部屋にインターネット回線を引いたことにより緊急時の役所機能の移設に対応することができるようになった。		
課題	長期貸館中止になれば利用団体が使用できなくなり、利用者に不自由を強いている。	今後の方針	修繕、工事に関しては計画的に実施し、長期貸館中止が無いように関係機関と協議しながら改修に努める。

(4) 子供の読書活動の推進

事業名	子育て・子ども向け事業		
大綱施策	2-(1)- ②生涯を通じた学びの推進		
概要	季節に関連した図書やテーマ展示を行い、子どもたちの読書活動の意欲を高める。図書館見学や映画上映会、工作教室を企画し、図書館に親しむ機会を増やし、読書推進へつなげる。		
計画	○児童の特別展示・季節の展示	実績・成果	○特別展示:23回・季節の展示:15回 ○イースターエッグハント 令和4年4月16日 参加者:35人 ○夏休み工作教室 令和4年8月18日 参加者:6人 ○子ども映画まつり(再掲) ・令和4年7月31日 参加者:37人 ・令和5年2月5日 参加者:3人
予算	予算総額 15,000 円 (内訳) 消耗品費 15,000 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 消耗品費 0 円
評価	児童の特別展示・季節の展示は貸し出しも多く利用者のニーズに応じている。新型コロナウイルス感染症拡大防止により2年間中止していた事業のいくつかを開催した。		
課題	新型コロナウイルス感染症の拡大と縮小の間で中止と再開の判断が難しい。	今後の方針	新型コロナウイルス感染症の減少傾向により事業再開可能だが、取捨選択しながら事業展開をしていく。

事業名	おはなし会等の開催		
大綱施策	2-(1)- ②生涯を通じた学びの推進		
概要	子ども向けの読み聞かせや紙芝居の上演を行うおはなし会を毎週開催し、季節ごとに大規模なおはなし会を開催して子どもたちの読書推進を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○毎週土曜日開催 「土曜おはなし会」 ○季節の「おはなし会」 <ul style="list-style-type: none"> ・はるのひのおはなし会 ・あきのひのおはなし会 ・ふゆのひのおはなし会 ○「こわいおはなし会」 ○国際交流員による英語の読み聞かせ (ムチュリーディング) 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○「土曜おはなし会」 午前11時～11時30分 34回：延べ256人 ○季節の「おはなし会」 <ul style="list-style-type: none"> ・はるのひのおはなし会 令和4年5月14日：9人 ・ふゆのひのおはなし会 令和5年2月4日：29人 ※あきのひのおはなし会は中止 ○「こわいおはなし会」 令和4年8月4日：20人 ○英語のおはなし会 令和4年10月15日：28人 ○ムチュリーディング 第1水曜日9回：延べ40人
予算	予算総額 12,000 円 (内訳) 消耗品費 12,000 円	決算	決算総額 11,014 円 (内訳) 消耗品費 11,014 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を参加者に呼びかけながらの開催であったが、参加者からは好評であった。		
課題	事業の安定的な運営も必要だが、世代の交代を視野に入れての継続が必要である。	今後の方針	高校や大学との連携を図り、新たな読み手の育成と活動の場を提供する。

事業名	職場体験・見学の受け入れ		
大綱施策	2-(1)- ②生涯を通じた学びの推進		
概要	学校からの依頼により館内見学や利用体験、調べ学習の場として活用いただくとともに、職場体験学習の受け入れを積極的に行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○市内及び郡内の学校及び幼稚園から図書館見学・職場体験学習を連絡調整し受け入れる。 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○施設見学 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園 (1園)：14人 ・小学校 (6校)：236人 ・中学校 (1校)：4人 ・高等学校(1校)：8人 ・その他(1団体)：8人 ○職場体験 (インターンシップ) <ul style="list-style-type: none"> ・中学校 (5校)：10人 ・高等学校(1校)：1人 ・短期大学(1校)：1人
予算	予算額 0 円 (内訳) 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 円
評価	職場体験、見学とも前年度と同様の依頼があり、日程を調整しながら可能な限り受け入れた。		

課題	職場体験の時期が重なり、各学校との調整に苦勞する場合がある。申込から受入まで十分な準備期間がなく担当者の負担が増加する傾向が見受けられる。	今後の方針	職場体験の申込み時期について、各学校へ準備期間の必要等、詳しい周知が必要である。
----	---	-------	--

(5) 人と本をつなげるまちづくり事業の推進

事業名	移動図書館車の運行業務委託		
大綱施策	2-(1)- ②生涯を通じた学びの推進		
概要	本館から離れた遠隔地に居住する市民へ移動図書館車を運行し、図書館資料の利用拡大を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校、幼稚園、保育所、公民館、集会所等18ステーションに2週間おきに運行する。 ○運行期間 新移動図書館車の納車後～12月まで ※例年5月運行開始 	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○運行期間 令和4年7月～12月(77日間) ※納車の遅れから2ヶ月遅れの運行開始となった。 ○利用人数：1,311人(延べ) ○貸出冊数：4,739冊
予算	予算総額 902,000 円 (内訳) 委託料 902,000 円	決算	決算総額 1,155,000 円 (内訳) 委託料 1,155,000 円
評価	令和4年7月から新移動図書館車での巡回サービスが開始された。巡回日数も昨年に比べ少なかったが、新移動図書館車「ブックラン♪」を一目見ようと、多くの子供たちでにぎわいをみせた。		
課題	子供が少なくなっているなかで、利用者の多くが児童である。利用人数、貸出冊数の増加もあるが、利用者に満足が行くサービスが求められる。	今後の方針	遠隔地にこだわらず、新規ステーションの開拓に努める。また、「人と本でつながるまちづくり事業」と合わせ新規事業の検討にも務める。



英語のおはなし会

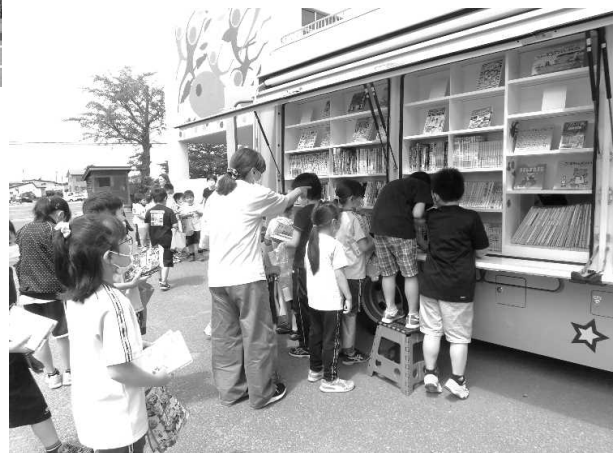


職場体験

事業名	移動図書館車の購入																														
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進																														
概要	移動図書館車「ほほえみ号」も21年が経過し、エンジン及び車体全体に老朽化が進み運行に支障を来していることから、安全に安心して巡回サービスを提供出来るよう移動図書館車を購入する。																														
計画	○移動図書館車の購入 令和3年度からの繰越事業 当初契約期間（仮契約含め） 令和3年6月5日～令和4年3月31日	実績・成果	○移動図書館車購入 契約期間（最終） 令和3年6月29日～令和4年6月30日 ○契約期間の変更 ①新型コロナウイルス感染症の影響による輸入部品等の不足のため、令和3年度中の納入が困難となった。 （変更後：～令和4年5月31日） ②移動図書館車の外観ラッピングに関する協議に時間を要したため。 （変更後：～令和4年6月30日）																												
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算額</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 消耗品費</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td> 役務費</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td> 委託料</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td> 公課費</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>繰越明許</td> <td>23,043,000円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 備品購入費</td> <td>23,043,000円</td> </tr> </table>	予算額	0円	(内訳) 消耗品費	0円	役務費	0円	委託料	0円	公課費	0円	繰越明許	23,043,000円	(内訳) 備品購入費	23,043,000円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>824,890円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 消耗品費</td> <td>2,860円</td> </tr> <tr> <td> 役務費</td> <td>34,530円</td> </tr> <tr> <td> 委託料</td> <td>770,000円</td> </tr> <tr> <td> 公課費</td> <td>17,500円</td> </tr> <tr> <td>繰越明許</td> <td>23,042,690円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 備品購入費</td> <td>23,042,690円</td> </tr> </table>	決算総額	824,890円	(内訳) 消耗品費	2,860円	役務費	34,530円	委託料	770,000円	公課費	17,500円	繰越明許	23,042,690円	(内訳) 備品購入費	23,042,690円
予算額	0円																														
(内訳) 消耗品費	0円																														
役務費	0円																														
委託料	0円																														
公課費	0円																														
繰越明許	23,043,000円																														
(内訳) 備品購入費	23,043,000円																														
決算総額	824,890円																														
(内訳) 消耗品費	2,860円																														
役務費	34,530円																														
委託料	770,000円																														
公課費	17,500円																														
繰越明許	23,042,690円																														
(内訳) 備品購入費	23,042,690円																														
評価	新型コロナウイルス感染症の影響による輸入部品等の不足で、土台となるトラックの入荷に遅延が生じたため令和3年度内に事業を完了できず、令和4年6月30日に完了した。その後、7月から新移動図書館車「ブックラン♪」で巡回サービスの提供ができた。																														
課題	学校、保育園（幼稚園）及び施設を長く安全に巡回できるよう、移動図書館車の細やかな整備が必要になる。	今後の方針	安全に巡回できるよう移動図書館車の整備に努める。																												



移動図書館車「ブックラン♪」



移動図書館車巡回の様

事業名	移動図書館車新規事業														
大綱施策	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進														
概要	<p>コロナ禍において、図書館への来館が困難になることや、控える方が増える状況が続くことが想定されるため、新しい生活様式に沿った対応が求められる。そのためにも、「会いに来る図書館」と称した移動図書館車の役割が大きくなる。</p>														
計画	<p>○新移動図書館車お披露目イベントの開催</p> <p>○出張図書館</p> <p>○ボランティア活動の開始</p>	実績・成果	<p>○新移動図書館車お披露目イベント 開催日：令和4年7月2日(土) 場所：金谷公演 内容：車体お披露目、愛称発表 青空おはなし会、臨時貸出 運営協力：青森大学下北キャンパス、 青森大学読み聞かせサークル</p> <p>○出張図書館（夏休み特別運行） キッズパーク 令和4年8月5日、10日、19日 市役所本庁舎 令和4年8月10日</p> <p>○依頼運行 苫生小学校 令和4年11月14日</p> <p>○ボランティア活動 ・土曜おはなし会を実施する読み聞かせ 団体の他、新たに個人ボランティアの 募集をし、活動を支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>個人参加</th> <th>団体参加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動内容</td> <td>返却本の配架 本の修理</td> <td>読み聞かせ (おはなし会)</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>3人</td> <td>3団体 (計19人)</td> </tr> <tr> <td>活動回数</td> <td>延べ94回</td> <td>27回</td> </tr> </tbody> </table> <p>・令和4年度は図書館内でのみの活動を行った。</p>		個人参加	団体参加	活動内容	返却本の配架 本の修理	読み聞かせ (おはなし会)	参加者	3人	3団体 (計19人)	活動回数	延べ94回	27回
	個人参加	団体参加													
活動内容	返却本の配架 本の修理	読み聞かせ (おはなし会)													
参加者	3人	3団体 (計19人)													
活動回数	延べ94回	27回													
予算	<p>予算総額 37,000 円</p> <p>(内訳) 報償費 30,000 円 保険料 7,000 円</p>	決算	<p>決算総額 41,000 円</p> <p>(内訳) 報償費 40,000 円 保険料 1,000 円</p>												
評価	<p>令和4年7月から新移動図書館車で巡回サービスが開始された。「会いに来る図書館」と称して、金谷公園でのお披露目式、夏休み特別運行を行った。また今まで巡回コースになかった苫生小学校の要請により、臨時運行を行った。結果、令和5年度から新ステーションとしての運行につながった。</p>														
課題	<p>運行の調整及び人員の配置等に苦慮する。また、天候によっても左右されやすい。</p>	今後の方針	<p>図書館の利用者及び移動図書館車の利用者のニーズを把握し、人員の配置等、事業内容を再度検討していく。</p>												

■ 図書館の重点項目の総括評価 ■

<p>図書館での読書環境が快適であるよう施設の修繕や改修工事の準備することができた。今後も計画的に進めていく。</p> <p>蔵書については適切な資料等の整備を行い蔵書の充実に務めたが、部分的にしかできていない分野もあり、今後も継続していく必要がある。主催事業や子どものための事業においては、感染対策をしっかりと行うことで、ほとんどの事業を実施することができた。図書館ICT化事業実施により、セルフ貸出をメインに読書推進機能を強化する等、利用者の利便性と読書環境の充実に努めた。移動図書館車の更新を行い、新しい事業に繋げていくことができた。</p>
--

6 地域文化・スポーツクラブ設立準備室

■ 具体的な取組の評価 ■

(1) 地域文化・スポーツクラブの創設準備

事業名	地域文化・スポーツクラブ設立準備事業		
大綱施策	2-(1)-①スポーツ活動の推進		
概要	<p>令和4年12月にスポーツ庁及び文化庁から新たに公表されたガイドラインでは、令和5年度から令和7年度末までを改革推進期間として位置づけ、中学校の運動部活動及び文化部活動の地域への移行を可能な限り早期の実現を目指すこととしている。このため、令和4年度から「地域文化・スポーツクラブ設立準備室」を設置し、中学校部活動の地域移行及び「総合型クラブ」の設立に対応していく。</p>		
計画	<p>○令和5年度から、部活動の一部種目の地域移行に向けた準備を行う。</p> <p><スポーツクラブ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー ・柔道 ・水泳 <p><文化クラブ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習 ・IT ・野外活動体験 ・ダンス ・家庭 ・美術 ・歌唱 ・ボードゲーム ・総合文化（川内脇野沢・大畑） 	実績	<p>○文化・スポーツ協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年11月28日 第1回協議会 <p>○指導者の募集及び研修会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月17日、18日 <p>○全中学校生徒・保護者への説明会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月上旬～中旬 <p>○入学予定者（全児童）・保護者への説明会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月下旬～2月上旬
予算	<p>予算総額 1,163,000 円</p> <p>(内訳) 委員報酬 85,000 円</p> <p>旅費・費用弁償 302,000 円</p> <p>消耗品費 69,500 円</p> <p>パンフレット印刷費 280,500 円</p> <p>通信料・回線使用料 47,000 円</p> <p>パネル等リース料 379,000 円</p>	決算	<p>決算総額 1,141,575 円</p> <p>(内訳) 委員報酬 84,500 円</p> <p>旅費・費用弁償 301,053 円</p> <p>消耗品費 52,976 円</p> <p>パンフレット印刷費 280,500 円</p> <p>通信料・回線使用料 44,000 円</p> <p>パネル等リース料 378,546 円</p>
評価	<p>各種説明会等を開催するとともに、指導者の募集及び研修会等を開催し、令和5年度からの一部種目地域移行に向け、一定の進捗が見られることから概ね良好と判断する。</p>		
課題	<p>生徒の移動するバスの経路等について、希望調査を基に経路を再構築する必要がある。また、指導者との打合せを行い、スムーズな地域移行を図る必要がある。加えて、クラブの調整役であるクラブマネージャーの募集をしなければならない。</p>	今後の方針	<p>生徒の希望調査を取りまとめ、4月の体験期間及び5月からの本格稼働に向けた、各種調整作業を行いながら、クラブ活動の運営主体となる(仮称)むつ市地域文化・スポーツクラブ「むつ☆かつ」を設立する。</p>

■ 地域文化・スポーツクラブ設立準備室の重点項目の総括評価 ■

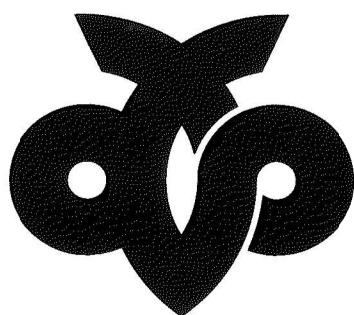
<p>近年の中学校部活動は、生徒数の減少により部活動の維持の困難さや、教師の働き方改革が課題としてあげられ、国から部活動改革についての提言がなされたことから、市では生徒の自主的、自発的な参加により行われる活動の在り方を検討した。</p> <p>令和4年10月25日に設置した地域文化・スポーツクラブ設立準備室において、令和4年度末までに当初の予定どおりクラブの移行及びむつ☆かつの設立ができた。今後については、運営しながら柔軟に対応し、生徒にとって望ましい活動場所を提供したい。</p>

◇点検・評価対象事務事業一覧

担当課	各担当課における取組		頁
	具体的な事業	むつ市教育大綱における施策内容	
総務課	(1) 安全・安心で夢を育む教育環境の整備		
	スクールバス運行管理事業		9
	まさかり高校医学部進学・特進コース事業	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進	10
	下北Project(学びのイノベーション)事業	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進	11
	GIGAスクール端末等購入事業	1-(1)-③主体的な学習の推進	12
	GIGAスクールネットワーク体育館追加整備事業	1-(1)-③主体的な学習の推進	12
	校務用パソコン等購入事業	1-(1)-③主体的な学習の推進	13
	学校情報通信環境管理運営事業	1-(1)-③主体的な学習の推進	13
	中学校大規模改修事業(市立田名部中学校外部建具改修工事)		14
	// (市立大畑中学校屋上防水改修工事)		14
	// (市立川内小・中学校消火栓給水管・ポンプ改修工事)		15
	(2) 教職員の適正・適切な配置		
	県費負担職員の任免、服務、その他の人事管理		15
	(3) 通学区域制度の適切な運用及び再編		
	むつ市通学区域審議会の設置		16
	(4) 学校規模の適正化に係る研究・検討		
	学校規模適正化のための地域説明会等の開催	1-(2)-②安全・防災教育の推進	16
	(5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助		
	要保護児童生徒援助事業		17
	準要保護児童生徒援助事業		17
	医療的ケア児童生徒就学支援事業	1-(3)-②特別支援教育の充実	18
	特別支援教育就学奨励事業	1-(3)-②特別支援教育の充実	18
	(6) コミュニティ・スクール制度の推進		
	学校運営協議会の設置	1-(4)-②コミュニティ・スクールの推進	19
	(7) 奨学金制度の充実		
	奨学金貸付事業	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進	19
	むつ市大学医学部修学助成金交付事業	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進	20
	(8) 学校保健の充実		
	健康診断委託事業	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり	21
	学校医委託事業	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり	22
	学校災害共済給付事業	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり	23
学校保健会補助事業	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり	23	
学校災害入院補償事業	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり	25	
(9) 学校給食の充実			
学校給食管理事業	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり	25	
学校給食設備整備事業	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり	26	
(仮称)防災食育センター建設事業	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり	26	
生涯学習課	(1) 生涯学習の推進		
	社会教育委員の設置	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	28
	社会教育指導員による学習支援	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	29
	二十歳の集いの開催	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	29
	自然観察会の開催	2-(1)-③学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進と人材育成	30
	(2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進		
	放課後子ども教室推進事業	2-(1)-③学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進と人材育成	30
	(3) 社会教育施設の機能充実		
	むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	31
	むつ市下北自然の家の管理・運営	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	32
	(4) 文化芸術活動の奨励と振興		
	むつ市文化賞・文化奨励賞受賞者作品展示	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実	33
	東京藝術大学出身演奏家による芸術鑑賞教室	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実	33

担当課	各担当課における取組		
	具体的な事業	むつ市教育大綱における施策内容	頁
生涯学習課	(5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用		
	むつ市文化団体、民俗芸能の保存と伝承等支援事業	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実	34
	文化財保護審議会の設置	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実	34
	文化財収蔵庫の管理・運営	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実	35
	北の防人大湊式番館の活用とガイド活動支援	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実	36
	文化財・自然調査事業	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実	37
	埋蔵文化財発掘調査事業	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実	37
	田名部館遺跡本発掘調査事業	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実	38
	文化財保護保存管理事業	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実	39
	重要文化財保存修理事業(二枚橋2遺跡出土品) // (旧大湊水源地水道施設)	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実	40 41
学校教育課	(1) 学力向上対策の充実		
	総合学力調査・知能検査実施	1-(1)-①明確な目標設定	42
	活用力育成講座開催	1-(1)-③主体的な学習の推進	42
	デジタル教科書・デジタル教材購入	1-(1)-①明確な目標設定	43
	新聞を活用した学習への支援	1-(1)-①明確な目標設定	43
	研究大会への派遣助成	1-(1)-②教員の資質向上	44
	授業目的公衆送信補償金等管理協会負担金	1-(1)-③主体的な学習の推進	44
	(2) 教育研修センター講座等の充実		
	教職員研修講座開設	1-(1)-②教員の資質向上	45
	(3) 小中一貫教育の充実		
	9ブロックでの小中一貫教育推進研究	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進	46
	小中一貫教育非常勤講師配置	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進	46
	(4) 質の高い教育課程の創造		
	むつ市学校教育プラン策定委員会開催	1-(1)-①明確な目標設定	47
	指導の方針と重点に関する指導・支援	1-(1)-①明確な目標設定	47
	児童生徒の高い志をはぐくむ支援事業	1-(1)-④0歳から18歳までの切れ目のない学力の向上施策の推進	48
	(5) 健康教育・安全教育の充実		
	「健康の未来」を変えるプロジェクト授業	1-(2)-①健康な体を育む学校づくり	49
	学校危機管理マニュアル改訂	1-(2)-②安全・防災教育の推進	50
	(6) キャリア教育の充実		
	むつ市こども議会	1-(3)-①キャリア教育の充実	51
	むつ市中学生夢はぐくむ体験入学事業	1-(3)-①キャリア教育の充実	51
	関係機関との連携	1-(3)-①キャリア教育の充実	52
	むつ市子ども夢育成基金	2-(1)-①スポーツ活動の推進	52
	キャリア教育推進事業	1-(3)-①キャリア教育の充実	53
	(7) 特別支援教育の充実		
	スクールサポーター配置	1-(3)-②特別支援教育の充実	53
	むつ市就学事務説明会・就学相談研修会開催	1-(3)-②特別支援教育の充実	54
	むつ市特別支援教育推進委員会開催	1-(3)-②特別支援教育の充実	54
	(8) 国際化に対応する教育と郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進		
	外国語指導助手配置	1-(3)-①キャリア教育の充実	55
	むつ市ジュニア大使派遣	1-(3)-①キャリア教育の充実	56
	中華民国陽明国民中学との友好交流	1-(3)-①キャリア教育の充実	56
	ジオパーク体験活動推進	1-(4)-①ふるさとむつ市への愛着と誇りを育む教育	57
	(9) 弘前大学との連携強化		
	学生との交流	1-(3)-④高等教育機関との連携	57
	(10) 教育相談体制の充実		
	むつ市教育相談室開設	1-(3)-③豊かな心の育成	58
	自立支援相談員配置	1-(3)-③豊かな心の育成	58
	適応指導教室開設	1-(3)-③豊かな心の育成	59
	(11) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化		
生徒指導検査実施	1-(3)-③豊かな心の育成	60	
むつ市いじめ問題対策委員会開催	1-(3)-③豊かな心の育成	60	
むつ市いじめ防止宣言フォーラム	1-(3)-③豊かな心の育成	61	

担当課	各担当課における取組		
	具体的な事業	むつ市教育大綱における施策内容	頁
公民館 (中央、川内、大畑、脇野沢)	(1) 公民館の適正管理と運営の充実		
	公民館運営審議会の開催	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	62
	公民館の適正管理	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	62
	地区公民館・分館の管理運営	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	63
	(2) 公民館事業の推進		
	青少年教育事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	64
	かきぞめ大会の開催	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実	65
	婦人教育事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	66
	市民大学及び成人教育事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	67
	分館地域づくり講座開催	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	68
	(3) 社会教育団体等の育成支援		
	各団体への指導・助言及び支援	2-(1)-③学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進と人材育成	68
	公民館まつりの開催	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	69
	社会教育指導員配置事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	70
	(4) 生涯学習関連機関等との連携促進		
	下北美術展の開催	2-(1)-④文化財の保存活用と文化・芸術活動の充実	70
高等教育機関との連携	2-(2)-②社会人の学び直しの推進	71	
図書館	(1) 図書館の適正管理		
	空調設備改修事業（設計業務委託）	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	72
	施設・設備の整備事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	72
	図書館協議会の開催	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	73
	(2) 資料の収集・保存と活用		
	資料の購入	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	73
	寄贈資料受入	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	74
	資料の貸出事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	74
	(3) 図書館サービス活動の充実		
	図書館奉仕員配置事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	75
	相互貸借事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	76
	各種企画事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	76
	詩歌コンクール事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	77
	図書館ICT化事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	78
	集会施設の貸出事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	79
	(4) 子どもの読書活動の推進		
	子育て・子ども向け事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	79
	おはなし会等の開催	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	80
	職場体験・見学の受け入れ	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	80
	(5) 人と本をつなげるまちづくり事業の推進		
	移動図書館車の運行業務委託	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	81
	移動図書館車の購入	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	82
	移動図書館車新規事業	2-(1)-②生涯を通じた学びの推進	83
地域文化・スポーツクラブ 設立準備室	(1) 地域文化・スポーツクラブの創設準備		
	地域文化・スポーツクラブ設立準備事業	2-(1)-①スポーツ活動の推進	84



令和5年度
むつ市教育委員会の事務の点検及び
評価に関する報告書
－ 令和4年度の実績 －

編 集 むつ市教育委員会総務課
発 行 むつ市教育委員会
発行年月 令和5年8月